

# 新川児童遊園地トイレ新築工事

令和6年9月

有限会社 友結建築事務所

図面 No	図面名	図面 No	図面名	図面 No	図面名	図面 No	図面名
【建築】				【電気設備】		【機械設備】	
A- 01	特記仕様書（1）	A- 16	外構図	E- 01	電気設備工事 特記仕様書	M- 01	機械設備特記仕様書（1）
A- 02	特記仕様書（2）	A- 17	外構詳細図-1	E- 02	電気設備工事 機材指定表	M- 02	機械設備特記仕様書（2）
A- 03	特記仕様書（3）	A- 18	外構詳細図-2	E- 03	平面図-1	M- 03	機械設備特記仕様書（3）高知県標準図
A- 04	特記仕様書（4）			E- 04	平面図-2	M- 04	機械設備特記仕様書（4）高知県標準図
A- 05	特記仕様書（5）	【構造】				M- 05	仮設トイレ解体衛生設備図
A- 06	特記仕様書（6）	S- 01	柱状砕石 地盤改良工法 特記仕様書			M- 06	屋外衛生設備配置図
A- 07	特記仕様書（7）	S- 02	基礎伏図・基礎断面詳細図			M- 07	衛生設備平面図
A- 08	特記仕様書（8）	S- 03	地盤調査図			M- 08	換気設備平面図
A- 09	特記仕様書（9）	【解体】					
A- 10	特記仕様書（10）	K- 01	特記仕様書（解体工事編）				
A- 11	特記仕様書（11）	K- 02	仮設トイレ 解体外構図				
A- 12	附近見取図・配置図・敷地求積図	K- 03	仮設トイレ 移設・解体図-2				
A- 13	仕上表・平面詳細図・天井伏図・建具表	K- 04	既存トイレ 配置図・仮設計画図				
A- 14	立面図	K- 05	既存トイレ解体 外構図				
A- 15	サイン計画図	K- 06	既存トイレ解体図				

特記仕様書（建築工事編）			
I 工事概要	1) 移設場所：南州市大崎甲1512番地1（新川児童遊園地） 2) 既存場所：南州市日吉町3丁目1-3（旧わかさ児童館跡地）	(都市計画区域 (内)・外)	
1. 工事場所			
2. 敷地面積	1) 2,525㎡ (一部130.25㎡は確認申請時面積)、2) 1,419㎡		
3. 構造・規模	S造1階		
4. 建築面積	15.94 ㎡	5. 延床面積	15.94 ㎡
6. 主要用途	便所		
II 建築工事仕様	1. 共通仕様		
(1)	図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という）による。		
(2)	電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は( )図、機械設備工事の工事仕様書は( )図による。		
(3)	受注者は完了検査（中間検査を含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。		
2. 特記仕様	(1) 項目は、○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の(別図- )は、標準仕様書の「別図 各部配筋」の当該項目を示す。 (5) [G]印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。 (6) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）の規定を優先する。		

1 各章共通事項	<p>○適用基準及び区分</p> <p>※ 建築工事監理指針（上下巻） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）          建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）          鉄骨設計標準図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修          鉄骨工事技術指針 工場製作編 工事現場施工編 日本建築学会          建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編）          建設副産物適正処理推進要綱          建築材料等評価名簿 国土交通大臣官房官庁営繕部監修          工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修</p> <p>○ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法を施工計画書として提出する。          区分等 基準風速 <math>V_0 = ( 38 )</math> m/s 地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）          積雪区分 建設省告示第1455号 別表（ ）</p> <p>・電気保安技術者</p> <p>・適用する (1.3.3)</p> <p>○施工条件</p> <p>施工時間帯 ※指定なし ・指定有り（ ） (1.3.5)          部位別の施工順序 ※指定なし ・指定有り（ ）</p> <p>○発生材の処理</p> <p>・引き渡しを要するもの（ ） (1.3.11)          ・特定管理産業廃棄物（種類： 処理方法： ）          ・現場において再利用を図るもの（ ）          ○再生資源化を図るもの（○）コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊（建設発生木材）          ※廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。</p> <p>○石綿含有建材の処理等</p> <p>大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則に基づき、事前調査、報告を行った上で、適切に処理すること。          工事発注前の調査の情報提供 ○有り ・無し</p> <p>○材料の品質等</p> <p>(1.4.2)          本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS 又は JAS マーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の1）から6）の事項を満たすものとする。          1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること。          2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。          3）安定的な供給が可能であること。          4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。          5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。          6）販売、保守等の営業体制が整えられていること。          なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料、又は外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。          また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受けること。          製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、グリーン購入法の基本方針の判断の基準に従い、あらかじめ、平成19年3月30日付け18高建管第881号「土木部発注工事で使用する木材の合法性の確認について（通知）」による証明書等を、監督職員に提出する。</p> <p>○特別な材料の工法</p> <p>標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>○施工図及び施工計画書</p> <p>提出した施工図及び施工計画書の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。</p>
----------	--

・技能士	(1.5.2)																																																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>・鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td>・型枠工作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>・コンクリート圧送工作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄骨工事</td> <td>鉄工</td> <td>・構造物鉄工作業</td> </tr> <tr> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形型枠板工事</td> <td>ブロック建築</td> <td>・コンクリートブロック工作業</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル施工</td> <td>・ALCパネル工作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">防水工事</td> <td>防水施工</td> <td>・アスファルト防水工作業 ・ケレンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・FRP防水工作業 ・改質アスファルトシート防水工作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工 ・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り ・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">木工事</td> <td>建築大工</td> <td>・大工工作業</td> </tr> <tr> <td>枠組壁建築</td> <td>・枠組壁工作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋根及びとい工事</td> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>かわらぶき</td> <td>・かわらぶき作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">金属工事</td> <td>内装仕上施工</td> <td>・鋼製下地工作業</td> </tr> <tr> <td>建築板金</td> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官</td> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">建具工事</td> <td>サッシ施工</td> <td>・ビル用サッシ工作業</td> </tr> <tr> <td>ガラス施工</td> <td>・ガラス工作業</td> </tr> <tr> <td>自動ドア施工</td> <td>・自動ドア工作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">カーテンウォール工事</td> <td>カーテンウォール施工</td> <td>・金属製カーテンウォール工作業</td> </tr> <tr> <td>サッシ施工</td> <td>・ビル用サッシ工作業</td> </tr> <tr> <td>ガラス施工</td> <td>・ガラス工作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>塗装</td> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内装工事</td> <td>内装仕上施工</td> <td>・プラスチック系床仕上げ工作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工作業 ・ボード仕上げ工作業 ・化粧フィルム工作業</td> </tr> <tr> <td>熱絶縁施工</td> <td>・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工作業</td> </tr> <tr> <td>表装</td> <td>・壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面表示施工</td> <td>・溶解ペイントマーカ工作業 ・加熱ペイントマシナマーカ工作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園</td> <td>・造園工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(1.7.1)</td> </tr> <tr> <td>○完成時の提出図書</td> <td> <p>※完成図（配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表）CADデータ（CD-R）とも          記入内容は標準仕様書表1.7.1による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。          （※A2版一式（製本）2部及びA3縮小版一式（製本）1部、設備工事共に綴じの事。）          ※施工計画書（A4ファイル綴じ 提出部数：1部）          ※施工図（CADデータ 提出部数：1部）          ※保全に関する資料（提出部数 ※1部 ・部）          ※工事写真・完成写真 写真データ（CD-R）とも</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類規格</th> <th>提出部数</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">着工前及び工事中</td> <td>カラー ※サービス版</td> <td>工程毎</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>カラー ※キャビネ版</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td>カラー ・全紙版（7ミリ顔録入）</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。          デジタル写真の仕様は1 適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。          ※上記の他、完成写真内外6面程度（カラーサービス版）、及びその画像データを完成検査時に1部提出する。          ※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。          ※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物（VOC）の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象建築材料等</th> <th>使用制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材</td> <td>F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする</td> </tr> <tr> <td>②塗料</td> <td>ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロムトリニド、ダイオキシン、フェノールを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する</td> </tr> <tr> <td>③木材保存剤（防霉処理、防蟻処理等）</td> <td>1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2）フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする</td> </tr> <tr> <td>④内装用接着剤、木工用接着剤</td> <td>①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する</td> </tr> <tr> <td>⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台</td> <td>①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>室内に関わる材料（上記②～④）及び建具、シール材、その他その接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、クロムトリニド、ダイオキシン、フェノールを有無または成分について一覧表を作成し提出すること。</p> <p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スズレンの濃度を測定し、報告すること</p> <p>測定対象室及び測定箇所数 ※図示（仕上表備考欄） ・（ ）か所</p> </td> </tr> <tr> <td>・室内空気中の化学物質の濃度測定</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工事種目	技能検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	・とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業	コンクリート工事	型枠施工	・型枠工作業	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工作業	鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業	とび	・とび作業	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形型枠板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工作業	ALCパネル施工	・ALCパネル工作業	防水工事	防水施工	・アスファルト防水工作業 ・ケレンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・FRP防水工作業 ・改質アスファルトシート防水工作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工作業	石工事	石材施工 ・石張り作業	タイル工事	タイル張り ・タイル張り作業	木工事	建築大工	・大工工作業	枠組壁建築	・枠組壁工作業	屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業	かわらぶき	・かわらぶき作業	金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工作業	建築板金	・内外装板金作業	左官工事	左官	・左官作業	建具工事	サッシ施工	・ビル用サッシ工作業	ガラス施工	・ガラス工作業	自動ドア施工	・自動ドア工作業	カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工作業	サッシ施工	・ビル用サッシ工作業	ガラス施工	・ガラス工作業	塗装工事	塗装	・建築塗装作業	内装工事	内装仕上施工	・プラスチック系床仕上げ工作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工作業 ・ボード仕上げ工作業 ・化粧フィルム工作業	熱絶縁施工	・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工作業	表装	・壁装作業	排水工事	配管	・建築配管作業	舗装工事	路面表示施工	・溶解ペイントマーカ工作業 ・加熱ペイントマシナマーカ工作業	植栽工事	造園	・造園工作業		(1.7.1)	○完成時の提出図書	<p>※完成図（配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表）CADデータ（CD-R）とも          記入内容は標準仕様書表1.7.1による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。          （※A2版一式（製本）2部及びA3縮小版一式（製本）1部、設備工事共に綴じの事。）          ※施工計画書（A4ファイル綴じ 提出部数：1部）          ※施工図（CADデータ 提出部数：1部）          ※保全に関する資料（提出部数 ※1部 ・部）          ※工事写真・完成写真 写真データ（CD-R）とも</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類規格</th> <th>提出部数</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">着工前及び工事中</td> <td>カラー ※サービス版</td> <td>工程毎</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>カラー ※キャビネ版</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td>カラー ・全紙版（7ミリ顔録入）</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。          デジタル写真の仕様は1 適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。          ※上記の他、完成写真内外6面程度（カラーサービス版）、及びその画像データを完成検査時に1部提出する。          ※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。          ※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物（VOC）の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象建築材料等</th> <th>使用制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材</td> <td>F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする</td> </tr> <tr> <td>②塗料</td> <td>ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロムトリニド、ダイオキシン、フェノールを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する</td> </tr> <tr> <td>③木材保存剤（防霉処理、防蟻処理等）</td> <td>1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2）フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする</td> </tr> <tr> <td>④内装用接着剤、木工用接着剤</td> <td>①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する</td> </tr> <tr> <td>⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台</td> <td>①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>室内に関わる材料（上記②～④）及び建具、シール材、その他その接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、クロムトリニド、ダイオキシン、フェノールを有無または成分について一覧表を作成し提出すること。</p> <p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スズレンの濃度を測定し、報告すること</p> <p>測定対象室及び測定箇所数 ※図示（仕上表備考欄） ・（ ）か所</p>	区分	分類規格	提出部数	部数	着工前及び工事中	カラー ※サービス版	工程毎	1部	カラー ※キャビネ版	枚	部	完成時	カラー ・全紙版（7ミリ顔録入）	枚	部	・	枚	部	対象建築材料等	使用制限	①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする	②塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロムトリニド、ダイオキシン、フェノールを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する	③木材保存剤（防霉処理、防蟻処理等）	1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2）フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする	④内装用接着剤、木工用接着剤	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する	⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する	・室内空気中の化学物質の濃度測定	
工事種目	技能検定職種	技能検定作業																																																																																																																					
仮設工事	とび	・とび作業																																																																																																																					
鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業																																																																																																																					
コンクリート工事	型枠施工	・型枠工作業																																																																																																																					
	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工作業																																																																																																																					
鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業																																																																																																																					
	とび	・とび作業																																																																																																																					
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形型枠板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工作業																																																																																																																					
	ALCパネル施工	・ALCパネル工作業																																																																																																																					
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工作業 ・ケレンゴム系塗膜防水工作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工作業 ・合成ゴム系シート防水工作業 ・塩化ビニル系シート防水工作業 ・セメント系防水工作業 ・シーリング防水工作業 ・FRP防水工作業 ・改質アスファルトシート防水工作業 ・改質アスファルトシート常温粘着工法防水工作業																																																																																																																					
	石工事	石材施工 ・石張り作業																																																																																																																					
	タイル工事	タイル張り ・タイル張り作業																																																																																																																					
	木工事	建築大工	・大工工作業																																																																																																																				
		枠組壁建築	・枠組壁工作業																																																																																																																				
屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																																					
	かわらぶき	・かわらぶき作業																																																																																																																					
金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工作業																																																																																																																					
	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																																					
左官工事	左官	・左官作業																																																																																																																					
建具工事	サッシ施工	・ビル用サッシ工作業																																																																																																																					
	ガラス施工	・ガラス工作業																																																																																																																					
	自動ドア施工	・自動ドア工作業																																																																																																																					
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工作業																																																																																																																					
	サッシ施工	・ビル用サッシ工作業																																																																																																																					
	ガラス施工	・ガラス工作業																																																																																																																					
塗装工事	塗装	・建築塗装作業																																																																																																																					
内装工事	内装仕上施工	・プラスチック系床仕上げ工作業 ・カーペット系床仕上げ作業 ・木質系床仕上げ工作業 ・ボード仕上げ工作業 ・化粧フィルム工作業																																																																																																																					
	熱絶縁施工	・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工作業																																																																																																																					
	表装	・壁装作業																																																																																																																					
排水工事	配管	・建築配管作業																																																																																																																					
舗装工事	路面表示施工	・溶解ペイントマーカ工作業 ・加熱ペイントマシナマーカ工作業																																																																																																																					
植栽工事	造園	・造園工作業																																																																																																																					
	(1.7.1)																																																																																																																						
○完成時の提出図書	<p>※完成図（配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表）CADデータ（CD-R）とも          記入内容は標準仕様書表1.7.1による。仕上表には、メーカー名及び品番、色番号等を記入する。          （※A2版一式（製本）2部及びA3縮小版一式（製本）1部、設備工事共に綴じの事。）          ※施工計画書（A4ファイル綴じ 提出部数：1部）          ※施工図（CADデータ 提出部数：1部）          ※保全に関する資料（提出部数 ※1部 ・部）          ※工事写真・完成写真 写真データ（CD-R）とも</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類規格</th> <th>提出部数</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">着工前及び工事中</td> <td>カラー ※サービス版</td> <td>工程毎</td> <td>1部</td> </tr> <tr> <td>カラー ※キャビネ版</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">完成時</td> <td>カラー ・全紙版（7ミリ顔録入）</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>枚</td> <td>部</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事写真については、隠蔽となる部分は全て撮影すること。          デジタル写真の仕様は1 適用基準及び区分の工事写真撮影ガイドブックによる。          ※上記の他、完成写真内外6面程度（カラーサービス版）、及びその画像データを完成検査時に1部提出する。          ※電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。          ※屋内に使用する材料は、揮発性有機化合物（VOC）の放散による健康への影響に配慮し、次の条件を満たすものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象建築材料等</th> <th>使用制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材</td> <td>F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする</td> </tr> <tr> <td>②塗料</td> <td>ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロムトリニド、ダイオキシン、フェノールを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する</td> </tr> <tr> <td>③木材保存剤（防霉処理、防蟻処理等）</td> <td>1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2）フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする</td> </tr> <tr> <td>④内装用接着剤、木工用接着剤</td> <td>①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する</td> </tr> <tr> <td>⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台</td> <td>①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する</td> </tr> </tbody> </table> <p>室内に関わる材料（上記②～④）及び建具、シール材、その他その接着剤や塗料の溶剤まで含む）については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル、クロムトリニド、ダイオキシン、フェノールを有無または成分について一覧表を作成し提出すること。</p> <p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スズレンの濃度を測定し、報告すること</p> <p>測定対象室及び測定箇所数 ※図示（仕上表備考欄） ・（ ）か所</p>	区分	分類規格	提出部数	部数	着工前及び工事中	カラー ※サービス版	工程毎	1部	カラー ※キャビネ版	枚	部	完成時	カラー ・全紙版（7ミリ顔録入）	枚	部	・	枚	部	対象建築材料等	使用制限	①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする	②塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロムトリニド、ダイオキシン、フェノールを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する	③木材保存剤（防霉処理、防蟻処理等）	1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2）フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする	④内装用接着剤、木工用接着剤	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する	⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する																																																																																								
区分	分類規格	提出部数	部数																																																																																																																				
着工前及び工事中	カラー ※サービス版	工程毎	1部																																																																																																																				
	カラー ※キャビネ版	枚	部																																																																																																																				
完成時	カラー ・全紙版（7ミリ顔録入）	枚	部																																																																																																																				
	・	枚	部																																																																																																																				
対象建築材料等	使用制限																																																																																																																						
①合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層板、MDF、パネルパーティクルボード、UV樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする																																																																																																																						
②塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性系のものとする クロムトリニド、ダイオキシン、フェノールを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する																																																																																																																						
③木材保存剤（防霉処理、防蟻処理等）	1）ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スズ、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないものとする 2）フタル酸ジ-n-プロピル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする																																																																																																																						
④内装用接着剤、木工用接着剤	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する																																																																																																																						
⑤家具、書架、実験台、什器、化粧洗面台、流し台	①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆同等品を使用する																																																																																																																						
・室内空気中の化学物質の濃度測定																																																																																																																							

○設備工事との取り合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施工範囲</th> <th>区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>梁貫通部の補強</td> <td></td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>梁貫通部のスリーブ</td> <td></td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フアヒンジ</td> <td></td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強</td> <td></td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地</td> <td></td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">埋込形電盤、消火栓等の仮枠及び補強</td> <td>仮枠</td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> <tr> <td>補強</td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート</td> <td></td> <td>・本工事 ※別途工事</td> </tr> <tr> <td>電気室、自家発電室などのピット（蓋含む）</td> <td></td> <td>※本工事 ・別途工事</td> </tr> </tbody> </table>	施工範囲		区分	梁貫通部の補強		※本工事 ・別途工事	梁貫通部のスリーブ		・本工事 ※別途工事	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フアヒンジ		※本工事 ・別途工事	天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強		※本工事 ・別途工事	軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地		・本工事 ※別途工事	埋込形電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠	※本工事 ・別途工事	補強	・本工事 ※別途工事	照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート		・本工事 ※別途工事	電気室、自家発電室などのピット（蓋含む）		※本工事 ・別途工事													
施工範囲		区分																																									
梁貫通部の補強		※本工事 ・別途工事																																									
梁貫通部のスリーブ		・本工事 ※別途工事																																									
自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切り込み補強及びドアチェック、フアヒンジ		※本工事 ・別途工事																																									
天井埋込型器具の取付箇所の下地軽量鉄骨の切込み及び補強		※本工事 ・別途工事																																									
軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地		・本工事 ※別途工事																																									
埋込形電盤、消火栓等の仮枠及び補強	仮枠	※本工事 ・別途工事																																									
	補強	・本工事 ※別途工事																																									
照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート		・本工事 ※別途工事																																									
電気室、自家発電室などのピット（蓋含む）		※本工事 ・別途工事																																									
○設計GL	※図示																																										
2 仮設工事	<p>○足場その他 (2.2.4)</p> <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>外部足場に設ける防護シート等          ・養生シート※JISA8952のI類に適合するもの          （建築工用シートでシートだけで落下物の危害防止に使用できるもの）          ・防音シート ・採光防音シート ・養生ネット</p> <p>・設ける 規模及び仕上げの程度、並びに設置する備品等の種類及び数量は (2.3.1) 現場説明書（施工条件明示）による。</p> <p>※設けない</p> <p>構内既存の施設 ○利用できる（ ※有償 ○無償 ） ・利用できない</p> <p>構内既存の施設 ○利用できる（ ※有償 ○無償 ） ・利用できない</p>																																										
○監督職員事務所等																																											
○工事用水																																											
○工事用電力																																											
3 土工事	<p>○埋戻し及び盛土 (3.2.3)(表3.2.1)</p> <p>材料及び工法 ・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]          C種の場合の受入量、発生場所は現場説明書（施工条件明示）による。          D種の場合の六価クロム溶出試験は、現場説明書（施工条件明示）による。</p> <p>(3.2.5)</p> <p>※構外搬出          搬出先の名称（ ）          所在地（ ） 運搬距離（ ）km          その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。          搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。</p> <p>○構内指定場所に敷き均し ・構内指定場所に堆積</p> <p>低騒音型 低振動型建設機械指定に基づき指定された建設機械を使用する。</p>																																										
○騒音振動の防止																																											
4 地業工事	<p>○支持地盤等 (4.2.1)(4.3.4、5)(4.5.5、6)</p> <p>・杭基礎          支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端の位置含む）          ・（ ） ・図示</p> <p>○直接基礎          支持層の位置及び土質（基礎底部の位置含む）          ・（ ） ○図示          試験掘り（根切り底の状態の確認等）          ○行わない ・行う          位置等 ・図示</p> <p>・地盤の載荷試験          載荷試験の方法等 ・図示 (4.3.3)</p> <p>種類          ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）          ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）          ・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）          SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490</p> <p>寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分） (4.2.2)(4.3.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">試験杭</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">コンクリート強度(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">鋼管厚(mm)</th> <th rowspan="2">杭径(mm)</th> <th rowspan="2">杭長(m)</th> <th rowspan="2">継手数</th> <th rowspan="2">セト数</th> <th rowspan="2">長期設計支持力(kN/本)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>上杭</th> <th>中杭</th> <th>下杭</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">本杭</td> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	試験杭	種類	コンクリート強度(N/mm <sup>2</sup> )	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	セト数	長期設計支持力(kN/本)	備考	上杭	中杭	下杭	本杭	上杭									中杭									下杭									
試験杭	種類											コンクリート強度(N/mm <sup>2</sup> )	鋼管厚(mm)	杭径(mm)		杭長(m)	継手数	セト数	長期設計支持力(kN/本)	備考																							
		上杭	中杭	下杭																																							
本杭	上杭																																										
	中杭																																										
下杭																																											
・既製コンクリート杭地業																																											
特記仕様書（建築工事編）（1）																																											
令和4年度版 高知県土木部建築課																																											
<p>有限会社 友結建築事務所          一級建築士事務所（高知） 登録第811号 令和6年9月          一級建築士登録第345943号 松本 好弘</p> <p>新川児童遊園地トイレ新築工事          令和5年7月改正</p>																																											
A-01																																											

<p>杭先端部形状 (4.3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開放形</li> <li>半開放形</li> <li>閉そく形</li> </ul> <p>・セメントミルク工法 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.4)</p> <p>試験杭</p> <p>試験杭の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> </ul> <p>掘削深さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> </ul> <p>杭の支持層への根入れ深さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> </ul> <p>杭の精度</p> <p>水平方向の位置ずれ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>杭径の1/4かつ100mm以下</li> </ul> <p>杭の傾斜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1/100以内</li> </ul> <p>・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.1)(4.3.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で<math>\alpha=250</math>を採用できる工法</li> <li>H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち<math>\alpha</math>、<math>\beta</math>、<math>\gamma</math>が以下の値を採用できる工法</li> <li><math>\alpha=( )</math>、<math>\beta=( )</math>、<math>\gamma=( )</math></li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレボーリング拡大根固め工法</li> <li>中掘り拡大根固め工法</li> </ul> <p>杭周固定液</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用する</li> <li>使用しない</li> </ul> <p>試験杭</p> <p>試験杭の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> </ul> <p>杭の支持層への根入れ深さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> </ul> <p>杭の精度</p> <p>水平方向の位置ずれ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※杭径の1/4かつ100mm以下</li> </ul> <p>杭の傾斜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※1/100以内</li> </ul> <p>杭の継手の工法 (4.3.3)(4.3.6)(7.2.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アーチ溶接継手</li> <li>溶接材料</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準仕様書 7.2.5(1)(2)による</li> </ul> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)</li> <li>工法</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評定等を受けた工法</li> </ul> <li>検査</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評定等により定められた項目</li> </ul> <li>施工</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評定等をされた施工管理基準による</li> </ul> </ul> <p>杭頭の処理等 (4.3.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>処理しない</li> <li>処理する</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>処理方法(切断ともなう補強方法含む)</li> <li>図示による( )</li> </ul> </ul> <p>杭頭の中詰め材料 (4.3.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎のコンクリートと同調合のもの</li> </ul> <p>材料、寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>杭径(mm)</th> <th>杭長(m)</th> <th>継手数</th> <th>セツト数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">試験杭</td> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">本杭</td> <td>上杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開放形</li> <li>半開放形</li> <li>閉塞形</li> </ul> <p>先端部の補強</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準仕様書 図4.4.1、表4.4.2による</li> </ul> <p>先端部の補強(補強バンドなど)及びその他付属品の材質</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SS400と同等またはそれ以上</li> </ul>		種類	厚さ(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考	試験杭	上杭								中杭								本杭	上杭								中杭								<p>・場所打ちコンクリート杭地業</p> <p>・特定埋込杭工法 (4.2.2)(4.3.5)(4.4.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式で<math>\alpha=250</math>を採用できる工法</li> <li>H13国土交通省告示第1113号第6 による地盤の許容支持力式のうち<math>\alpha</math>、<math>\beta</math>、<math>\gamma</math>が以下の値を採用できる工法</li> <li><math>\alpha=( )</math>、<math>\beta=( )</math>、<math>\gamma=( )</math></li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中掘り拡大根固め工法</li> </ul> <p>試験杭</p> <p>試験杭の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> </ul> <p>杭の精度</p> <p>水平方向の位置ずれ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※杭径の1/4かつ100mm以下</li> </ul> <p>杭の傾斜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※1/100以内</li> </ul> <p>杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>溶接継手</li> <li>形状</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>JIS A 5525による</li> </ul> <li>溶接材料</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>標準仕様書 7.2.5(1)(2)による</li> </ul> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>無溶接継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)</li> <li>工法</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評定等を受けた工法</li> </ul> <li>検査</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評定等により定められた項目</li> </ul> <li>施工</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>※評定等をされた施工管理基準による</li> </ul> </ul> <p>杭頭の処理等 (4.3.8)(4.4.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>処理しない</li> <li>処理する</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>処理方法(切断ともなう補強方法含む)</li> <li>図示による( )</li> </ul> </ul> <p>杭頭の中詰め材料 (4.3.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎のコンクリートと同調合のもの</li> </ul> <p>工法 (4.5.1)(4.5.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アースドリル工法(安定液 ※使用する ・使用しない)</li> <li>リバース工法</li> <li>オールケーシング工法(孔内の水張り ・行う ・行わない)</li> </ul> <p>併用する工法 (4.5.1)(4.5.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場所打ち鋼管コンクリート杭工法</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>鋼管の種類</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>SKK400</li> <li>SKK490</li> </ul> </ul> <li>拡底杭工法(安定液 ・使用する ・使用しない)</li> </ul> <p>寸法等 (4.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>鋼管厚(mm)</th> <th>鋼管径(mm)</th> <th>軸径(mm)</th> <th>拡底径(mm)</th> <th>杭長(m)</th> <th>セツト数</th> <th>長期設計支持力(kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>試験杭</p> <p>試験杭の位置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> </ul> <p>孔壁の保持状況(孔壁測定) (4.5.5)</p> <p>測定箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験杭( )箇所及び本杭( )箇所</li> </ul> <p>杭の支持層への根入れ深さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> </ul> <p>杭の精度</p> <p>水平方向の位置ずれ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※杭径の1/4かつ100mm以下</li> </ul> <p>杭の傾斜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※1/100以内</li> </ul> <p>鉄筋の種類 (4.5.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>帯筋 (4.5.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による(構造関係共通図(配筋標準図)6.2帯筋(b)(3)⑥(口))</li> </ul>		鋼管厚(mm)	鋼管径(mm)	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(m)	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考	試験杭									本杭									種類の記号	呼び径(mm)	備考	SD295			SD345						<p>鉄筋の最小かぶり厚さ (4.5.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>100mm</li> </ul> <p>鉄筋かごの補強 (4.5.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> <li>杭径1.5m以下の場合は鋼板6×50(mm)、1.5mを超える場合は鋼板9×50~75(mm)の補強リングを3m以下の間隔で、かつ1節につき3箇所以上入れ、リングと主筋の接触部を溶接する</li> </ul> <p>組み立てた鉄筋の節ごとの継手 (4.5.4)(5.3.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※重ね継手 重ね継手の長さ</li> <li>図示による( )</li> </ul> <p>主筋の基礎底盤への定着長さ (4.5.4)(5.3.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> </ul> <p>セメントの種類 (4.5.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※高炉セメントB種[G]</li> </ul> <p>コンクリートの設計基準強度 (4.5.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> </ul> <p>コンクリートの種別 (4.5.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種</li> <li>B種</li> <li>評定等の内容による</li> </ul> <p>スランブ (4.5.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※18cm</li> </ul> <p>構造体強度補正值 (4.5.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※3N/mm<sup>2</sup></li> <li>図示による( )</li> <li>評定等の内容による</li> </ul> <p>材料 (4.6.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生クラッシュラン[G]</li> <li>切込砂利又は切込砕石</li> </ul> <p>砂利厚さ (4.6.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※60mm</li> <li>100mm</li> </ul> <p>施工範囲 (4.6.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下</li> <li>図示による( )</li> </ul> <p>厚さ (4.6.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※50mm</li> </ul> <p>施工範囲 (4.6.4)(6.14.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下</li> <li>図示による( )</li> </ul> <p>設計基準強度 (4.6.4)(6.14.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※18N/mm<sup>2</sup></li> </ul> <p>スランブ (4.6.4)(6.14.1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※15cm又は18cm</li> </ul> <p>材料 (4.6.2、5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上</li> </ul> <p>施工範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)</li> <li>図示</li> </ul> <p>種類及び施工方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による( )</li> </ul> <p>六価クロム溶出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※現場説明書による</li> </ul>	<p>砂利地業</p> <p>捨コンクリート地業</p> <p>床下防湿層</p> <p>地盤改良工法</p>	<p>特記仕様書(建築工事編)(2)</p> <p>令和4年度版 高知県土木部建築課</p> <p>有限会社 友結建築事務所 一級建築士事務所(高知) 登録第811号 令和6年9月 一級建築士登録第345943号 松本 好弘 新川児童遊園地トイレ新築工事 令和5年7月改正</p>	<p>令和4年度版</p> <p>高知県土木部建築課</p> <p>A-02</p>
		種類	厚さ(mm)	杭径(mm)	杭長(m)	継手数	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																																																														
	試験杭	上杭																																																																																					
		中杭																																																																																					
	本杭	上杭																																																																																					
		中杭																																																																																					
		鋼管厚(mm)	鋼管径(mm)	軸径(mm)	拡底径(mm)	杭長(m)	セツト数	長期設計支持力(kN/本)	備考																																																																														
	試験杭																																																																																						
	本杭																																																																																						
	種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																																				
SD295																																																																																							
SD345																																																																																							

5 鉄筋工事	<input type="radio"/> 鉄筋 ・溶接金網 <input type="radio"/> 鉄筋の継手及び定着 <input type="radio"/> 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む) <input type="radio"/> 各部配筋 ・圧接完了後の試験 ・機械式継手	鉄筋の種類等 (5.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・SD295</td> <td>※D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SD345</td> <td>※D19以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類の記号	呼び径 (mm)	備考	・SD295	※D16以下		・SD345	※D19以上		・			・			・溶接継手 適用箇所 (5.6.3) ・図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 (5.6.3) ・A級 溶接継手の工法 (5.6.3) ・図示による( ) 鉄筋相互のあき (5.6.3) ・図示による( ) 溶接完了後の継手部の試験 (5.6.3) ・図示による( ) 不合格となった継手部への措置 (5.6.3) ・図示による( )	・マスコンクリート 適用箇所 (6.2.1)(6.13.1) ・図示による( ) セメントの種類 (6.13.2) ・中熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 <input type="checkbox"/> G ・普通ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 <input type="checkbox"/> G 混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 ※JIS A 6204に適合するAE減水剤又は高性能AE減水剤 スランブ (6.13.2) ※15cm <input type="radio"/> 無筋コンクリート コンクリートの種類 (6.2.1)(6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 <input type="checkbox"/> G ・フライアッシュセメントB種 <input type="checkbox"/> G 設計基準強度 (6.14.1) ※18 (N/mm <sup>2</sup> ) スランブ (6.14.1) ※15cm又は18cm 適用箇所 (6.14.1) ・標準仕様書 6.14.1(4)(7)～(h)による ・図示による( ) 適用箇所 (6.2.1)(6.15.1) ・図示による( ) ・流動化コンクリート ・打継ぎの位置 ひび割れ誘発目地 打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による( ) 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による( ) 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)～(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する ・図示による( ) ひび割れ誘発目地の位置 (6.8.1) ・図示による( ) <input type="radio"/> コンクリートの仕上り 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※図示による(打放し部)</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> </table> コンクリートの仕上りの平たんさ (6.2.5)(6.8.2) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>※図示による( )</td> </tr> </table> <input type="radio"/> 打増し厚さ(打放し仕上げ部) <input type="radio"/> 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6.8.1) <input type="radio"/> 20mm ・( ) ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・( ) ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm ・( ) 打増し範囲 ・図示による( )	種別	適用箇所	・A種	※図示による(打放し部)	・B種	※図示による( )	・C種	※図示による( )	種別	適用箇所	・a種	※図示による( )	・b種	※図示による( )	・c種	※図示による( )
		種類の記号	呼び径 (mm)	備考																															
		・SD295	※D16以下																																
		・SD345	※D19以上																																
		・																																	
		・																																	
		種別	適用箇所																																
		・A種	※図示による(打放し部)																																
		・B種	※図示による( )																																
		・C種	※図示による( )																																
種別	適用箇所																																		
・a種	※図示による( )																																		
・b種	※図示による( )																																		
・c種	※図示による( )																																		
6 コンクリート工事	<input type="radio"/> コンクリートの種類等 ・普通コンクリート (6.2.1~4)(6.3.2)(6.10.1、2) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>※18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・21</td> <td>・18</td> <td>躯体・土間コンクリート</td> </tr> <tr> <td>・18</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> ・軽量コンクリート <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランブ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> 構造体強度補正值 (6.3.2) ※標準仕様書表6.3.2による ・ <input type="radio"/> コンクリートの種別 コンクリートの種類 (6.2.1) ※I類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308に適合したコンクリート) <input type="radio"/> セメント 種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て ) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が 7日目で352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする ・高炉セメントB種 <input type="checkbox"/> G 適用箇所(・1FLより下部(立上り部含む) ) ・フライアッシュセメントB種 <input type="checkbox"/> G 適用箇所( ) ・ <input type="radio"/> 骨材 アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A・B(コンクリート中のアルカリ総量が3.0kg/m <sup>3</sup> 以下) ・再生骨材H 本工事において細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。 <input type="radio"/> 混和材料 ・混和剤 (6.3.1、2) 混和剤の種類 ・標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ( ) ・混和材 混和材の種類 ・標準仕様書 6.3.1(4)(b)による ( ) <input type="radio"/> 気乾単位容積質量 普通コンクリート (6.2.3) ※2.3t/m <sup>3</sup> 程度 軽量コンクリート ・ ・軽量コンクリート種別 (6.10.1) ・1種 ・2種 適用箇所 ・図示 ( ) ・寒中コンクリート適用期間 (6.2.1)(6.11.1) ・図示による ・積算温度を基に定める場合 ・図示による( ) ・ ・暑中コンクリート構造体強度補正值 ※6N/mm <sup>2</sup> (6.12.1、2) ・	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	適用箇所	・24	※18		・21	・18	躯体・土間コンクリート	・18	・		設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	適用箇所	・	・		・	・		特記仕様書(建築工事編)(3) 令和4年度版 高知県土木建築課 有限会社 友結建築事務所 一級建築士事務所 (高知) 登録第811号 令和6年9月 一級建築士登録第345943号 松本 好弘 新川児童遊園地トイレ新築 工事 令和5年7月改正 A-03												
設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	適用箇所																																	
・24	※18																																		
・21	・18	躯体・土間コンクリート																																	
・18	・																																		
設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	適用箇所																																	
・	・																																		
・	・																																		

<p>○型枠</p> <p>せき板の材料及び厚さ</p> <p>○合板(※12mm ) □ ( )</p> <p>・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ・図示による( ) ・ ( )</p> <p>・MCR工法用シート 適用箇所 ・図示による( ) ・ ( )</p> <p>打増し厚さ ・20mm ・ ( )</p> <p>打増し範囲 ・図示による( ) ・ ( )</p> <p>スリーブの材種・規格等</p> <p>・図示による( ) ・ ( )</p> <p>○コンクリートの単位水量測定</p> <p>実施要領 構造関係共通図(構造関係共通事項) 構-4 施工方法等計画書関連等 コンクリートの単位水量測定による</p>	<p>(6.8.2)</p> <p>(6.8.2)</p> <p>(6.8.2)</p>	<p>○溶接材料</p> <p>溶接材料 (7.2.5)</p> <p>※標準仕様書 7.2.5(1)(2)による。</p> <p>・標準仕様書 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・図示による( ) ・ ( )</p> <p>・ターンバックル</p> <p>種類 (7.2.6)</p> <p>建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ・ ( )</p> <p>建築用ターンバックル胴 ※割枠式 ・ ( )</p> <p>ねじの呼び ・図示による( ) ・ ( )</p> <p>・床構造用のデッキプレート</p> <p>材質、形状及び寸法 (7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>適用箇所</th> <th>材質・形状・寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・デッキプレート 単独の構造</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・デッキプレートと コンクリートとの 合成スラブとする構造</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ・ ( ) ・ 図示</p> <p>鉄骨部材への溶接方法 ・ ( ) ・ 図示</p> <p>耐火認定 ・有り 耐火時間 ・ ( ) ・ 図示</p> <p>・無し</p> <p>・スタッド</p> <p>種類等 (7.2.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・柱底均しモルタル</p> <p>無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 (7.2.9)</p> <p>※標準仕様書 7.2.9(2)(7)から(1)による</p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による (7.3.3)</p> <p>通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※平12建告第1464号第二号イ(2)による</p> <p>アンダーカットの寸法 ※平12建告第1464号第二号イ(3)による</p> <p>食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</p> <p>試験の要領 (7.6.3)</p> <p>・図示による( )</p> <p>・溶接技能者の 技量付加試験</p> <p>・溶接接合</p> <p>開先の形状 (7.6.4)</p> <p>・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-2)</p> <p>・エンドタブの切断する部分 (7.6.7)</p> <p>切断する箇所 ・図示による( )</p> <p>切断範囲 ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から 5mm 以下残して直線上に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する</p> <p>切断面の仕上げ ・標準仕様書7.6.7(1)(a)(b)②による</p> <p>スカラップの形状 (7.6.7)</p> <p>・図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-4(d)改良型スカラップ)</p> <p>・</p> <p>適用箇所 ・図示による( )</p> <p>・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部</p> <p>・入熱、バス間温度 の管理</p> <p>・溶接部の試験</p> <p>平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 (7.6.12)</p> <p>・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査②</p> <p>JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み 溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の 不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み部の超音波探傷試験</p>		適用箇所	材質・形状・寸法	備考	・デッキプレート 単独の構造				・デッキプレートと コンクリートとの 合成スラブとする構造				・				呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			<p>○錆止め塗装</p> <p>・工場溶接の場合 AQL(%) ※4.0 ・2.5</p> <p>筋</p> <p>・全て</p> <p>検査水準 ※第6水準</p> <p>・全数</p> <p>・工事現場溶接の場合 ※全数</p> <p>塗料の種別 (7.8.4)(18.3.2)</p> <p>下記以外の鉄鋼面は標準仕様書 18.3.2及び特記仕様書 18 塗装工事 錆止め塗料塗りによる</p> <p>・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 ※A種</p> <p>・耐火被覆が接着する面の塗料の種別</p> <p>・</p> <p>種類、材料、工法等 (7.9.2~7.9.8)</p> <p>・耐火被覆</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td>・高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td>—</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○建方精度</p> <p>※JASS6 付則6 [鉄骨精度基準] 付表5 [工事現場] による (7.10.2)</p> <p>○アンカーボルトの 設置等</p> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)</p> <p>・図示による( )</p> <p>構造用アンカーフレームの形状及び寸法 (7.10.3)</p> <p>・図示による( )</p> <p>建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.10.3)</p> <p>・図示による( )</p> <p>建方(及び付属鉄骨)の保持及び埋込み工法 (7.10.3)</p> <p>種別 ・A種 ・B種</p> <p>柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3)</p> <p>厚さ ・</p> <p>種別 ※A種</p>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール			・半乾式吹付けロックウール			・湿式ロックウール			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・			・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール			・ラス張りモルタル塗り	—			・耐火塗料				<p>8</p> <p>・補強コンクリート 造</p> <p>ブロックの種類 (8.2.2、3、5、7、8)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">断面形状及び 圧縮強さによる区分</th> <th rowspan="2">正味 厚さ(mm)</th> <th colspan="2">呼び名及び寸法(mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタルの調合(容積比) ※標準仕様書表8.2.1による ・セメント( ) : 砂( )</p> <p>各部の配筋 ※図示による</p> <p>目地の仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲 ※図示による</p> <p>・コンクリートブロック 壁及び塀</p> <p>ブロックの種類 (8.3.2、3、4)</p> <table border="1"> <tr> <th>断面形状及び 圧縮強さによる区分</th> <th>正味 厚さ(mm)</th> <th colspan="2">呼び名及び寸法(mm)</th> <th rowspan="2">化粧の有無</th> <th rowspan="2">表(8.3.1)以外 の適用箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>長さ</th> <th>高さ</th> </tr> <tr> <td>・空洞ブロックC(16)</td> <td>・120 ・150</td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・型枠状ブロック20</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・無 ・有</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタルの調合(容積比) ※標準仕様書表8.2.1による ・セメント( ) : 砂( )</p> <p>塀の厚さ(mm)</p> <p>塀の高さが2m以下 ※120</p> <p>2m超え ※150</p> <p>壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 ※図示による</p> <p>各部の配筋 ※図示による</p>	断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ(mm)	呼び名及び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考	長さ	高さ	・				・無 ・有			・				・無 ・有			断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ(mm)	呼び名及び寸法(mm)		化粧の有無	表(8.3.1)以外 の適用箇所	備考	長さ	高さ	・空洞ブロックC(16)	・120 ・150			・無 ・有			・型枠状ブロック20				・無 ・有			<p>特記仕様書(建築工事編)(4)</p> <p>令和4年度版 高知県土木建築課</p> <p>有限会社 友結建築事務所 一級建築士事務所(高知) 登録第811号 令和6年9月 一級建築士登録第345943号 松本 好弘 新川児童遊園地トイレ新築 工事 令和5年7月改正</p>	<p>A-04</p>
				適用箇所	材質・形状・寸法	備考																																																																																																											
・デッキプレート 単独の構造																																																																																																																	
・デッキプレートと コンクリートとの 合成スラブとする構造																																																																																																																	
・																																																																																																																	
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																																																															
・16																																																																																																																	
・19																																																																																																																	
・22																																																																																																																	
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																																																														
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール																																																																																																																
	・半乾式吹付けロックウール																																																																																																																
	・湿式ロックウール																																																																																																																
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																																																
	・																																																																																																																
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール																																																																																																																
・ラス張りモルタル塗り	—																																																																																																																
・耐火塗料																																																																																																																	
断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ(mm)	呼び名及び寸法(mm)		化粧の有無	適用箇所	備考																																																																																																											
		長さ	高さ																																																																																																														
・				・無 ・有																																																																																																													
・				・無 ・有																																																																																																													
断面形状及び 圧縮強さによる区分	正味 厚さ(mm)	呼び名及び寸法(mm)		化粧の有無	表(8.3.1)以外 の適用箇所	備考																																																																																																											
長さ	高さ																																																																																																																
・空洞ブロックC(16)	・120 ・150			・無 ・有																																																																																																													
・型枠状ブロック20				・無 ・有																																																																																																													
<p>○鉄骨製作工場</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)</p> <p>※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 評価の区分 ※( )グレード ○グレードの指定はしない</p> <p>・鉄骨製作工場における 施工管理技術者</p> <p>※配置する (7.1.3.4)</p> <p>○鋼材</p> <p>種類等 (7.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主要な部分)</th> <th>規格</th> </tr> <tr> <td></td> <td>補強受け枠</td> <td>○JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・JIS規格による</td> </tr> </table> <p>・高力ボルト</p> <p>高力ボルトの種類 (7.2.2)</p> <p>・トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)</p> <p>※図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)</p> <p>・</p> <p>摩擦面の処理方法等 (7.4.2)</p> <p>溶融亜鉛めっき面以外 ※標準仕様書7.4.2(1)による</p> <p>・</p> <p>溶融亜鉛めっき面 (7.12.5)</p> <p>・ブラスト処理(表面粗度50µmRz以上) ・ブラスト処理以外の特別な処理方法 ・図示による( )</p> <p>・すべり試験 (7.4.2)</p> <p>※すべり係数試験 ・すべり耐力試験 試験の方法等 ・図示による( )</p> <p>○普通ボルト</p> <p>ボルト及びナットの材料 (7.2.3)</p> <p>○標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品)又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。 (ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。 ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、 ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。 ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。)</p> <p>座金 (7.2.3)</p> <p>※JIS B 1256による</p> <p>戻り止め (7.5.2)</p> <p>※二重ナット</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)</p> <p>※図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)</p> <p>・</p> <p>○アンカーボルト</p> <p>・構造用アンカーボルト (7.2.4)(7.10.3)</p> <p>種類 ・ABR400 ・ABR490</p> <p>・建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルト 種類 ・SS400</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による</p> <p>・</p> <p>ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)</p> <p>※図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 線端距離及びボルト間隔)</p>	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格		補強受け枠	○JIS規格による			・JIS規格による			・JIS規格による			・JIS規格による			・JIS規格による	<p>(7.1.3)</p> <p>(7.1.3.4)</p> <p>(7.2.1)</p> <p>(7.2.2)</p> <p>(7.3.2)</p> <p>(7.4.2)</p> <p>(7.12.5)</p> <p>(7.4.2)</p> <p>(7.6.3)</p> <p>(7.6.4)</p> <p>(7.6.7)</p> <p>(7.6.7)</p> <p>(7.6.7)</p> <p>(7.2.4)(7.10.3)</p> <p>(7.3.2)</p> <p>(7.3.2)</p>																																																																																														
種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格																																																																																																															
	補強受け枠	○JIS規格による																																																																																																															
		・JIS規格による																																																																																																															
		・JIS規格による																																																																																																															
		・JIS規格による																																																																																																															
		・JIS規格による																																																																																																															

ALCパネル	ALCパネルの区分等 (8.4.2~5)						
	区分		単位荷重 (N/m <sup>2</sup> )		厚さ (mm)	幅及び長さ	耐火性能 (時間)
			正荷重	負荷重			
	・外壁用	・一般 ・コーナー ・平 ・意匠	・	・	・	図示による	・なし ・1
	・間仕切壁用	・一般 ・コーナー ・平 ・意匠	・	・	・	図示による	・なし ・1
	・屋根用	・	・	・	・	図示による	・0.5
	・床用	・	・	・	・	図示による	・1 ・2
	パネルの相互の接合部に挿入する目地材 外壁、屋根パネルの構成 1章 適用区分による風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した構法 耐震性能 ※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項 (別表) による パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・図示による 目地幅 (mm) (パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部) ※10~20 外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填 ・適用する ・適用しない						
	ECPの種類等 (8.5.2~5)						
	パネルの種類		表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	工法の種別	備考
・外壁パネル	・ F (フラット <sup>®</sup> 系)	・	・ 50 ・ 60	600	・ A 種		
	・ D (デザイン <sup>®</sup> 系)	・	・ 50 ・ 60		・ B 種		
	・ T (タイムレス <sup>®</sup> 系)	・	60				
・間仕切壁パネル	・ F (フラット <sup>®</sup> 系)	・	・ 50 ・ 60	600	・ B 種		
	・ D (デザイン <sup>®</sup> 系)	・	・ 50 ・ 60		・ C 種		
	・ T (タイムレス <sup>®</sup> 系)	・	60				
外壁パネルの工法 1章 適用区分による風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合 ・図示による パネル相互の目地幅 (mm) ※長辺10、短辺15以上 出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅 (mm) ※15程度 耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ※パネル製造所の仕様 やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する。							
		開口の大きさ		切断後のパネルの残り部分の幅			
パネルに開口を設ける場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示		
	長辺	・	・ 図示	・	・ 図示		
	パネルを切り欠く場合	短辺	・	・ 図示	・	・ 図示	
耐震性能 ※建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項 (別表) による							

改質アスファルトシート防水	屋根露出防水			
	防水層の種別			
	種別	施工箇所		
	・ D-1			
	・ D-2			
	・ D-3			
	・ D-4			
	・ DI-1			
	・ DI-2			
	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合のルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定による ・数量 ( )、設置数量 ( ) 個 屋根排水溝 ※図示 断熱材 <b>G</b> (DI-1、DI-2の場合) 種類 ・ 厚さ ※25mm ・50mm 仕上塗料 種類 ※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による 使用量 ※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による 高日射反射率防水 <b>G</b> ・適用する			
屋内防水 (9.2.3~5) (表9.2.9)				
種別	施工箇所	種別	施工箇所	
・ E-1		・ E-2		
保護層 ・設ける (※図示 ・)				
防水層の下地のモルタル塗り ・適用する (施工範囲 ・図示 ・) 防水層の下地立上り ・コンクリート打放しB種 ・( ) 屋上排水溝 ・適用する ( )				
押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm) 程度 ・ ( ) (9.3.2~3) (表9.3.1~3)				
屋根露出防水				
種別	施工箇所	改質アスファルトシート 種類 厚さ (mm)	断熱材 <b>G</b> 防湿層	
・ A-S-T1	下層用	※非露出複層防水用R種 ・ ※2.5以上 ・		
	上層用	※露出複層防水用R種 ・ ※3.0以上 ・		
・ A-S-T2	下層用	※非露出複層防水用R種 ・ ※4.0以上 ・		
	上層用	※露出複層防水用R種 ・ ※3.0以上 ・		
・ A-S-T3	下層用	※非露出複層防水用R種 ・ ※1.5以上 ・		
	上層用	※露出複層防水用R種 ・ ※3.0以上 ・		
・ A-S-T4	下層用	※非露出複層防水用R種 ・ ※4.0以上 ・		
	上層用	※露出複層防水用R種 ・ ※3.0以上 ・		
・ A-S-J1	下層用	※非露出複層防水用R種 ・ ※1.5以上 ・		
	上層用	※露出複層防水用R種 ・ ※2.0以上 ・		
・ A-S-I-T1	下層用	※非露出複層防水用R種 ・ ※1.5以上 ・	種類 ・ ・ 設ける	
	上層用	※露出複層防水用R種 ・ ※3.0以上 ・		
・ A-S-I-J1	下層用	※非露出複層防水用R種 ・ ※1.5以上 ・	厚さ ・25mm ・50mm ・	
	上層用	※露出複層防水用R種 ・ ※2.0以上 ・		

合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種別 (9.4.2~4) (表9.4.1~3)				
	種別	施工箇所	ルーフィングシートの厚さ (mm)	断熱材 <b>G</b>	仕上塗料 防湿層
	・ S-F1		※1.2 ・		・カラー ・シルバ
	・ S-F2		※2.0 ・		
	・ S-M1		※1.5 ・		・カラー ・シルバ
	・ S-M2		※1.5 ・		
	・ S-I-F1		※1.2 ・	種類 ・	・カラー ・シルバ
	・ S-I-F2		※2.0 ・		・ 設ける ・ 設けない
	・ S-I-M1		※1.5 ・	厚さ ・25 ・50 ・	・カラー ・シルバ
	・ S-I-M2		※1.5 ・		
・ S-C1		※1.0 ・			
S-F1、S-I-F1の場合 プレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・( ) ・図示 プレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り ・( ) ・図示 S-C1の保護層 平場 ・モルタル塗り 塗り厚 (・30mm ・) ・保護コンクリート 厚さ ( ) mm 立上り部の保護モルタルの塗厚 ※7mm以下 ・( )					
塗膜防水 (9.5.3) (表9.5.1~2)					
防水層の種別		施工箇所		備考	
・ X-1				仕上塗料塗り ・カラー	
・ X-2				・シルバ	
・ Y-1	※地下外壁防水				
・ Y-2	※屋内防水			Y-2の保護層 ・設ける	
ケイ酸質系塗布防水 (9.6.3) (表9.6.1)					
防水層の種別		施工箇所		種別 施工箇所	
※C-U1				・ C-U P	
FRP防水					
防水層の種別		施工箇所		備考	
(9.2.3) (9.3.3) (9.4.3) (9.5.3)					
防水種別		種類		設置数量	
D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-I-T1 AS-I-J1 S-F1 S-F2 SI-F1 SI-F2	※アスファルトルーフィング類 (又は改質アスファルトシート、ルーフィングシート) の製造所の仕様による ・		※アスファルトルーフィング類 (又は改質アスファルトシート、ルーフィングシート) の製造所の仕様による ・ ( ) 個/m <sup>2</sup>		
X-1	※主材料の製造所の仕様による ・		※主材料の製造所の仕様による ・ ( ) 個/m <sup>2</sup>		
下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。 (9.7.2、3、5) (表9.7.1)					
施工箇所		シーリング材の種類 (記号)			
サッシ取合い・外壁廻り		MS-2			
シーリング面への仕上塗料仕上げ等 (行) ・行わない 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (部位 )					
防水保証期間 保証期間は ( 10 ) 年とし請負業者、施工業者、製造業者の3社連名の保証とする。					
10 石工事					
石材の割付け (取合い部以外) ・( ) ・図示 (10.1.3)					
天然石 (10.2.1~3) (表10.2.1~2)					
施工箇所	岩石の種類	等級	形状	寸法 (mm) 厚さ (mm) 表面仕上げ 備考	
		・1等品 ・2等品			
テラゾブロック					
施工箇所	種石の種類	大きさ	仕上げ面による区分	寸法 (mm) 厚さ (mm) 表面仕上げ	
	※大理石 ・花こう岩		・平もの ・役もの	・片面 ・両面	
特記仕様書 (建築工事編) (5)			令和4年度版 高知県土木部建築課		
有限会社 友結建築事務所 一級建築士事務所 (高知) 登録第811号 令和6年9月 一級建築士登録第345943号 松本 好弘 新川児童遊園地トイレ新築工事 令和5年7月改正					
			A-05		

・テラゾタイル	施工箇所	種石の種類	大きさ(mm)	寸法による区分	厚さ(mm)	表面仕上げ
		※大理石 ・花こう岩		・300型 ・400型		
乾式工法の方式による金物の取付け方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 あと施工アンカーの材質及び寸法等 ・( ) ・図示 外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質 ・( ) ・図示 石裏面処理及び裏打ち処理 (10.3.2)(10.5.2)(10.6.2、3) ・適用する ・適用しない						

11 タ イル 工 事	・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	位置	( )	図示	(11.1.3)(表11.1.1)					
		タイルの形状、寸法等	(11.2.2、4、6)							
	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考
	段鼻タイル	100角	○	・	・	・	○	○	・	・
	役物使用箇所 ※各部の形状は図示による									
	内装	出隅 天端								
	外装	出隅、窓台、マグサ(標準一体成型品以外は接着成型品とする)								
	見本焼き	・行う ・行わない								
	試験張り	・行う ・行わない								
	・セメント系によるタイル張り	壁タイル張りの工法 (11.2.2、6)								
内外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り 下地モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ※MCR工法又は目荒し工法(高圧水洗処理)										
・有機系接着剤によるタイル張り	壁タイル張りの工法 (11.3.2~5)									
	内装タイル ・内装タイル接着剤張り 外装タイル ・外装タイル接着剤張り 内装タイル以外のユニットタイル ・外装タイル接着剤張り 下地調整塗材塗りのコンクリート素地面の処理 ※MCR工法又は目荒し工法(高圧水洗処理) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。									

12 木 工 事	・表面仕上げ	機械加工 ・A種 ※B種 ・C種 (12.1.4)								
		適用箇所(木表し部)								
	○木材	手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 適用箇所( )								
		本工事に使用する木材は、高知県内産材(高知県内の森林から生産された木材)を使用するものとする。但し、これにより難いものは監督員の承認を得て使用すること。 日本農林規格(JAS)以外の材料を使用する場合は、日本農林規格の品質基準に準じたものとなっていることを証明する資料を監督職員に提出すること。 ・代用樹種 ※使用できない ・使用箇所( )								
	・製材	間伐材等の適用 ・使用する(使用箇所)								
		木材の含水率 ※A種 ・B種 (以降の表に記載のある場合はその数値を優先する)								
	ホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。									
	・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)									
	施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用			
			※2級	・	※A種 ・B種	・	・			
		※2級	・	※A種 ・B種	・	・				
		※2級	・	※A種 ・B種	・	・				
・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材										
施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用				
見え掛り面		※上小節	・	※A種 ・B種	・	・				
見え掛り面以外		※小節以上	・	※A種 ・B種	・	・				
・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹用製材										
施工箇所	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用				
		※1等	・	※10%以下 ・A種 ・B種	・	・				
		※1等	・	※10%以下 ・A種 ・B種	・	・				
・JAS 1083(製材)以外の製材										
施工箇所	寸法(mm)	造作材の材面の品質	防虫処理	防腐・防蟻処理	含水率	間伐材等の適用				
		( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・				

・造作用集成材	・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)							
	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質		
						※1等 ・2等 ※1等 ・2等		
	・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材							
	施工箇所	品名	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
								※1等 ・2等 ※1等 ・2等
	・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材							
	施工箇所	樹種	寸法(mm)	含水率	見付け材面の品質			
				※15%以下				
	・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材							
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	含水率	見付け材面の品質		
					※15%以下			
・造作用単板積層材	・JAS 0701に基づく造作用単板積層材 (12.2.1)							
	施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質		防虫処理		
				・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)		・する ・しない		
	・JAS 0701以外の造作用単板積層材							
	施工箇所	寸法(mm)	含水率	表面の品質		防虫処理		
			※14%以下	・塗装加工 ・天然木加工 ・加工しない(・1等・2等・3等)		・する ・しない		
	・CLT(直交集成板)							
	・JAS 3079に基づく直交集成板 (12.2.1)							
	施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	
・合板等	・「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1)							
	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理		
		※5.5	※1類 ・2類		広葉樹 ・1等 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・する ・しない		
	・「合板の日本農林規格」による構造用合板							
	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	等級	単板の樹種名	板面の品質	防虫処理	強度等級
		※12	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上		※C-D以上 ・	・する ・しない	
	・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板							
	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	防虫処理			
			・特類 ・1類		・する ・しない			
	・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板							
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理				
		・1類 ・2類		・する ・しない				
・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板								
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧加工の方法	単板の樹種名	防虫処理			
		・1類 ・2類			・する ・しない			
・パーティクルボード								
施工箇所	厚さ(mm)	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性	難燃性			
	※15		※13タイプ	※P又はM				
・JAS 0360に基づく構造用パネル								
施工箇所	厚さ(mm)		品名					
・ミディアムデンシティーファイバーボード(MDF)								
施工箇所	厚さ(mm)	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤	難燃性			

・接合具等	造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2)							
	※隠し釘打ち ・釘頭埋木 ・つぶし釘打ち ・釘頭現し 諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書表12.2.3~5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度) ・ (形状: 寸法: 材質: )							
	・接着剤	ホルムアルデヒドの放散量 (12.2.2、3)						
		※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。						
	・防腐、防蟻	防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位( ) (12.3.1)						
		薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理						
	適用部位		保存処理性能区分					
			・K2 ・K3 ※K4					
			・K2 ・K3 ※K4					
	薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理							
適用部位		処理の方法						
薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位( )								
合板等の加圧注入処理の適用 適用部位( )								
合法的に伐採された木材である証明書を提出する。								
13 屋 根 及 び と い 工 事	・長尺金属板葺 (13.2.2、3)(表13.2.1、2)							
	施工箇所	長尺金属板の種類			厚さ(mm)	屋根葺形式		
		※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯(GGLCCR-20-AZ150) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25)			※0.4 ・	・立平葺 ・あり掛葺 ・心木なし瓦葺葺 ・横葺		
	下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ)							
	雪止め ・設置する(施工箇所 図示 )							
	・折板葺 (13.3.2)(表13.2.1)(表14.2.2)							
	施工箇所	形式	長尺金属板の種類		厚さ(mm)	形状(mm)	野先面戸板	耐火性能
		※重ね形 ・はげ罫め形 ・かん合形	※塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金 めっき鋼板及び鋼帯(GGLCCR-20-AZ150) ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (CGCCR-20-Z25)		※0.6 ・0.8	※図示 ・山高( ) ・山ハツ( )	※有り ・なし	※30分 ・なし
	JIS G 3302以外のタイフレームの表面処理(直接外気の影響を受けない屋内の場合) ・E種 ・F種 断熱材 ※有り(種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間) ・無し							
	・粘土瓦葺 (13.4.2、3)							
施工箇所	瓦の種類	寸法による区分	役物瓦の種類		産地			
	※J型	※53A	・軒かわら ・そでかわら ・のしがわら ・かんむりがわら		※高知県産 ・			
	・S形	・49A ・49B	・半かわら ・そでかわら ・かんむりがわら					
	・F形	・40	・半かわら ・そでかわら ・かんむりがわら					
雪止め瓦 ※適用しない ・適用する 凍害試験 ・行う ・行わない 棟補強用金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法 ※図示 下葺材料 ※アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 (・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ)								
檜木の留付け工法 ※図示 棟の工法 ※7寸丸伏せ棟 ・F形用冠瓦伏せ棟 ・のし積み棟 ※高知県産の粘土瓦を使用するときは、JIS A 5208の規格については、寸法に関する部分は適用しない。また、粘土瓦の大きさは、高知県で生産されている粘土瓦の大きさとする。								
特記仕様書(建築工事編)(6)								
有限会社 友結建築事務所 一級建築士事務所(高知) 登録第811号 令和6年9月 一級建築士登録第345943号 松本 好弘 新川児童遊園地トイレ新築工事 令和5年7月改正								
令和4年度版		高知県土木部建築課						
		A-06						

14 金 属 工 事	・とい	といの材種 ・配管用鋼管 ・表面処理鋼板 (13.5.2、3)(表13.5.1、4) ・硬質ポリ塩化ビニル管 (※RF-VP <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span> ・VP)				
		鋼管製といの防露巻き ※行う (工法 ※標準仕様書表13.5.4による)				
		ルーフドレン				
		種 別	材 種	施工箇所		
		・ろく屋根用 (・縦型 ・横型)				
		・バルコニー用				
		・バルコニー中継用				
・アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.1)(表14.2.1)					
	種 別	色 合 い	施工箇所 (成形板、笠木、建具以外)			
	・BB-1種	・標準色 ・特注色				
	・BB-2種	・標準色 ・特注色				
	陽極酸化被膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色					
	(14.2.2)(表14.2.2)					
	表面処理方法	種 別	施工箇所 (手すり、タラップ以外)			
	・溶融亜鉛めっき	・A種				
		・B種				
		・C種				
・D種						
・E種						
・電気亜鉛めっき	・F種					
・軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 屋 外 ・19形 ※25形 (14.4.2~4)(表14.4.1) 屋 内 ※19形 ・25形					
	・屋外の軒天井、ピロティ天井等					
	工法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・ ( ) 周辺部の端からの間隔 ・図示 ・ ( ) 野縁の間隔 ・図示 ・ ( )					
	・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合	補強箇所	※図示 ・ ( )			
		補強方法	※図示 ・ ( )			
	・天井のふところが1.5m以上3m以下の場合	補強箇所	※図示 ・ ( )			
		補強方法	※標準仕様書14.4.4(8)による ・図示			
	・天井のふところが3mを超える場合	補強箇所	※図示 ・ ( )			
		補強方法	※図示 ・ ( )			
	・天井下地材における耐震性を考慮した補強	補強箇所	※図示 ・ ( )			
	補強方法	※図示 ・ ( )				
○軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナの種類 ※標準仕様書表14.5.1による ・図示 (14.5.3、4)(表14.5.1) スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・ ( )					
	(14.6.2、3)(表14.2.1)					
	種 別	製 法	形 状	寸法(mm) 板厚(mm)		
	・アルミニウム	・押し出し ・ロール	スラット形		種 別	色 合 い
					・BB-1種	・標準色
	・プレス	・ハネ形			・BB-2種	・特注色
					・AC-1種	
	・	・	・	・	・AC-2種	
	取付け用下地 ※標準仕様書14.4による ・図示 伸縮調整継手 ・設ける (施工箇所 ・図示)					
	屋外の軒天井、ピロティ天井の工法 1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法					
6 アルミニウム製笠木	種 類 ・250形 ・300形 ・350形 (14.7.2)(表14.7.1)					
	表面処理 種 別 ( ) 種					
	色 合 い ・標準色 ・特注色					
15 左 官 工 事	・モルタル塗り	モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 (15.3.2、5) 既製目地材 ・使用する (施工箇所： 形状： ) 床の目地 ・設ける (工法 ※押し目地 ・ ) 目地割り ※2㎡程度 (最大目地間隔3m程度) ・ ( ) 下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・行う				
		下表以外は表6.2.5及び15.4.2による (15.4.2)(表6.2.5)				
		施工箇所	平たんさ(mm)			
		・7リ-7ヶセ77 (支柱調整式) 範囲	・1mにつき 10 以下			
		・	・			
		・	・			
・仕上塗材仕上げ	内装仕上げに用いる塗料のホルムアルデヒド放散量 (15.6.2) ※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。					

16 建 具 工 事	仕上塗材の種類 (15.6.2)(表15.6.1)															
	種 類	呼 び 名	防火材料	仕上げの形状												
	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Si ・可とう形外装薄塗材Si ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W	・	・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け ・ローラー塗り) ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 (・吹付け ・こて塗り) ・着色骨材砂壁状 (・吹付け ・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく 吸放湿性 ・適用する												
					・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材L ・内装厚塗材G ・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし 吸放湿性 ・適用する 上塗材 ・適用する								
									・複層仕上塗材	・複層塗材CE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・複層塗材RE ・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE ・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸状 耐 候 性 ※耐候形3種 上塗材 溶 媒 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹 脂 アクリル系 外 観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック				
													防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする			
													種 別	・A種	・B種 (15.7.2)	
													ロックウール、接着剤のホルムアルデヒド放散量 (15.12.2、3) ※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。			
													仕上げ吹付け厚さ (mm) ※図示 ・25 ・ ( )			
													・防火戸	・建具表による ・ ( ) (16.1.3)		
・見本の製作等 建具見本の製作 ・行う (建具符号： ) (16.1.4) 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号： )																
・防犯建物部品 ※適用する ( ・建具表による ・ ) (16.1.6)																
・7Mニウム製建具																
性能値等 (16.2.2、4、5)(表14.2.1)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種類 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・E種 (建具符号： ・建具表による ・ )																
・屋内の建具の性能等級 ( ) ・枠の見込み寸法 ・ ( ) ・建具表による																
・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) ・断熱ドア・断熱サッシ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span> 断熱性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない																
表面処理 外部に面する建具 ※BB-1種 ・BB-2種 (※標準色 ・特注色) 屋内の建具 ※BC-1種 ・BC-2種 (※標準色 ・特注色) 結露水の処理方法 ※図示 ・ ( ) 水切り板、ぜん板 ※図示 ・ ( )																
・網戸等	種 類	材 質	線 径	網 目												
	・防虫網	※合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ												
		・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製														
	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm												
	性能値等 (16.2.5)(16.3.2~5)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種類 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・E種 (建具符号： ・建具表による ・ )															
	・屋内の建具の性能等級 ( ) ・枠の見込み寸法 ・ ( ) ・建具表による															
	・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) ・断熱ドア・断熱サッシ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span> 断熱性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) ・外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ( )															
・樹脂製建具	性能値等 (16.2.5)(16.3.2~5)(表16.2.1、2) ・外部に面する建具の性能等級の種類 ・A種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・B種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・C種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・D種 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・E種 (建具符号： ・建具表による ・ )															
	・屋内の建具の性能等級 ( ) ・枠の見込み寸法 ・ ( ) ・建具表による															
	・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) ・断熱ドア・断熱サッシ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span> 断熱性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) ・外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ( )															

・鋼製建具	材料 ガラス ※複層ガラス (組合せは建具表による) ・ ( ) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 表面色 ・標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ・ ( ) ・図示 木下地の場合の内付け建具 ・適用する ・適用しない			
	性能値等 (16.2.2)(16.4.2~4)(16.4.6)(表16.4.2) ・簡易気密型ドアセット (建具符号： ・建具表による ・ ) ・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) ・断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) ・耐震ドア 面内変形追隨性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430JIL又はSUS443JI 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・ ( ) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 鋼板類の厚さ ※標準仕様書 (16.4.2)による ・ ( )			
	性能値等 (16.2.2)(16.5.2~4)(16.5.6)(表16.5.1) ・簡易気密型ドアセット (建具符号： ・建具表による ・ ) ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) ・断熱ドア・断熱サッシ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span> 断熱性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) ・耐震ドア 面内変形追隨性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ○カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304 ・SUS430JIL又はSUS443JI 召合わせ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・ ( ) ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による ・ ( ) 鋼板類の厚さ ※標準仕様書 (16.5.1)による ・ ( )			
	性能値等 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~5) ・簡易気密型ドアセット (建具符号： ・建具表による ・ ) ・外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (建具符号： ・建具表による ・ ) ・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) ・断熱ドア・断熱サッシ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">G</span> 断熱性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) ・耐震ドア 面内変形追隨性の等級 ( ) (建具符号： ・建具表による ・ ) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304 ・SUS430JIL又はSUS443JI ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL ・No.2B 表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ ・ ( ) ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ			
	・木製建具 建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・ ( ) (16.7.2~4) 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。 ・フラッシュ戸 ・かまち戸 かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) ・ふすま 種別 (・I型 ・II型) ふすま紙上張り (押入等の裏側以外) (・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度) 縁仕上げ (・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリアー塗装)) ・戸ぶすま ・紙張り障子 枠及びくつずりの材料 ・ ( ) ・図示			
	・鍵 マスターキー ・制作する ・制作しない (16.8.4) その他の鍵 ※各室3本1組 (室名札付き、鍵箱有) ・ ( )			
	・自動ドア開閉装置 (16.9.2、3)			
	種 類	駆動装置の値	防 錆	検出装置の性能値
	引き戸用駆動装置	※標準仕様書表16.9.1による	・適用する ・適用しない	※標準仕様書表16.9.3による ・光線 (反射) センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ
	車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置	※標準仕様書表16.9.2による	・適用する ・適用しない	車椅子使用者用便房スイッチ
性能 ※標準仕様書表16.10.1による ・ ( ) (16.10.3)(表16.10.1)				
○自閉式上吊り引戸装置				

特記仕様書 (建築工事編) (7)

令和4年度版 高知県土木部建築課

有限会社 友結建築事務所 一級建築士事務所 (高知) 登録第811号 令和6年9月 一級建築士登録第345943号 松本 好弘				
新川児童遊園地トイレ新築工事 令和5年7月改正				A-07

・重量シャッター	シャッターの種類				・管理用シャッター 耐風圧強度 ( ) pa (16.11.2、3)	・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) pa	・屋内用防火シャッター	・防煙シャッター
	開閉方式の種類 ※電動式(手動併用) ・手動式				安全装置			
・軽量シャッター	電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 ※建具表による ・ ( )				電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・ ( )			
	屋内用防火シャッター、防煙シャッターの危害防止装置 ※建具表による ・ ( )				管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない			
・オートヘッド付	スラット及びシャッターケース用鋼板				鋼板の種類			
	めっきの付着量 ※Z12又はF12 ・ ( )				ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及びカバー、スイッチボックス類のふたの材質			
・ガラス	閉開方式の種類 ※手動式 ・電動式(手動併用) (16.12.2~4)				耐風圧強度 ( ) pa			
	電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・ ( )				スラット 形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形			
・ガラスブロック積み	※JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量(※Z06又はF06 ・ )				※JIS G 3322(塗装溶融55%亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量(※AZ90)			
	セクション材料による区分				閉開方式による区分			
・ガラスブロック積み	※ステンレスタイプ				※バランス式			
	・アルミニウムタイプ				・チェーン式			
・建築窓ガラス用フィルム	・ファイバーグラスタイプ				・電動式			
	風圧力による強さの区分 ( ・125 ・100 ・75 ・50 )				電動式シャッターの障害物感知装置 ※建具表による ・ ( )			
・ガラスブロック積み	・合わせガラス (9.7)(16.14.2~4)(図16.14.1)				特性による種類 ・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類			
	強化ガラス				特性による種類 ・ I類 ・ III類			
・ガラスブロック積み	熱線吸収ガラス				性能による種類 ・ 1種 ・ 2種			
	複層ガラス				断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6			
・ガラスブロック積み	日射取得性、日射遮へい性による区分 ・ G ・ S				乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン			
	熱線反射ガラス				日射熱遮へい性 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種			
・ガラスブロック積み	耐久性				・ A種 ・ B種			
	ガラスの留め材及び溝の大きさ				建具の種類			
・ガラスブロック積み	アルミニウム製				※シーリング材			
	鋼製及び鋼製軽量				※シーリング材			
・ガラスブロック積み	ステンレス製				※シーリング材			
	樹脂製				・シーリング材			
・ガラスブロック積み	樹脂製				・ガスケット			
	樹脂製				※グレイジングチャンネル形			
・ガラスブロック積み	表面形状				呼び寸法			
	厚さ				色調			
・ガラスブロック積み	目地幅(mm)				伸縮調整目地(mm)			
	防火性能				耐火性能			
・ガラスブロック積み	正方形				・125×125			
	・160×160				・95・125			
・ガラスブロック積み	・200×200				・95・125			
	・320×320				95			
・ガラスブロック積み	長方形				・250×125			
	・320×160				95			
・ガラスブロック積み	曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。				種類			
	張り面				その他性能値等			
・ガラスブロック積み	※衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム				G1			
	・日射調整フィルム				SC			
・ガラスブロック積み	品質 JIS A5759による				遮へい性能 ・ A ・ B ・ C			
	品質 JIS A5759による				遮へい性能 ・ A ・ B ・ C			

18 塗装工事	・材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3)			
		※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。			
18 塗装工事	・素地ごしらえ	防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする			
		・次の箇所を除き防火材料とする (箇所: )			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	下地面等			
		種別			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	木部			
		不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・ B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	鉄鋼面			
		透明塗料塗りの場合 ・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	亜鉛めっき鋼面			
		・ A種 ・ B種 ※C種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	モルタル面及びプaster面			
		・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面			
		・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	コンクリート面(DP)及びALCパネル面			
		・ A種 ・ B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	縦目処理工法の場合 ※A種 ・ B種			
		縦目処理工法以外 ・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	せつこうボード面及びその他ボード面			
		縦目処理工法以外 ・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	下地面等			
		工程の種類			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	塗料の種類			
		見え掛り部分			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	鉄鋼面			
		見え隠れ部分			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	亜鉛めっき鋼面			
		鋼製建具等			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	鋼製建具等以外			
		・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	塗装			
		種類の別			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	塗料の種類			
		木部屋外			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	木部屋内			
		鉄鋼面			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	亜鉛めっき鋼面			
		-			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	クリアラッカー塗り(CL)			
		・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	アクリル樹脂系非水分散系塗料塗り(NAD)			
		・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	鉄鋼面			
		-			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	亜鉛めっき鋼面			
		-			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	コンクリート面及び			
		押出成形セメント板面			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	コンクリート面			
		モルタル面			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	プaster面			
		石こうボード面			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	その他のボード面等			
		-			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	屋内の鉄鋼面			
		・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)			
		・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)			
		・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	ステイン塗り			
		・ピグメントステイン塗り			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	オイルステイン塗り(OS)			
		・ A種 ※B種			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	木材保護塗料塗り(WP)			
		高日射反射率塗装 G ・適用する(屋上、屋根面の金属面)			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	クリアラッカー塗りA種の工程2の適用			
		・適用する(着色材: ・溶剤系着色材 ・油性染料着色材) ・適用しない			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用			
		・適用する ・適用しない			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	オイルステイン塗りの工程等			
		-			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	材質			
		水性アクリル系樹脂塗料(※標準色)			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	仕上種別			
		コーティング(ローラー刷毛塗り)			
18 塗装工事	・錆止め塗料塗り	塗布量			
		主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/m <sup>2</sup> 以上とする			
19 内装工事	・接着剤	接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2)			
		※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。			
19 内装工事	・ビニル床シート G	施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地の場合の接着剤の種類 ・図示 ・ ( )			
		種類			
19 内装工事	・ビニル床シート G	施工箇所			
		色柄			
19 内装工事	・ビニル床シート G	特殊機能			
		厚さ(mm)			
19 内装工事	・ビニル床シート G	※FS			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・マーブル柄			
		・柄物			
19 内装工事	・ビニル床シート G	帯電防止			
		・耐動荷重			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・防滑性			
		・耐薬品性			
19 内装工事	・ビニル床シート G	目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法 ・ ( )			
		帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満			
		又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1x10 <sup>7</sup> ~1x10 <sup>10</sup> Ω程度			
19 内装工事	・ビニル床シート G	種類			
		施工箇所			
19 内装工事	・ビニル床シート G	色柄			
		寸法(mm)			
19 内装工事	・ビニル床シート G	特殊機能			
		厚さ(mm)			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・FT			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・300×300			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・防滑性			
		・			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・KT			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・300×300			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・防滑性			
		・			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・FOA			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・500×500			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・帯電防止			
		・防滑性			
19 内装工事	・ビニル床シート G	帯電防止			
		帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満			
19 内装工事	・ビニル床シート G	又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1x10 <sup>7</sup> ~1x10 <sup>10</sup> Ω程度			
		種類			
19 内装工事	・ビニル床シート G	施工箇所			
		色柄			
19 内装工事	・ビニル床シート G	寸法(mm)			
		特殊機能			
19 内装工事	・ビニル床シート G	厚さ(mm)			
		・FT			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・無地			
		・柄物			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・300×300			
		・帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・防滑性			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・KT			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・300×300			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・防滑性			
		・			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・FOA			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・500×500			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・帯電防止			
		・防滑性			
19 内装工事	・ビニル床シート G	帯電防止			
		帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満			
19 内装工事	・ビニル床シート G	又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1x10 <sup>7</sup> ~1x10 <sup>10</sup> Ω程度			
		種類			
19 内装工事	・ビニル床シート G	施工箇所			
		色柄			
19 内装工事	・ビニル床シート G	寸法(mm)			
		特殊機能			
19 内装工事	・ビニル床シート G	厚さ(mm)			
		・FT			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・無地			
		・柄物			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・300×300			
		・帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・防滑性			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・KT			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・300×300			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・防滑性			
		・			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・FOA			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・500×500			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・帯電防止			
		・防滑性			
19 内装工事	・ビニル床シート G	帯電防止			
		帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満			
19 内装工事	・ビニル床シート G	又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1x10 <sup>7</sup> ~1x10 <sup>10</sup> Ω程度			
		種類			
19 内装工事	・ビニル床シート G	施工箇所			
		色柄			
19 内装工事	・ビニル床シート G	寸法(mm)			
		特殊機能			
19 内装工事	・ビニル床シート G	厚さ(mm)			
		・FT			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・無地			
		・柄物			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・300×300			
		・帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・防滑性			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・KT			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・300×300			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・防滑性			
		・			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・FOA			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・500×500			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・帯電防止			
		・防滑性			
19 内装工事	・ビニル床シート G	帯電防止			
		帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満			
19 内装工事	・ビニル床シート G	又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1x10 <sup>7</sup> ~1x10 <sup>10</sup> Ω程度			
		種類			
19 内装工事	・ビニル床シート G	施工箇所			
		色柄			
19 内装工事	・ビニル床シート G	寸法(mm)			
		特殊機能			
19 内装工事	・ビニル床シート G	厚さ(mm)			
		・FT			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・無地			
		・柄物			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・300×300			
		・帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・防滑性			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・KT			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・300×300			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・防滑性			
		・			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・FOA			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・500×500			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・帯電防止			
		・防滑性			
19 内装工事	・ビニル床シート G	帯電防止			
		帯電防止性能評価値(JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満			
19 内装工事	・ビニル床シート G	又は体積電気抵抗値(JIS A 1454) 1x10 <sup>7</sup> ~1x10 <sup>10</sup> Ω程度			
		種類			
19 内装工事	・ビニル床シート G	施工箇所			
		色柄			
19 内装工事	・ビニル床シート G	寸法(mm)			
		特殊機能			
19 内装工事	・ビニル床シート G	厚さ(mm)			
		・FT			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・無地			
		・柄物			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・300×300			
		・帯電防止			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・防滑性			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・KT			
		・無地			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・柄物			
		・300×300			
19 内装工事	・ビニル床シート G	・450×450			
		・帯電防止			

9 畳敷き	(19. 6. 2) (表19. 6. 1)		
	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (畳床： ) 下地の種類 ・ 標準仕様書 表12. 6. 1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン <b>G</b> ) ホルムアルデヒド放散量 ※1 各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。 畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする。 畳表 高知県土佐畳表検査協会の合格品使用 (3種表の2等以上) ※適用する ・ 適用しない 畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 (19. 7. 2) (表19. 7. 1)		
せっこうボード、 その他ボード 及び合板張り	種類 JISの記号 厚さ (mm)、規格等		
	・ 硬質木毛セメント板 <b>G</b>	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
・ 中質木毛セメント板 <b>G</b>	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	
・ 普通木毛セメント板 <b>G</b>	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	
・ 硬質木片セメント板 <b>G</b>	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・	
・ 普通木片セメント板 <b>G</b>	NF	・ 30	
○けい酸カルシウム板	0.8 FK 1.0 FK	タイプ2 (無石棉) ○6 ・ 8	
・ ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ (※ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ ) ・ 凹凸タイプ (※ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ )	
・ ロックウール吸音ボード1号	RWB	※25 ・	
・ グラスカル吸音ボード32K	GWB	※25 (ガラスクロス包) ・	
・ せっこうボード	GB-R	※12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 9.5	
・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) ・ 化粧無 (下地張り用) ・ 化粧有 (トラバーチン模様)	
・ シーリングせっこうボード	GB-S	12.5 (○不燃 ・ 準不燃)	
・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)	
・ せっこうラスボード	GB-L	9.5	
・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D (W)	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (※柱目 ・ 板目) 専用下地材有り	
・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D(T)	9.5 (準不燃)	
・ 普通合板 <b>G</b>		・ 生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度) ・ 不透明塗料塗り (しな合板程度)	
・ 天然木化粧合板 <b>G</b>			
・ 特殊加工化粧合板 <b>G</b>		・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装	
・ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による 厚さ1.2	
・ ポリエステル樹脂化粧板			
・ ミディアムテンティファイナード <b>G</b>	G-MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ 無研磨 ・ 研磨	
・ 単板張りパーティクルボード <b>G</b>		・ 無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・	
・ 化粧パーティクルボード <b>G</b>		・ 単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・	
・ ハードボード (素地) <b>G</b>	HB	・ 無研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード)	
・ ハードボード (化粧) <b>G</b>		・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7	
・ インシュレーションボード <b>G</b>	A-IB T-IB	A級 ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18	
・ 火山性ガラス質複層板 化粧加工K2	密度A I	・ 6 ・ 9 ・ 12	
遮音シール材 ・ 適用する ( ・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド) ホルムアルデヒド放散量 ※1 各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。 合板類の張付け ・ A種 ※B種 せっこうボードの目地工法 ・ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法			
ホルムアルデヒド放散量 ※1 各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。 (19. 8. 2、3)			
・ 壁紙張り	壁紙の種類 防火性能 備考		
施工箇所	紙	繊維	プラスチック無機質その他
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・
	・	・	・
モルタル ・ プラスター面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種			
コンクリート面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種			
せっこうボード面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種			
断熱材 <b>G</b>	(19. 9. 2~4)		
断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※1 各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。 ・ 断熱材打込み工法			
種類	厚さ (mm)	施工箇所	
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材			
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スチレンなし)			
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材			
・ フェノールフォーム断熱材			
断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ ( ) 施工箇所 ※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレイン回りの床版下等、部分的に後張り としなければならない箇所 ・ 図示			

20 ユニット及びその他の工事	(20. 2. 2)							
	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考
	・ 置敷式 ・ 支柱調整式	・ 500×500		・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3000N ・ 5000N	・ 帯電防止床タイプ ・ タイムカベット		
	帯電防止性能 ・ 評価値 (U) ≥ 0.6 ・ 評価値 (U) ≥ 1.2 感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≥ 1×10 <sup>8</sup> Ω 寸法精度 ※標準仕様書20. 2. 2(2) (オ)による ・ ( ) 耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能 ※標準仕様書20. 2. 2(2) (イ)による ・ ( ) 表面仕上げ材の品質・性能は、標準仕様書19章による。 スロープ及びボーダー ※製造所の仕様による ・ 図示 配線用取り出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※100パーセント ・ ( ) 配線取り出し開口 ※パネル1枚につき 40mm×80mm 程度の開口1ヶ所以上 ・ 図示 空調用吹き出し (吸い込み) パネル ※なし ・ あり (形式、施工箇所：図示)							
	(20. 2. 3)							
	構造形式	構成基材の種類	総厚さ (mm)	表面材			遮音性	防火性能
	・ スタッド式 ・ スタッドなし式 ・ なし式			材質	厚さ (mm)	パネル表面仕上げ		
				・ 鋼板	※0.6 ・ 0.8	※ポリマー樹脂焼付 又はポリマー樹脂焼付 ・ 壁紙張り	・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36	・ 不燃
	パネル内に取り付ける建具 ・ あり ( ・ 図示 ・ ) ・ なし 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※1 各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。 (20. 2. 4)							
	構造形式	操作方法	パネル圧接装置の操作方法	厚さ (mm)	パネル表面材		遮音性	
	・ 平行方向移動式 ・ 二方向移動式	・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	・ フック式 ・ ハンドル式		材質	仕上げ		
					・ 鋼板	・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り	・ 36未満 ・ 36以上	
	表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による ハンガーレールの取付け下地の補強 ※パネル重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の5倍の荷重をパネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して耐力及び変形量及使用上支障のないものとする。 パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えるもの (20. 2. 5)							
	パネル表面材の種類	脚部			ドアエッジ			
		形状	材質	形状	材質			
	・ ポリマー樹脂系化粧板 ・ ポリスチレン樹脂系化粧板	※幅木 ・	・ アルミニウム製 ※ステンレス製	・ R	・ 標準 ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材			
	パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※1 各章共通事項 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策 による。 (20. 2. 6)							
	材種	表面仕上げ		直径 (mm)	取付箇所			
	※集成材	※クリアラッカー		・ 60 ・ 45				
	○ステンレスパイプ	○HL		支柱：φ38	スロープ手すり			
	・ 鋼製パイプ	・ EP-G						
	・ ビニル製ハンドレール							
	(20. 2. 7)							
	材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド				
	・ ステンレス製 (SUS304) ・ ビニルタイヤ入り	・ 約35 ・	※接着工法 ・ 埋込み工法	※有り (※ビニル製 ・ ステンレス製) ・ 無し				
	(20. 2. 9)							
	区分	種類	寸法 (mm)	色彩	形式			
	・ 黒板	※焼付け ・	・ ほうろう ・ 鋼製	※緑 ・ 黒	※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付き引分け			
	・ ホワイトボード	・ ほうろう ・	・ ほうろう ・ 鋼製	白	※平面 ・ 曲面 ・ スクリーン付き引分け			
	(20. 2. 10)							
	取付箇所	( )			( )			
	寸法 (mm)	( )			( )			
	厚さ (mm)	※5 ・ ( )						
	(20. 2. 11)							
	区分	材質	寸法・形状 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm)	備考		
	・ 衝突防止表示 ( ・ 両面 ・ 片面)	・ ステンレス製 ・ 図示	※30φ ・	※市販品 ・	※図示 ・			
	・ 室名札 ○ピクトグラフ ・ とびら番号	※アクリル板 ○ 図示	※図示 図示	※5 ○ 図示	※図示 ・			
	・ 庁舎案内板 ・ 各階案内板	※アクリル板 ・	※図示 ・	※5 ・	※図示 ・			
	・ 誘導標識 ・ 非常用進入口表示	※消防法に適合する市販品			※図示 ・			
	案内用図記号は JIS Z 8210 による。							
	(20. 2. 12)							
	材質及び仕上げ ・ SUS304 (スリッパ止め加工 ※あり ・ なし) ・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14. 2. 21による種別 (※C種 ・ ))							
	(20. 2. 13)							
	適用安全使用温度 上限温度 ・ 400℃ ・ 650℃ 下限温度 ・ ( )℃							
	(20. 2. 14)							
	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	取付箇所	
※横形	・ 電動 ・ 手動	※ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式		※アルミニウム合金製 <b>G</b>	※25 ・	※鋼製 ・	※図示 ・	
・ 縦形	・ 電動 ・ 手動	・ 1本操作コード式 ※2本操作コード式		・ アルミスラット ・ クロースラット	・ 80 ・ 100	※アルミニウム合金製 ・	※図示 ・	
	(20. 2. 15)							
	材種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考		
※ポリエステル <b>G</b>	・ 電動式 ・ 綿 ・	・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	・ 図示 ・	※図示			
	(20. 2. 16)							
	形式	ひだの種類	開閉操作	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考		
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ フランスひだ ・ 箱ひだ ・ つまひだ ・ プレーンひだ ・ 片ひだ	・ 電動 ・ ひも引き ・ 手引き		※図示			
						(暗幕)		
	(20. 2. 16)							
	材種	※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材 ・ ステンレス製			(20. 2. 16)			
形式	・ 片引き ・ 引分け (暗幕用は 300mm 以上の召合せの重掛けとする)							
形状	・ 角形 ・ ( )							
	(20. 2. 17)							
	溝幅×深さ (mm)	・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80	図示					
材質	・ 集成材 (仕上げ： ・ 鋼製 (仕上げ： ・ アルミニウム製 表面処理 ※BC-1 ・ BC-2 (色合い ・ 標準色 ・ 特注色)							
	材種	寸法	形式	外枠	内枠	枠の許容差	外枠と内枠のクリアランス	
※アルミニウム製 ・	・ 450×450 ・ 600×600 ・	・ 一般形 ・ 密閉形	・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ	±0.5mm 以内	片側 2.0mm以内	
	アルミニウム合金押出材は JIS H 4100 A6063S-T5 により、表面処理は陽極酸化被膜 JIS H 8601 (AA6) (外部についてはB種又は同等品以上) をおこなったものとする。 内枠、外枠のコーナーピース、及び吊り金物、取付ボルトは鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理 をおこなったものとする。 内枠の仕上材、留付金具はアルミニウム合金押出材、亜鉛めっき鋼板の類とする。							
	特記仕様書 (建築工事編) (9)				令和4年度版	高知県土木建築課		
	有限会社 友結建築事務所 一級建築士事務所 (高知) 登録第811号 令和6年9月 一級建築士登録第345943号 松本 好弘 新川児童遊園地トイレ新築工事 令和5年7月改正							A-09

○表示	・ タラップ	・ 煙突ライニング	・ ブラインド	・ ロールスクリーン	・ カーテン	・ カーテンレール	・ ブラインドボックス 及びカーテンボックス	・ 天井点検口
-----	--------	-----------	---------	------------	--------	-----------	---------------------------	---------

○表示	・ タラップ	・ 煙突ライニング	・ ブラインド	・ ロールスクリーン	・ カーテン	・ カーテンレール	・ ブラインドボックス 及びカーテンボックス	・ 天井点検口
-----	--------	-----------	---------	------------	--------	-----------	---------------------------	---------

・床点検口	材種					寸法		形式		枠の許容差	受枠と蓋枠のクリアランス	
	・アルミニウム製	・ステンレス製	・鋼製	・450×450	・600×600	・一般形	・密閉形	・屋内外用	・屋内用	受枠、蓋枠とも±0.5mm以内	片側2.0mm以内	
	一般形：パッキンを装着しないもの、又はたがつき防止用パッキンを装着したものの密閉形：ボルト、ナット等のメカニカル構造にパッキンを装着したものの											
	材料の品質及び性能											
	使用部位	材料	屋内外用				屋内用					
	受枠材	7アルミニウム合金	JIS H 4100 A6063S-T5									
	蓋枠材	押出形材	表面処理：標準仕様書表14.2.1のAB-1種、AB-2種、BB-1種、BB-2種									
		ステンレス	JIS G 4305 SUS304 表面仕上：HL又はNo.2B程度(目地ともの場合)									
		鋼材	-	鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313 SEHC)の類に一般さび止めペイント(JIS K 5621)、又はメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの								
	二重蓋の中蓋	鋳鉄	JIS G 5501 FC150, FC200									
目地材	黄銅	JIS H 3100 C2600, C2720, C2801P JIS H 3250 C2602, C3604B										
	ステンレス	JIS G 4305, JIS G 4308 SUS304										
底板材	ステンレス鋼板	JIS G 4305, JIS G 4308	SUS 304	JIS G 4305	SUS430							
コーナー	7アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24)	-									
底板補強材		表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)										
	鋼材	-	鋼板又は電気亜鉛めっき鋼板(JIS G 3313 SEHC)の類に一般さび止めペイント(JIS K 5621)、又はメラミン樹脂焼付塗装等の防錆処理をおこなったもの									
錠		亜鉛合金製(クロムめっき) 黄銅製、ステンレス製の類 施錠・開錠は、錠又は開閉用ハンドル式とする										
開閉方式												
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロブレン、スチレンブタジエンエラストマー										
アンカー材	鋼材	電気亜鉛めっき又は防錆塗装をおこなったもの										
取っ手		黄銅鋳物製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋳物製、ステンレス鋳鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする。										
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重値 Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有効径の0.08%以内であること。 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること。										
・耐震スリット	方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考						
	・垂直方向	・25	※完全(全貫通型)	・耐火型	・有り							
	・水平方向	-	-	・非耐火型	・無し							
	目地(目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による)											
	目地	内壁				外壁						
	目地材	・シーリング材(見え掛かり部のみ)			・シーリング材(見え掛かり部のみ) ・シーリング材(内外とも)							
	目地寸法(mm)	※スリット幅×深さ10			※スリット幅×深さ10							
・止水板	形状	・差込式	・据置式	・壁張り式								
	設置箇所	※図示										
・エキスパンションジョイント金物	材質	・アルミニウム	・ステンレス									
	クリアランス	・50	・100	・150								
	耐火性能	・有り( )	・無し									
・くつふきマット	材種	受け枠			備考							
	・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼(SUS304)										
	・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金										
	・ステンレス鋼(SUS304)製	-										
	-	-										
・流し台ユニット	材種	寸法(mm)			備考							
		W	D	H								
	・流し台	・1200	・550	・800	市販品 水封50mm以上のトラップ付 天板ステンレス製							
		・1500	・600	・850								
		・1800	・650	-								
	・コンロ台	・600	・550	・620	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製							
			・600	・670								
			・650	-								
	・吊り戸棚	・1200	・450	・500	市販品							
		・900	・700	-								
	・水切り棚	・1200	-	-	市販品 ステンレス製 ・1段式 ( )							
		・900	-	-								
		・600	-	-								
	品質・性能	JIS A 4420による										
	形状	※図示										

・旗竿	材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	
	・アルミニウム合金製	・テーパー式		・ハンドル式	・埋込式		
	-	・同一断面式		・ロープ式	・ベース式	・バンド式	
	材種	※ステンレス製(SUS304)	-				
	形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)			
	・上下式鎖内蔵式(標準品・スプリング式)	・ステンレス製	・φ76.3 t=2.0	・GL+700			
	○差込式カギ付	○リサイクルリジン	○φ115	○H=850			
	フェンスの種類	・ビニル被覆エキスパンドフェンス ○樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス					
	高さ	( ) 図示					
	コンクリートの設計基準強度	(20.3.3、4)					
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m <sup>3</sup> を満足する調合強度							
図示							
配筋	※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 図示						
取付け方法	※図示						
	(20.4.2、3)						
材種	種類	質量区分	備考				
・間知石	・花こう岩	・凝灰岩	-				
・コンクリート間知ブロック			・A・B				
積み方	※谷積み・布積み 目塗り ( ) 図示 伸縮調整目地 材種及び厚さ ( ) 図示						
種類	規格等	JISによる種類					
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種	・2種	・3種			
及び物品棚		・4種	・5種	・6種			
枠の材質	※アルミニウム製						
表面の材質	※塩ビ発泡シート張り						
材種	・メラミン樹脂化粧板張り(心材：集成材) ・人工大理石						
奥行き(mm)	・約450 ・約600						
固定式							
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考				
※網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き				
・線入り磨板ガラス	-	-					
可動式							
種類	材質	高さ(mm)	備考				
・垂直降下式(巻取り型)	※不燃布(不燃認定品)	※500	ガイドレール ※固定式(壁埋込型) ・可動式(天井収納型)				
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500	表面仕上げ ※天井材張り				
		・800					
		-					
降下機構	煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)						
照明器具	※有り ・無し						
施錠	※有り ・無し						
材質、形状、寸法	※図示 ( )						
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量	※1各章共通事項 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策 による。						
種類	※コンクリートブロック製(市販品) ・花こう石類(文字記号等入り)						
設置方法	根切り底を突き締めたうえ、厚さ60mmの砂利地業を行い、コンクリートで根巻きして建て込む。 建て込みは監督職員の立ち会いのもと行う。 コンクリートの調合 容積比 セメント1：砂2：砂利4 程度						
敷地境界石標							

21 排水工事	・屋外雨水排水	排水管用材料 (21.2.1、2)(表21.2.1、2)				
	材種	記号・種類	形状	呼び径	備考	
	・遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管(1種)	・B形管	-	※図示	
		・RF-VP [G]	-	-	屋内	
	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP	-	-	※図示	
		・RS-VU [G]	-	-	※図示	
		・VU	-	-	※図示	
	基床の厚さ及び種類	( ) 図示				
	砂地業に用いる材料	・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン [G] ・切込砂利 ・切込砕石 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ( ) 現場打ちコンクリート ※設計基準強度18N/mm <sup>2</sup> S-15 ( ) 現場打ちの場合の鉄筋の種類 ※SD295 ( ) 現場打ちの場合の足掛け金物 ※標準仕様書21.2.2(6)(オ) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被膜加工されたもの 側境の形状及び寸法 ( ) 図示 排水柵、ふたの種類 ( ) 図示 凍上抑制層に用いる材料 ( ) 砂の粒度試験 ・行う ・行わない				
	名称	鋼鉄製マンホールふた (21.2.1)				
種類	適用荷重	鍵	備考			
・水封形	・T-2用	・有	左記以外の品質等は(公社)			
・簡易密閉形(パッキン式)	・T-6用	・無	空気調和衛生工学会			
・密閉型(テーパーパッキン式)	・T-20用	-	SHASE-S209による			
・中ふた付き密閉形(テーパーパッキン式)	-	-				
	(21.2.1)					
材質	形式	用途	適用荷重	メインベッチ 普通目 細目	亜鉛めっき (付着量)	上面形状
・鋼製	※受枠付 ボルト 固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・ ・ ・ ・	・( ) ・( ) ・( ) ・( )	※凹凸形 ・平形
・ステンレス製	※受枠付 ボルト 固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	/	/	・凹凸形 ・平形
	(21.3.1、2)(表21.3.1)					
種類	形状、寸法					
・緑石	・図示 ( )					
・U形側溝	・図示 ( )					
・U形側溝ふた	・図示 ( )					
・L形側溝	・図示 ( )					
-	・図示 ( )					
砂地業に用いる材料	・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン [G] ・切込砂利 ・切込砕石 現場打ちコンクリート ※設計基準強度18N/mm <sup>2</sup> S-15 ( ) 現場打ちの場合の鉄筋の種類 ※SD295 ( ) 凍上抑制層に用いる材料 ( ) (砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない					
※B種	( )					
埋戻し土						
特記仕様書(建築工事編)(10)	令和4年度版	高知県土木部建築課				
有限会社 友結建築事務所 一級建築士事務所(高知) 登録第811号 令和6年9月 一級建築士登録第345943号 松本 好弘						
新川児童遊園地トイレ新築工事 令和5年7月改正					A-10	

22 舗装工事

●路床

路床の材料 (22.2.2、3、5) (表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
●盛土	・A種 ●B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	※図示 ・
・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン ・切込み砂利 ・砂	※図示 ・
●フィルター層	●砂 ・	※図示 ・

凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・行う ・行わない

・路床安定処理  
安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法  
路床安定化処理用添加材料  
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種  
・生石灰 ( ・特号 ・1号 ) ・消石灰 ( ・特号 ・1号 )  
添加量 kg/m<sup>3</sup> (目標CBR ※3以上 ・)

・ジオテキスタイル  
単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上 ・ ( )  
厚さ (mm) ・0.5~1.0 ・ ( )  
引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm)以上 ・ ( )  
透水係数 ・1.5×10<sup>-1</sup>cm/sec以上 ・ ( )

路床土の支持力比 (CBR) 試験 ※行う ・行わない  
路床の締固め度の試験 ※行う ・行わない  
現場CBR試験 ※行う ・行わない

●路盤

路盤の厚さ ※図示 ・ ( ) (22.3.2、3) (表22.3.1)

路盤材料 ・クラッシャーラン ・粒度調整砕石 ・再生粒度調整砕石 G  
●再生クラッシャーラン G ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ G  
・粒度調整鉄鋼スラグ G ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

●アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 ・ ( ) (22.4.2~6) (表22.4.4)

材料及び種類  
アスファルト ・再生アスファルト G (●60~80 ・80~100) ・ストレートアスファルト  
骨材 ※道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 G  
加熱アスファルト混合物等の種類

区分	種類
表層	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F)

アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない  
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ( )

●コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ (22.5.2~4) (表22.5.1、3)

部位	構成	厚さ(mm)
車路及び駐車場	・(9-21-2) ・図示 ・ ( )	・図示 ・150 ・ ( )
歩行者用通路	・(9-22-2) ・図示 ・ ( )	・図示 ・70 ・ ( )

材料 普通コンクリート ・標準仕様書 表22.5.1による  
早強ポルトランドセメント ※使用しない ・使用する  
目地 種類、間隔、構造 ※標準仕様書 表22.5.3及び図22.5.1による ・図示  
注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ  
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ( )

●カラー舗装

カラー舗装の構成及び厚さ (22.6.2~4)

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
※加熱系	※アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	車路及び駐車場 歩行者用通路	・図示 ・ ( ) ・図示 ・50 ・図示 ・ ( ) ・図示 ・30
※常温系	・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装	・ニート工法 ・塗布工法	

加熱系混合物に添加する材料 ・着色骨材 ・自然石  
配合  
加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量 ( )  
ニート工法及び塗布工法の配合等 ( )  
舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ ( )  
加熱系アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない

●透水性アスファルト舗装

透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ ・図示 ・ ( ) (22.7.2、3、6)

材料  
骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 G  
試験  
開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う ・行わない  
舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの ・ ( )

●ブロック系舗装 (22.8.2、3)

舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
・コンクリート 平板舗装	※普通平板 (N) ・透水平板 (P) ・保水性平板 (M)	※300角 ・	※60 ・	目地材 ※砂 ・モルタル クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し
・インターロッキング ブロック舗装	※普通ブロック (N) ・透水性ブロック (P) ・保水性ブロック (M)		車道部 ※80 歩道部 ※60	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> ) 車道部 ※5.0 歩道部 ※3.0 着色及び表面加工 ※標準品 ・
・舗石舗装	※小舗石 (花崗岩) ・ 形状 ・角石 ・板石 ・割石			施工方法 ※うろこ張り ・ クッション材 ※砂 ・空練りモルタル 基層及び厚さ ・コンクリート版 ※70mm ・7スファルト混合物 ※50mm

コンクリート平板舗装の普通平板は、再生材料を用いた舗装用ブロック G とし、  
透水平板は透水性コンクリート G とする。  
インターロッキングブロック舗装の普通ブロックは、再生材料を用いた舗装用ブロック G とし、  
透水性ブロックは透水性コンクリート G とする。  
ただし、調達困難な場合は監督員と協議を行うものとする。  
仕上り面の平たん性 ※歩行に支障のある段差がないものとし、舗装材の段差は3mm以内とする。

●砂利敷き (22.9.2)

種類  
・A種 (施工範囲： ・図示 ・通路 ・)  
●B種 (施工範囲： ・図示 ●建物周囲その他 ・)

●路面標示用塗料

JAS K 5665 (路面標示用塗料) による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
・1種 G	常温	液状	※白 ・	・150 ●100	※1.0 ・
・2種 G	加熱				
※3種1号	溶解	粉体状			

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 G

●植栽地の確認等 (23.1.3)

土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・行う ・行わない  
電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない

●植栽基盤の整備 (23.2.2、4)

植栽	工法	有効土層の厚さ(cm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 (※100・120・150) 樹高7m以上12m未満 (※80・100) 樹高3m以上7m未満 (※60・80) 樹高3m未満 (※50・60)	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示	・適用する
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示	・適用する

植栽基盤の排水設備 ・設ける (※図示 ・) ・設けない

●植込み用土 (23.2.3)

※現場発生土の良質土 ・客土

●土壌改良材 (23.2.3)

種別及び指定量等  
・パーク堆肥 G  
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示  
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・50L ・)  
・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) G  
施工箇所 ※植栽範囲 ・図示  
使用量 植栽基盤面積1㎡あたり (・10L ・)  
材料  
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする

●樹木 (23.3.2)

樹種、寸法、株立数等 ※図示 ・ ( )

●支柱 (23.3.2、3)

支柱材 ※丸太 (間伐材) G ・真竹  
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ( )  
形式 ・図示 ・ ( )

●幹巻き用材料 (23.3.2)

※幹巻き用テープ ・わら及びこも

●芝 (23.4.2、3)

種類 ※コウライシバ ・ノシバ ・ ( )  
芝張りの工法  
平地 ※目地張り ・べた張り  
法面 ・目地張り ※べた張り

●吹付けは種 (23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	備考
※洋芝類 (採取後2年以内)	80% 以上		
・			

●地被類 (23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積あたりのコンテナ数	芽立数
・			
・			

●新植樹木、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置 (23.3.4、6) (23.4.7) (23.5.5)

新植樹木 (芝張り、吹付けは種及び地被類を含む) の枯補償の期間 ( )  
※引渡しの日から1年 ・無し ・ ( )  
移植樹木の枯損処置を行う期間 ※引渡しの日から1年 ・無し ・ ( )

●屋上緑化 G

植栽基盤及び材料 (23.5.2~4)

・屋上緑化システム  
土壌層の厚さ ・図示 ・ ( )  
排水層 ・軽量骨材 (層の厚さ： ) ・板状成形品  
植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土  
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 ※図示 ・ ( )  
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示 ・ ( )

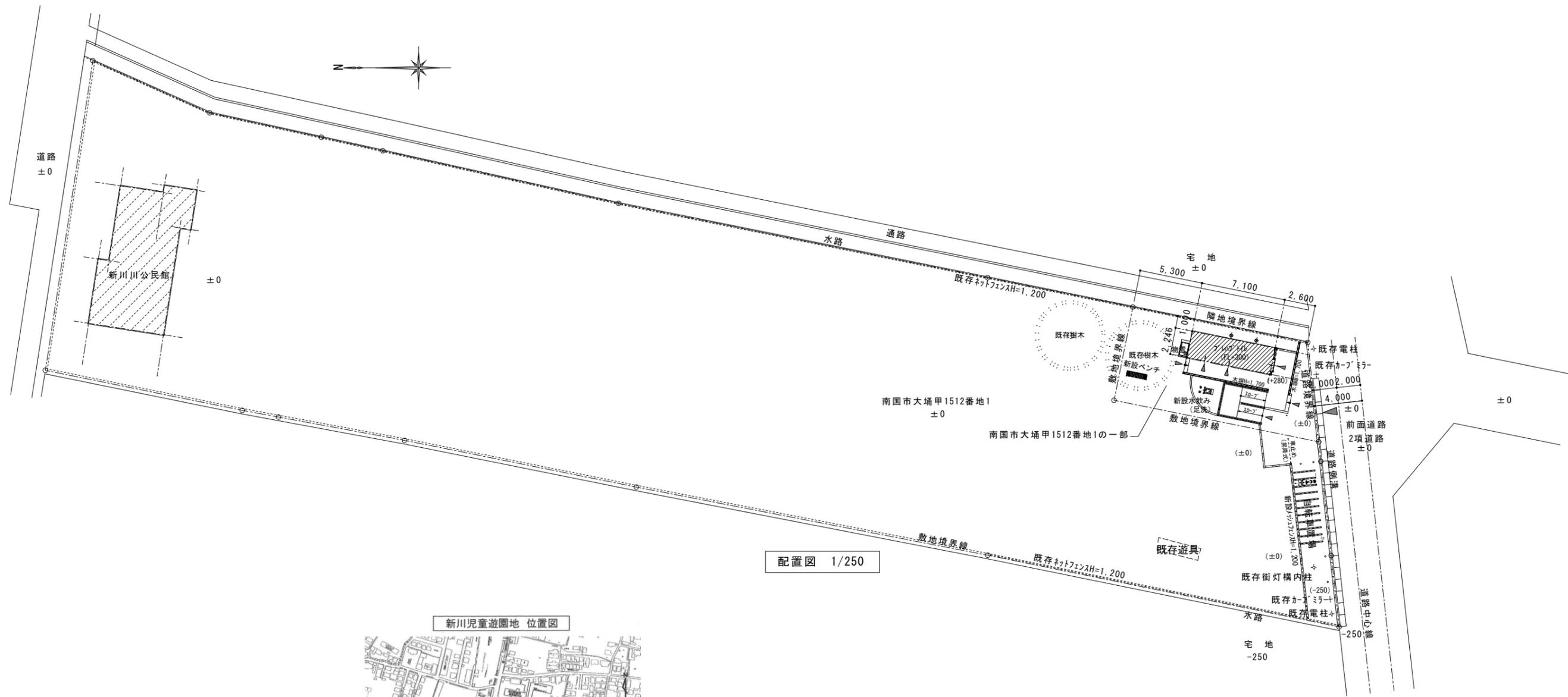
工法  
1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法  
支柱 ・設置する (形式 ・図示 ・)  
かん水装置 ・設置する (種類、工事区分 ・図示 ・)

特記仕様書 (建築工事編) (11)

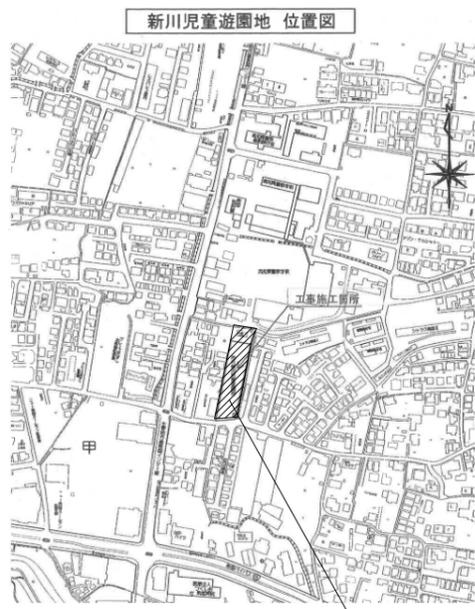
有限会社 友結建築事務所  
一級建築士事務所 (高知) 登録第811号 令和6年9月  
一級建築士登録第345943号 松本 好弘  
新川児童遊園地トイレ新築工事  
令和5年7月改正

高知県土木建築課

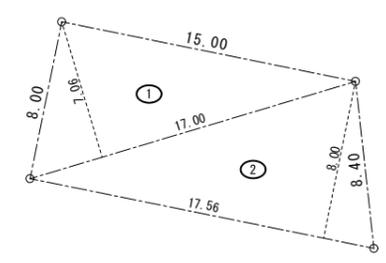
A-11



配置図 1/250



付近見取り図  
工事場所  
南州市大桶甲1512番地1の一部  
(新川児童遊園地)



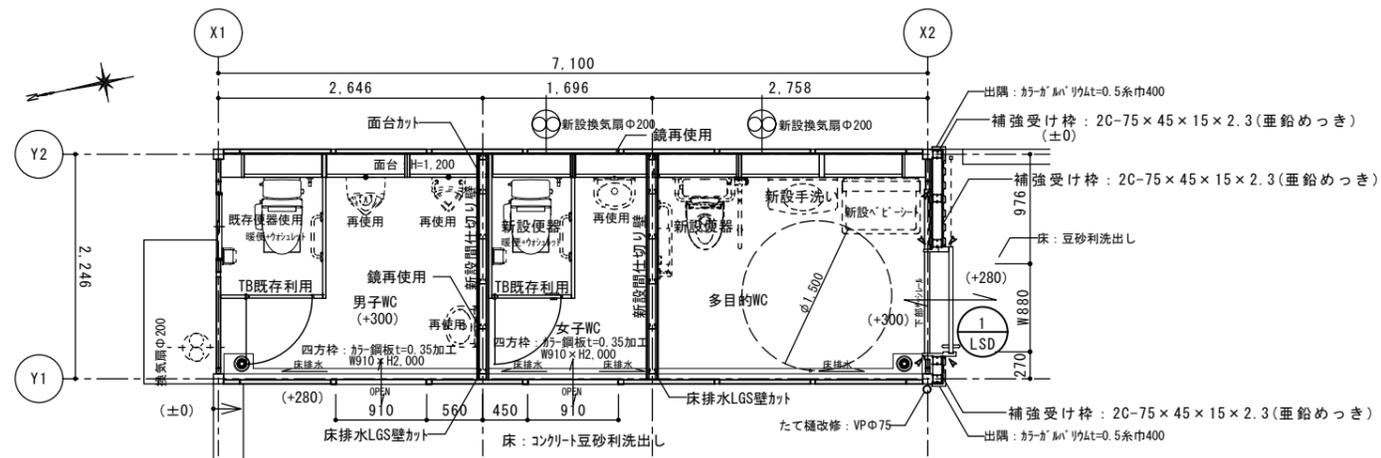
敷地求積図 1/250

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	17.00	7.06	120.0200	60.01000
2	17.56	8.00	140.4800	70.24000
合計				130.25000
敷地面積				130.25 m <sup>2</sup>

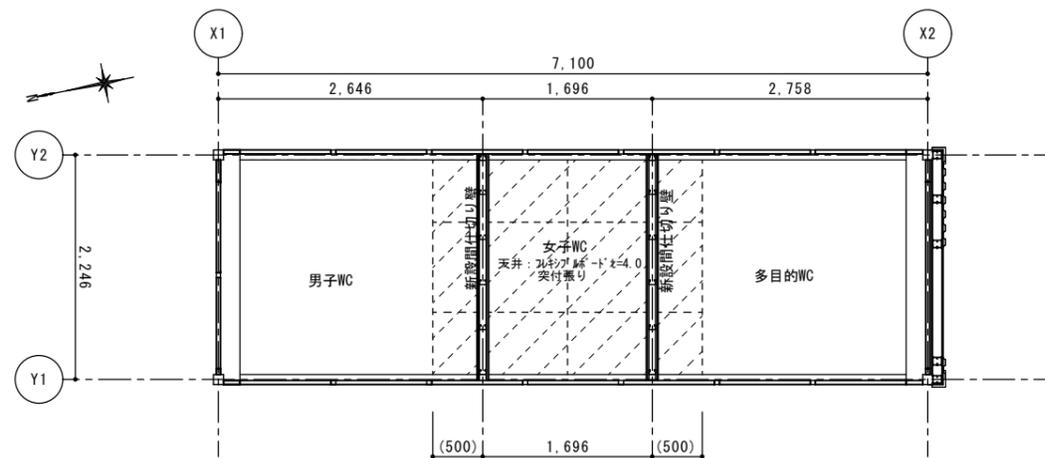
有限会社 友結建築事務所  
 高知市東石立町106-1 (TEL)831-8822 (FAX)831-8966  
 一級建築士事務所(高知)登録第811号 一級建築士登録第345943号 松本 好弘

工事名 新川児童遊園地トイレ新築工事  
 図名 附近見取り図・配置図・敷地求積図  
 意匠図 DATE DRAWING BY CHECKED BY

SCALE 1/250 (A3=71%) SEET NO. A-12  
 PLANNING 2024/09



平面詳細図 S=1/50

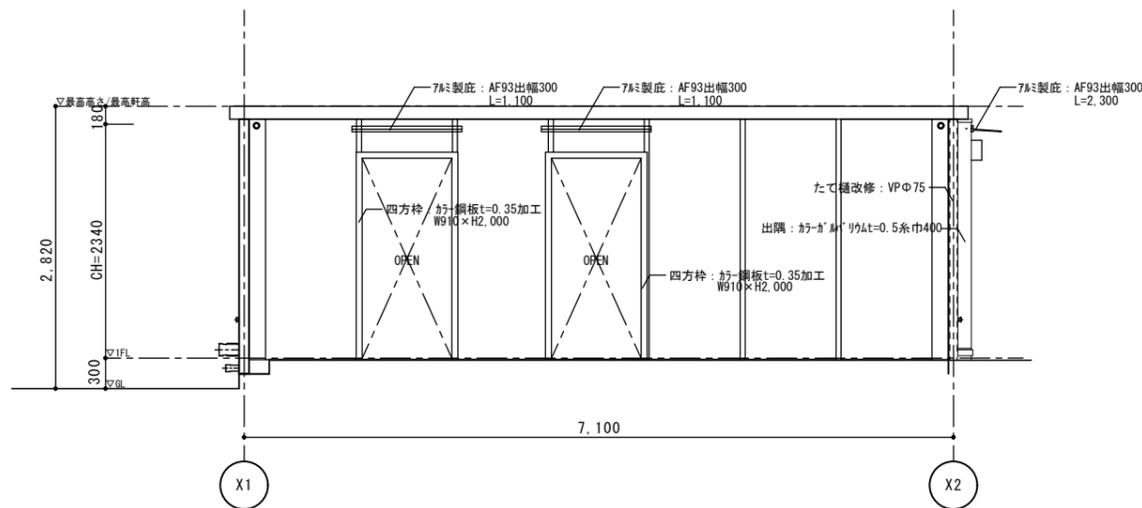


天井伏図 S=1/50

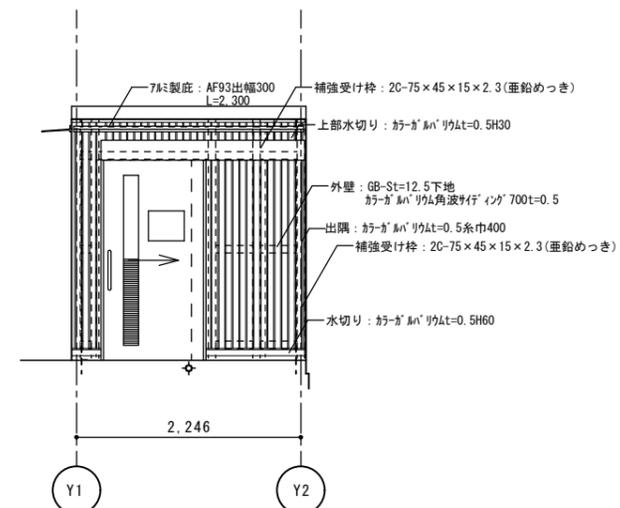
仕様		
構造	鉄骨造	
屋根	金属折板 t=0.5	NM-8697
	断熱材：スチレンフォーム t=25	
外部建具	アルミサッシ	
外壁 (複合パネル)	外部仕上：カラー鋼板 t=0.27	NM-8697
	断熱材：スチレンフォーム t=25	
	内部仕上：カラー鋼板 t=0.27	NM-8697
床	下地：耐水合板 t=12	
	仕上：長尺シート t=2.5	
	掃除用排水溝：ステンレス	
	1/95 勾配	
間仕切り壁	LGS65下地GBR12.5+GB-S9.5(二重張り)	NM-8619
	仕上：化粧FK t6.0張り	NM-8578
	巾木：SUS HL巾木 H=60	
天井	仕上：プレキャスト t=4.0張り	不燃
隔て板	FRP化粧合板 t=40 L=700 H=1600	
	巾木：SUS HL巾木 H=60	

面積表		
延床面積	7.100 × 2.246	15.94 m <sup>2</sup>
建築面積	7.100 × 2.246	15.94 m <sup>2</sup>

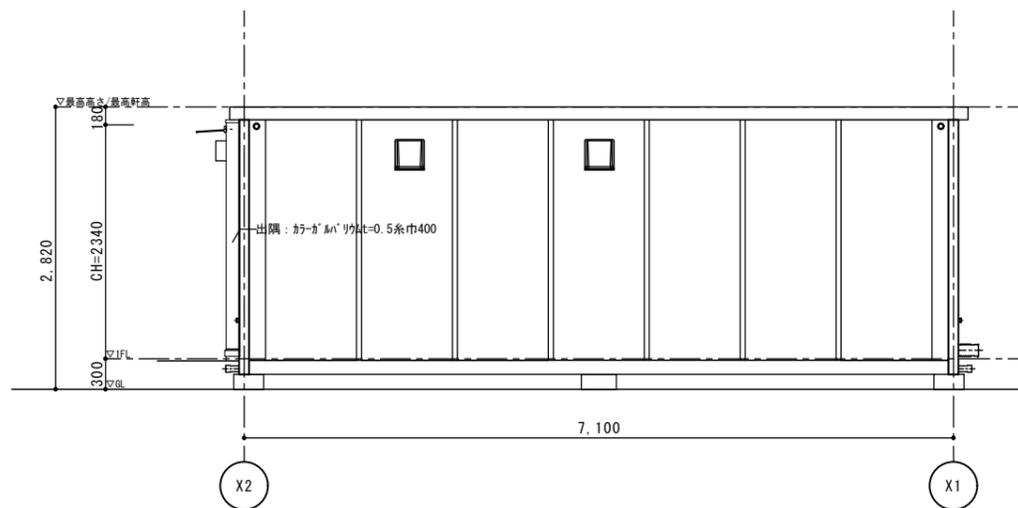
記号・数量	① LSD	1
室名	多目的WC 有効開口	
寸法・姿		
見込	※開口枠：145 枠：100 扉：40	
名称	自閉式 片引き戸(外付け三方枠タイプ)	
仕上	アクリル樹脂焼付塗装 扉：アルミ押出型材	
硝子	強化型板ガラス t=4.0	
金物・錠	自閉式アレル、カイトロー、付属金物一式、SUS3方枠W248	
備考	シリンダ錠・引棒L=450・SUS沓摺・7mmガラス	



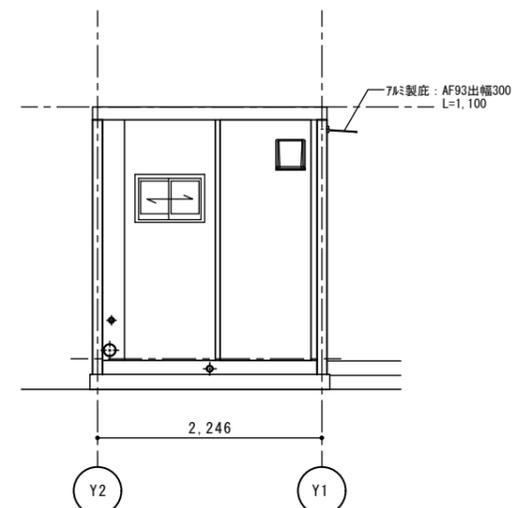
Y1通り立面図



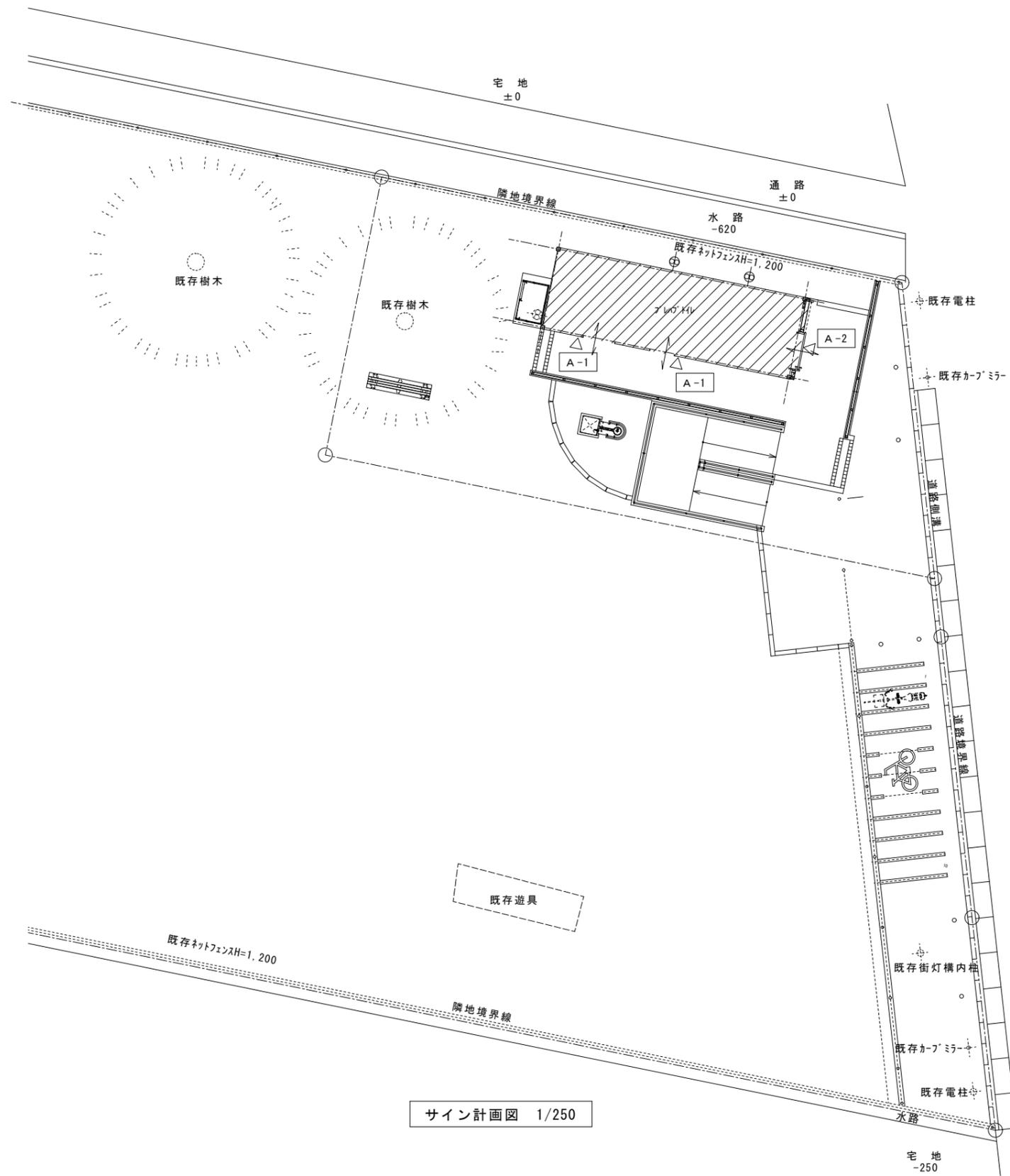
X2通り立面図



Y2通り立面図

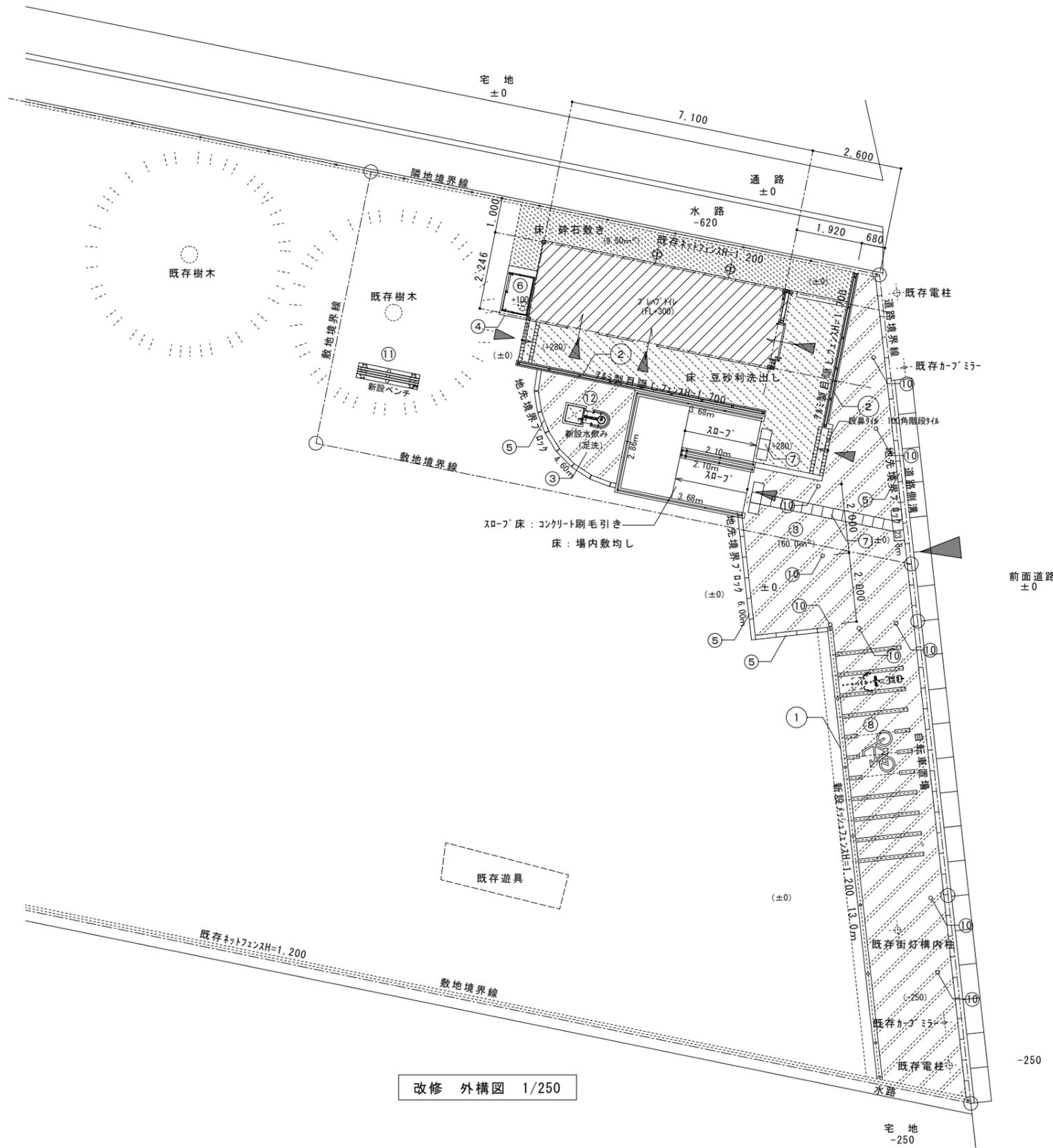


X1通り立面図



サイン計画図 1/250

A-1	ピクトサイン	1/10	A-2	ピクトサイン	1/10
<p>アルミ複合板 絵柄：インクジェット印刷(UV7/8貼り)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>男性用 TOILET</p>  <p>男子トイレ</p> <p>180</p> <p>ベース：青・青紫 2色 マーク/文字：白</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>女性用 TOILET</p>  <p>女子トイレ</p> <p>180</p> <p>ベース：赤 2色 マーク/文字：白</p> </div> </div>		<p>アルミ複合板 絵柄：インクジェット印刷(UV7/8貼り)</p> <p>多目的用</p>  <p>どなたでも自由にお使いください みんなのトイレ</p> <p>360</p> <p>ベース：緑 2色 マーク/文字：白</p>			
B	切文字サイン	1/30	<p>ステンレス t=5.0 切り文字 焼付塗装仕上げ</p> <p>150 新川児童遊園地</p>		



記号	名称	数量
①	メッシュフェンス H=1,200	13.0 m
②	アルミ製目隠しフェンスH=1600 2段仕様アルミカー色 基準風速: V <sub>0</sub> =42m/s対応品	7.20 m 4.50 m
③	アスファルト舗装 A-5-15(車道部)	60.0 m <sup>2</sup> 6.0
④	土間コンクリート	1.20 m <sup>2</sup>
⑤	地先境界ブロック	23.8 6.0 4.6
⑥	外部物置: W1,120×D750×H=1,600	1 か所
⑦	誘導用ﾌﾞﾛｯｸ/注意喚起用ﾌﾞﾛｯｸ 300×300	6.6 m
⑧	白線・自転車マーク	1 か所 20.9 m
⑨	車止め(昇降式)クサリ内蔵式	0 本
⑩	車止め: リサイクルゴム(差込式カギ付)	9 か所
⑪	ベンチ	1 か所
⑫	水飲み(集水樹一体型)	1 か所
⑬	-	
⑭	-	
⑮	-	

改修 外構図 1/250

有限会社 友結建築事務所  
 高知市東石立町106-1 (TEL) 831-8822 (FAX) 831-8966  
 一級建築士事務所(高知)登録第811号 一級建築士登録第345943号 松本 好弘

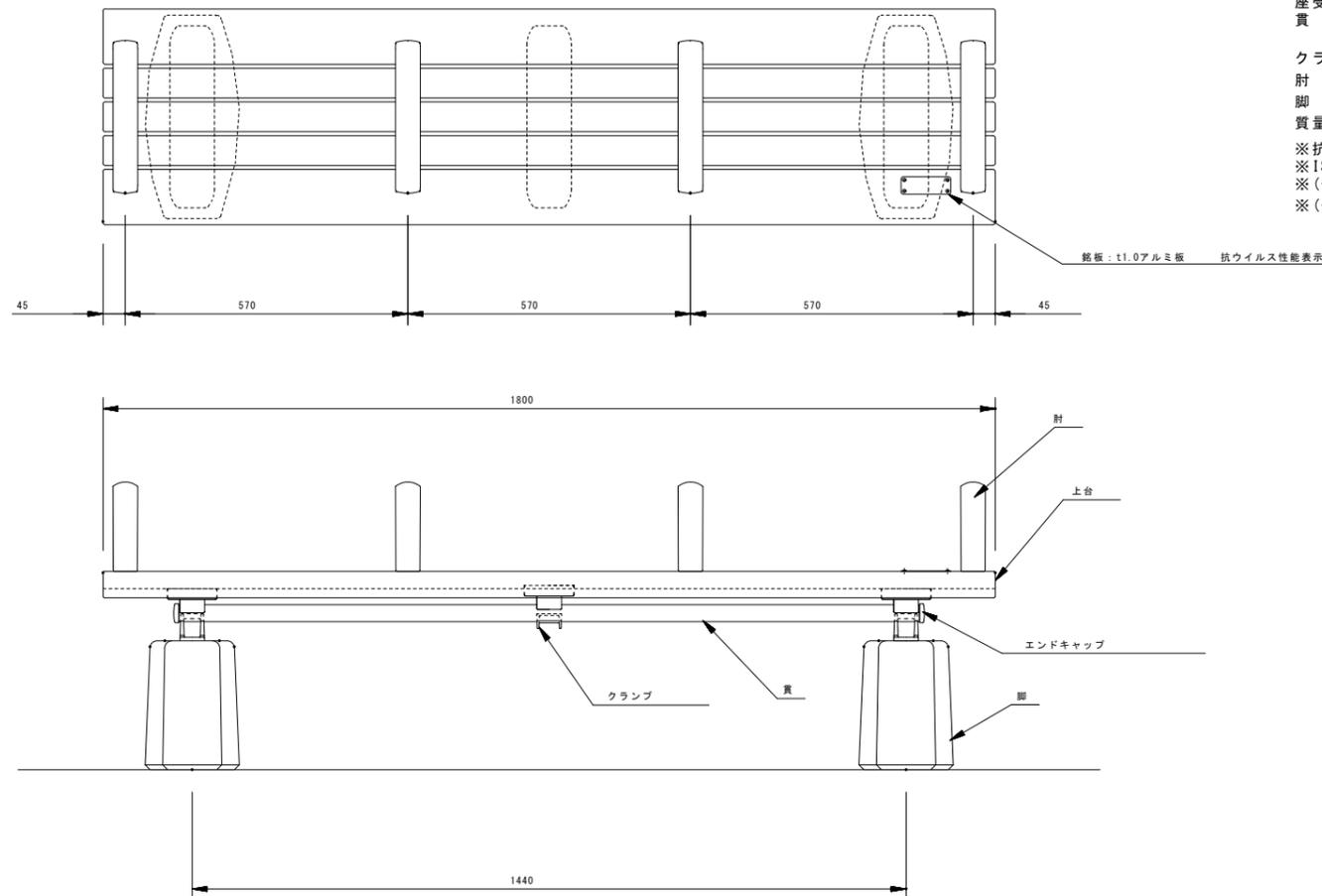
工事名 新川児童遊園地トイレ新築工事  
 図名 外構図  
 意匠図

DATE DRAWING BY CHECKED BY

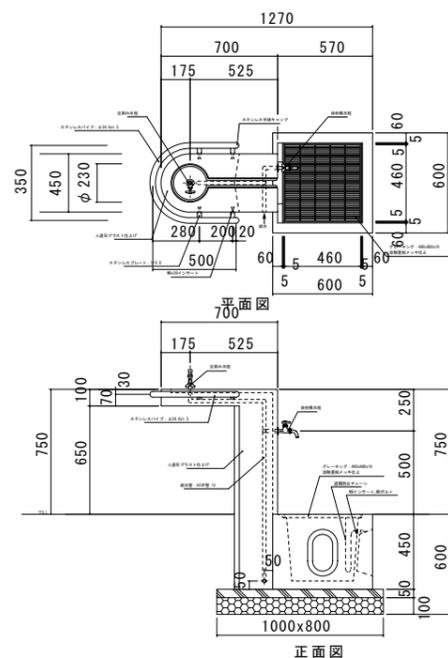
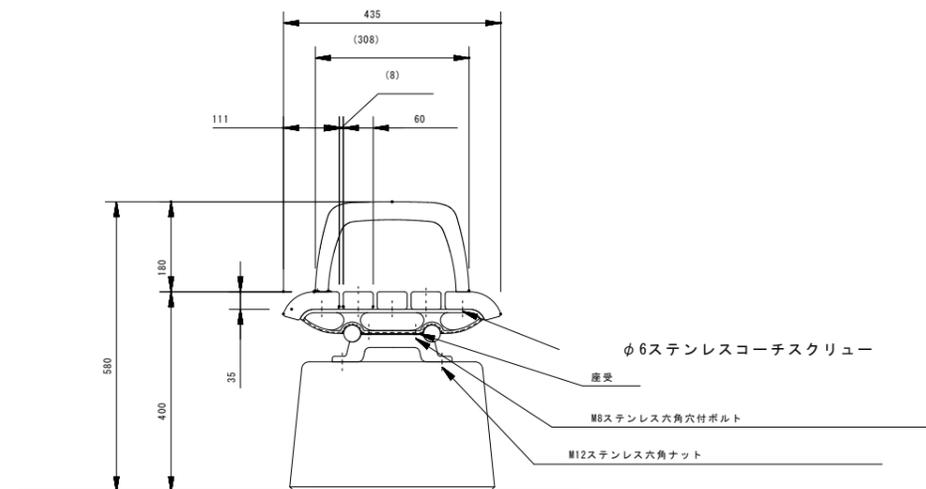
SCALE 1/250 (A3=71%)  
 PLANNING 2024/09

SEET NO. A-16





上台 : REKWOOD2 抗ウイルス仕様 k:skin (レッド)  
 座受 : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (アースグレー)  
 貴 : φ34アルミ押出型材 アルマイト仕上 (ブラック) 樹脂エンドキャップ付 (ブラック)  
 クランプ : アルミ合金鋳物 合成樹脂塗装 (アースグレー)  
 肘 : アルミ合金鋳物 抗ウイルス合成樹脂塗装 k:coat (アースグレー)  
 脚 : PCコンクリート  
 質量 : 119kg  
 ※抗菌・抗ウイルス性能の持続期間は促進耐候性試験3年相当分とします。  
 ※ISO9001 / ISO14001認証取得企業の製品とする。  
 ※(一社)日本公園施設業協会 SPL表示認定企業製品とする。  
 ※(一社)日本公園施設業協会団体賠償責任保険に加入した製品とする。

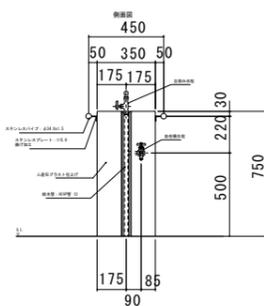


- 仕様
- ・グレーチングは、溶融亜鉛メッキ仕上とする。
  - ・ステンレス部は、#400バフ仕上とする。
  - ・ボルト類は、亜鉛メッキとする。
  - ・排水方向は、打ち合せの上 決定するものとする。
  - ・本製品は、(社)日本公園施設業協会の賠償責任保険に加入した製品とする。

基礎工事数量表

名称	計算式	数量	単位
床 板	(1.0x0.8+1.2x1.1)x1/2x0.6	0.71	m <sup>2</sup>
骨 架	0.7x0.2x1	0.40	m <sup>2</sup>
床土部分	1.0x0.8x0.15+(0.8x0.8+0.2x0.2x0.2x0.2x0.2)/2)x0.45	0.31	m <sup>2</sup>
砕石基礎 (1:1=100)	1.0x0.8	0.80	m <sup>2</sup>
階コンクリート	1.0x0.8x0.05	0.04	m <sup>2</sup>

1通目



有限会社 友結建築事務所  
 高知市東石立町106-1 (TEL)831-8822 (FAX)831-8966  
 一級建築士事務所(高知)登録第811号 一級建築士登録第345943号 松本 好弘

工事名	新川児童遊園地トイレ新築工事		
図名	外構詳細図-2		
意匠図	DATE	DRAWING BY	CHECKED BY

SCALE	1/250 (A3=71%)	SEET NO.	A- 18
PLANNING	2024/09		

1. 工法概要

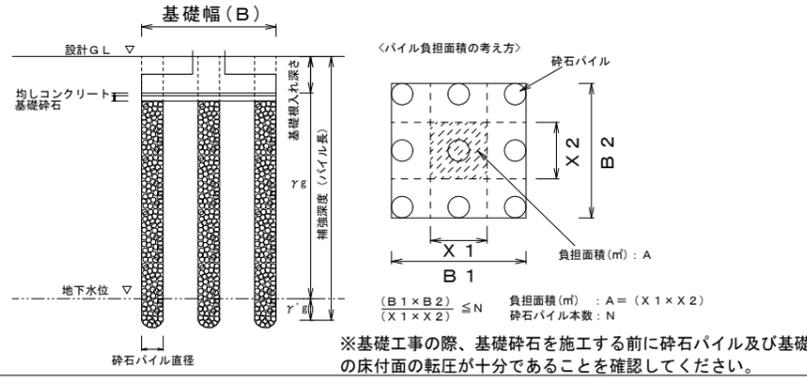
本技術は、専用施工機によって無排土穿孔ならびに拡張を伴った柱状砕石補強体の造成をすることで、柱状砕石補強体と原地盤の支持力を複合させる地盤補強工法である。

なお以降、柱状砕石補強体を「砕石パイル」と呼称する。

2. 特記仕様

- (1) 設計径 φ350mm (2) 最大施工深さ 施工地盤面から7.0m(ただし、砕石パイル長1.0m以上) (3) 打設ピッチ 0.50m~2.30m
- (4) 複合地盤の強度は安定計算書による (5) 砕石パイルの本数、打設位置は配置図による (6) 使用材料

3. 標準断面図



材料名称	粒径(mm)	規格
コンクリート用砕石4020A, B	40~20	JIS A 5005
コンクリート用砕石2005A, B	20~5	JIS A 5005
単粒度砕石S-30(4号)	30~20	JIS A 5001
単粒度砕石S-20(5号)	20~13	JIS A 5001
単粒度砕石S-13(6号)	13~5	JIS A 5001
再生路盤材3010	30~10	再生路盤材*1をふるい分けしたもの*2
再生路盤材2005	20~5	再生路盤材*1をふるい分けしたもの*3

※1再生路盤材とは再生クラッシュラン(以下、RC材)ならびに再生粒度調整砕石(以下、RM材)のことであり、「舗装再生便覧、日本道路協会」に記載されている再生路盤材の品質規定および再生路盤材の望ましい粒度範囲を満足するもの。  
 ※2再生路盤材3010とは再生路盤材(RC材またはRM材のいずれか)を粒径の範囲が31.5mmから9.5mmになるようにふるい分けを行ったもの。  
 ※3再生路盤材2005とは再生路盤材(RC材またはRM材のいずれか)を粒径の範囲が19mmから4.75mmになるようにふるい分けを行ったもの。

4. 施工計画

本工事に先立ち、施工計画書を監督員に提出する。施工計画書には次の項目を明記する。 (1) 工事概要 (2) 砕石パイル配置図 (3) 工事内容 (4) 計画工程表 (5) 主要機材 (6) 主要材料 (7) 施工管理 (8) 品質管理 (9) 出来形管理 (10) 安全管理

5. 施工

a) 施工資格

- (1) 本工事の施工及び施工管理は指定工事会社が行う。
- (2) 本工事の設計は砕石パイル工法本部が行う。

b) 施工手順

(a) 砕石パイル芯セット

貫入ヘッドが開口していることを確認し、砕石パイル芯セットを行う。

(b) 貫入工程

地盤改良機により機材を右回転させながら圧入力をかけることで地盤中に貫入させ、計画深度まで貫入を行う。試験施工においては、接続した機材の全長から残長を差し引いて地盤中への貫入長を計算し、算出した貫入長が計測器の表示深度と合致していることを確認する。合致していることが確認できた場合、それ以降の施工では、計測器深度にて計画深度に達していることを確認する。施工途中で不具合等により計測器で深度を計測できなくなった場合は、以降の施工においては残長を測定することによって深度を確認する。

(c) 貫入ヘッド開口および引上げ工程①(下端部の構築)

ケーシング内に砕石を投入した後、貫入ヘッドを左回転させることで開口し(貫入ヘッドは二重管構造で、内管が外管に対して反転すると、内管の開口面が露出する構造となっている)、先端開口面から砕石が排出される状態とする。回転を伴いながらケーシングを引き上げた後、圧入力をかけて押込み力 5kN 程度を確認することにより砕石が排出され空間が砕石で満たされていると判断する。なお、この工程における標準引き上げ長は 50cm 程度とするが、事前調査データから引き上げ後の圧入が困難であると予想される場合は、指定施工管理者の判断により予め引き上げ長を縮める。

(d) 圧入工程①(下端部の構築)

(c)の工程で引き上げを開始した深度まで、回転を伴いながらケーシングを圧入する。試験施工において、地盤が強固である等の事由によりこの工程の圧入が困難であった場合は、指定施工管理者の判断により、以降の施工では(c)の工程における引き上げ長を縮める。地盤が不均一である等の場合で、本施工の途中においてこの工程の圧入が困難になった場合も同様とする。

(e) 引き上げ工程②

回転を伴い、砕石を排出しながらケーシングを引き上げる。なお、この工程における標準引き上げ長は 100cm 程度とするが、事前調査データから引き上げ後の圧入が困難であると予想される場合は、指定施工管理者の判断により予め引き上げ長を縮める。

(f) 圧入工程②

回転を伴いながらケーシングを圧入する。圧入長は、(e)の工程で引き上げた引き上げ長の半分とする。試験施工において、地盤が強固である等の事由によりこの工程の圧入が困難であった場合は、指定施工管理者の判断により、以降の施工では(e)の工程の同層における引き上げ長を縮める。地盤が不均一である等の場合で、本施工の途中においてこの工程の圧入が困難になった場合も同様とする。

(g) 圧入工程②

以降、(e)、(f)の工程を繰り返し、設計補強面以上まで砕石パイルを構築する。

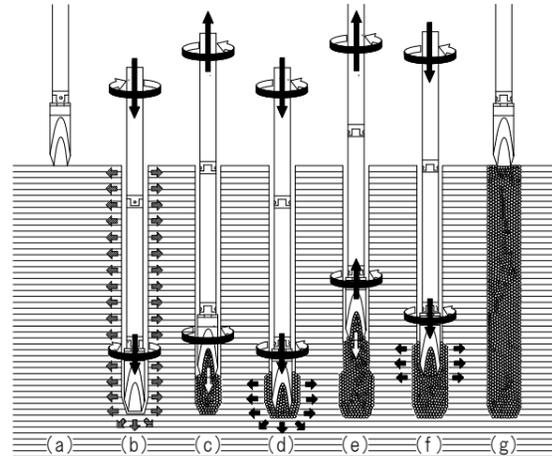
(※) 設計補強深度まで貫入できない場合の対応

原則的に設計補強深度まで貫入する必要がありますが、下記の条件全てを満たす場合は、本部に連絡することなく、施工者判断にて貫入可能深度までの補強深度とすることができます。

- ・設計深度が~0.00mとなっていること。
- ・貫入困難となった深度が設計深度で浅0.50mの範囲であること。
- ・貫入困難となった深度にて、押し込み力5kN以上かきながら1分間貫入を行っても0.20m以上貫入できない場合。

c) 使用機材の例

機材名	仕様	用途
地盤改良機	3トン車	砕石パイル構築
エアコンプレッサー	2.0m <sup>3</sup> /min(最大)	掘削・圧密作業用
バックホウ	0.10m <sup>3</sup> クラス	砕石投入



d) 品質管理

砕石(コンクリート用砕石4020A, B コンクリート用砕石2005A, B)				
工種(項目)	管理項目(測定項目)	管理基準(規格・基準)	管理値(規格値)	備考
砕石	摩耗性	(JIS A 1121) すりへり試験	40%以下	
	品質	(JIS A 1110) 絶対比重及び吸水率	絶対比重2.5以上 吸水率3.0%以下	砕石試験成績書(最新版、1年以内であることを確認すること) 石灰岩においては硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験が必要で規格値は損失量12%以下であること。
		(JIS A 1102) ふるいわけ試験	ふるいを通るものの質量百分率 20mmふるいで15%以内 (コンクリート用砕石4020A, B) 5mmふるいで10%以内 (コンクリート用砕石2005A, B)	
使用量	砕石パイル本数× 砕石パイル長さ×面積	設計値以上	出荷証明書(納品伝票) 砕石数量計算書	
単粒度砕石S-30(4号) 単粒度砕石S-20(5号) 単粒度砕石S-13(6号)				
工種(項目)	管理項目(測定項目)	管理基準(規格・基準)	管理値(規格値)	備考
砕石	摩耗性	(JIS A 1121) すりへり試験	35%以下	
	品質	(JIS A 1110) 絶対比重及び吸水率	絶対比重2.45以上 吸水率3.0%以下	砕石試験成績書(最新版、1年以内であることを確認すること) 石灰岩においては硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験が必要で規格値は損失量12%以下であること。
		(JIS A 1102) ふるいわけ試験	ふるいを通るものの質量百分率 20mmふるいで15%以内 (単粒度砕石S-30) 13mmふるいで15%以内 (単粒度砕石S-20) 5mmふるいで15%以内 (単粒度砕石S-13)	
使用量	砕石パイル本数× 砕石パイル長さ×面積	設計値以上	出荷証明書(納品伝票) 砕石数量計算書	

JIS: 日本工業規格

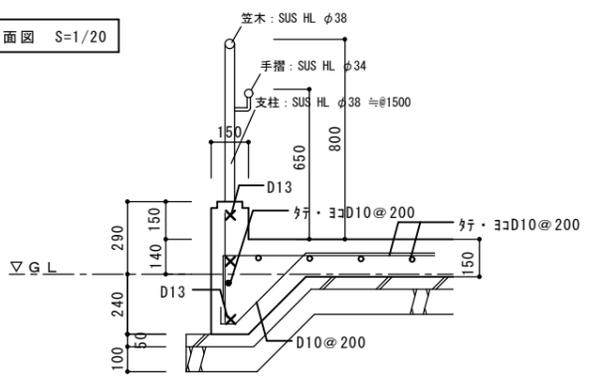
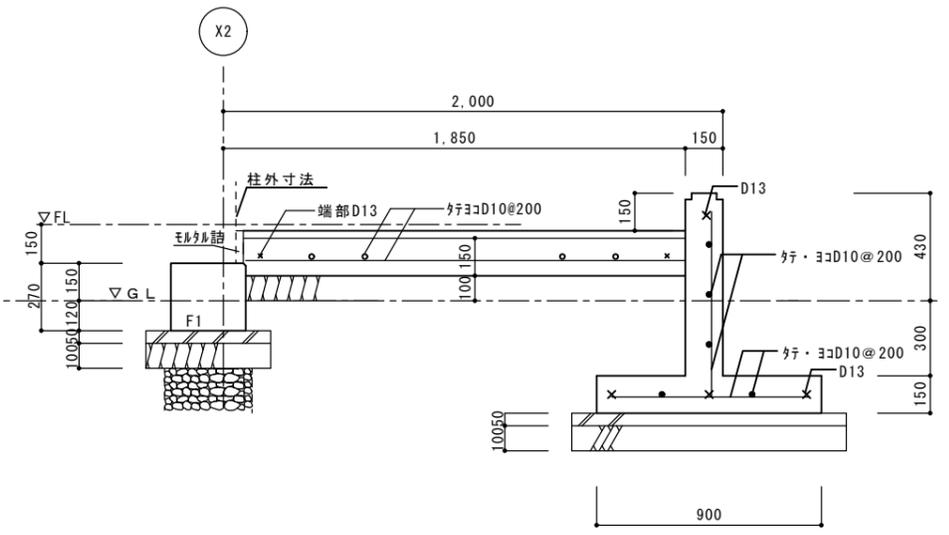
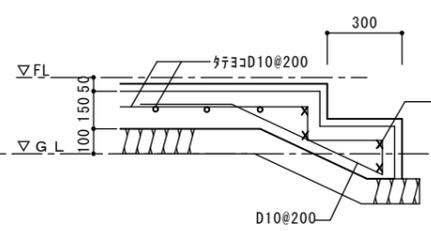
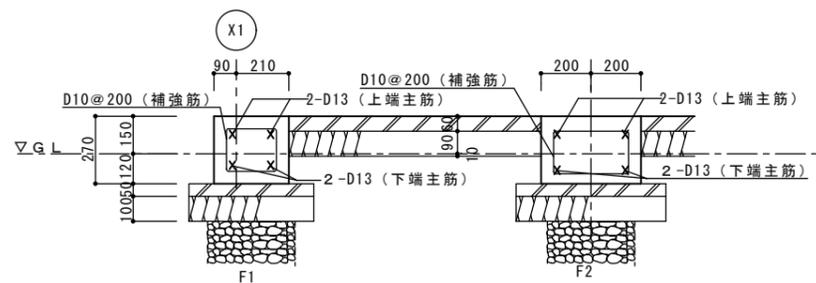
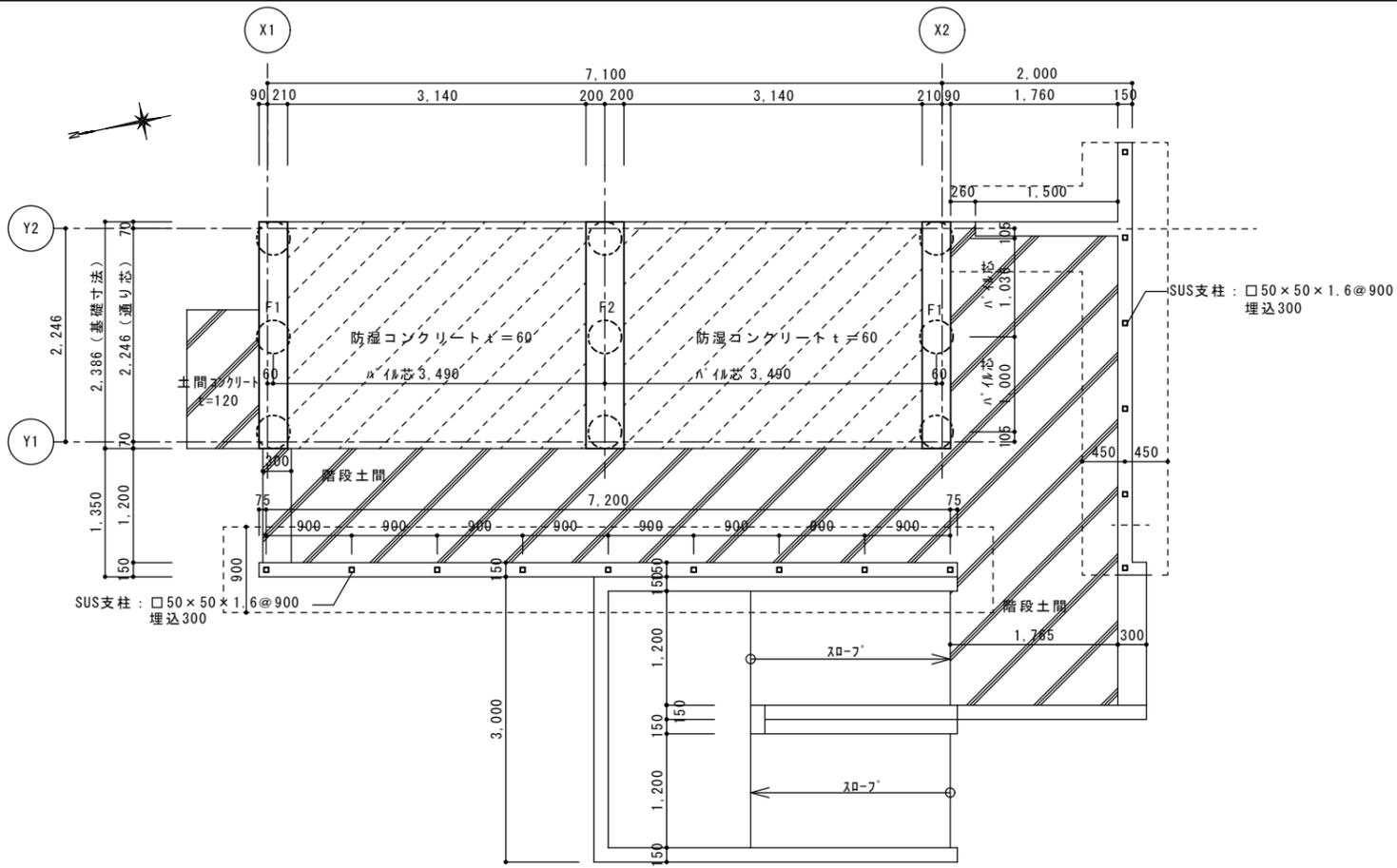
e) 出来形管理

工種	管理項目	頻度	管理値	備考
施工	バケツ容量	バケツ毎	0.06~0.15m <sup>3</sup> /回以内	砕石数量チェックリストに記載
	ケーシング全長	現場毎に1箇所	設計値以上	写真管理
	砕石パイル径	現場毎に1箇所	φ350mm以上	写真管理
	押込み力	全本数	-	計測器データに記載
	砕石投入量	全本数	設計数量の1.0倍以上	砕石数量チェックリストに記載
	砕石パイル芯ズレ	全本数	布基礎 10cm以内 独立基礎 10cm以内 ベタ基礎 10cm以内	砕石パイル芯ズレ確認 チェックリストに記載

f) 施工報告書

工事完了後次の項目について報告書をまとめ、砕石パイル工法本部に提出する。

- (1) 工事概要 (2) 実績工程表 (3) 砕石パイル配置図 (4) 主要機材
- (5) 主要材料 (6) 施工管理 (7) 品質管理 (8) 出来形管理
- (9) 砕石納品伝票 (10) 砕石試験成績表 (11) 砕石パイル工法作業チェックリスト
- (12) 計測器データ (13) 施工写真



使用材料&概要

- ・ 捨コン Fc=18 SL=15
- ・ 基礎コン Fc=21 SL=18
- ・ 鉄筋 D16以下 SD295A 重ね継手
- ・ 長期許容支持力 30kN/m<sup>2</sup>

<柱状砕石 地盤改良工法 凡例>

設計荷重: 30kN/m<sup>2</sup>

基礎形状: 布基礎

補強深度: ○350 2.50m — 9本 (パイル長)



特記仕様書（解体工事編）	
<b>新川児童遊園地トイレ新築 工事</b>	
<b>I 工事概要</b>	
1. 工事内容	解体工事
2. 工事場所	仮設トイレ 場所：南国市日吉町3丁目1-3（旧わかさ児童館跡地） 既存トイレ 場所：南国市大橋甲1512番地1（新川児童遊園地）の一部（都市計画区域（内）・外）
3. 敷地面積	130.25 m <sup>2</sup> （既存トイレ）
4. 構造規模	RC造 1階（既存トイレ） S造 1階（仮設トイレ）
5. 建築面積	2.43（既存トイレ）m <sup>2</sup> 延床面積 2.43（既存トイレ）m <sup>2</sup> 15.94（仮設トイレ）m <sup>2</sup> 15.94（仮設トイレ）m <sup>2</sup>
6. 主要用途	トイレ（仮設トイレ・既存トイレ）
<b>II 建築工事仕様</b>	
1. 共通仕様	
(1)	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修、「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）・同解説」（以下、「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修、「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。
(2)	電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事に含む場合は、それぞれの工事仕様書を適用する。
2. 特記仕様	
(1)	項目は○印のついたものを適用する。
(2)	特記事項は◎印のついたものを適用する。 ○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。 ◎印と※印のついた場合は共に適用する。
(3)	特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目を示す。
(4)	特記事項に記載の（ ）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目を示す。
(5)	特記事項に記載の＜ ＞内表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。
(6)	[G]印は、「国等による環境物品等の調達に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。

章	項目	特記事項
一般共通事項	○ 適用基準等	※ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事等編） ※ 建設副産物適正処理推進要綱 ※ 建築材料等評価名簿 国土交通大臣官房官庁営繕部監修 ※ 工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編 国土交通大臣官房官庁営繕部監修
	電気保安技術者	適用する 適用しない [1.3.3]
	○ 施工条件	施工時間帯 ※ 指定なし ・ 指定有り（ ） [1.3.5] 部位別の施工順序 ※ 指定なし ・ 指定有り（ ）
	発生材の処理	引き渡しを要するもの（ ） [1.3.10] 現場において再利用を図るもの（ ） ○ 再生資源化を図るもの（○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ○ 建設発生木材） * 廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。
	施工数量調査	調査項目（ ） [1.5.2] 調査範囲及び方法 * 図示 ・ （ ）
	技能士	[1.6.2]
	○ 工事写真・完成写真	※ 下記のことを監督職員に提出する。工事写真については、隠ぺいとなる部分は全て写すこと。 区分 分類規格 撮影枚数 部数 着工前及び工事中 カラー ※ サービス版 工程毎 1部 カラー ※ キャビネ版 枚 部 完成時 カラー ・ 全紙版(アルミ額縁入) 枚 部 ・ 枚 部 デジタル写真も可とし、その仕様も含め 1 適用基準等の工事写真撮影ガイドブックを参照すること。 ※ 上記の他、着工前及び完成写真内外6面程度(カラーサービス版)、及びその画像データ(JPEG形式で200万画素程度)を完成検査時に1部提出する。 ※ 電子納品とする場合は、「高知県電子納品運用に関するガイドライン工事編」により、予め監督職員と協議を行う。
	○ 騒音・粉じん等の対策	騒音・粉じん等の対策 ※防音パネル ・ 防音シート [2.2.1] 設置範囲及び高さ ※図示
	○ 足場等	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ・ 設置する（設置範囲 ・ 図示 ・ 建物周囲） ・ 設置しない 防護シート ・ 設置する（設置範囲 ※ 図示 ・ 建物周囲） ・ 設置しない 内部足場 ○ 設置する（ ※脚立、足場板等 ・ ） ・ 設置しない 材料、撤去材等の運搬方法 種別（ ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ）
	○ 監督職員事務所	※ 設けない [2.3.1]
○ 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できる（ ※ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない	
○ 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できる（ ※ 有償 ○ 無償） ・ 利用できない	

解体工事	○ 事前措置（洗浄等）	○ 浄化槽、排水槽等の汚水、汚物等 ・ 廃油 [3.2.1]	
	杭	杭の解体 ・ 行う（図示） ・ 行わない [3.9.2] 杭の解体方法 ・ 引抜き工法 ・ 破砕工法	
	○ 工作物	さく、照明設備等の解体 ○ 行う（図示） ・ 行わない [3.10.1]	
	○ 樹木等	樹木の伐採伐根及び移植 ○ 行う（図示） ・ 行わない [3.11.1]	
	○ 地下埋設物及び埋設配管	地下埋設物・埋設配管の解体 ○ 行う（図示） ・ 行わない [3.12.1]	
	○ 整地	解体後の埋戻し及び盛土 ○ 行う [3.13.1] 整地高さ ○ 現状GL ・ 図示  埋戻し及び盛土の材料 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土または土工用水砕スラグ [G] ・ 行わない	
	建設廃棄物の処理	再資源化等	建設廃棄物等の中間処理及び再資源化 ・ 図示 ・ （ ） [4.4.1] 木材を指定建設資材廃棄物として縮減する場合 ・ 図示 ・ （ ） 現場利用する再資源化された建設廃棄物 ・ 図示 ・ （ ）
		産業廃棄物広域認定制度	[4.4.2]
		種類	所在地等
		最終処分する建設廃棄物	最終処分する建設廃棄物及び最終処分場 ・ 図示 ・ （ ） [4.4.3]
処理に注意を要する建設廃棄物		処理に注意を要する建設廃棄物の処理 ・ 図示 ・ （ ） [4.5.1]	
特別管理産業廃棄物の処理		5 施工計画調査	分析調査 調査項目（ ） [5.1.2] ・ 行う ・ 行わない
		特別管理産業廃棄物の処理等	PCBを含む機器類の処理 [5.4.1] 微量PCBの分析調査 ・ 行う ・ 行わない PCB含有シーリング材の処理 第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 採取箇所数 計 箇所 採取場所 ※図示 第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。 分析箇所数 計 箇所 除去処理工事 除去範囲 ※図示 廃油 ※解体共通仕様書5.3.11による 廃酸・廃アルカリ ※解体共通仕様書5.3.11による ダイオキシン類 サンプリング調査 ・ 行う ・ 行わない 解体方法及び処分方法 ・ 図示 ・ 行わない
		6 石綿含有分析調査	調査 [1.4.1] ※ 石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料（ ）  分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロシドライト、トレモライト 分析方法 材料名 定性分析 (JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2) 定量分析 (JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4) ・ 箇所数( ) ・ 箇所数( ) ・ 箇所数( ) ・ 箇所数( ) ・ 箇所数( ) ・ 箇所数( ) ・ 箇所数( ) ・ 箇所数( ) サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示 ・
		7 特殊な建設副産物の処理	施工計画調査 [7.1.3] 分析調査 調査項目（ ） ・ 行う ・ 行わない  回収及び処分 [7.3.1] ・ 図示 ・ （ ）

石綿粉じん濃度測定	※ 行う [6.1.3] 測定時期、場所及び測定箇所数			
	測定方法			
	測定名称	測定方法		
	測定4	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計、パーティクルカウンター） 繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定		
	JIS K 3850-IIに基づいた想定			
	測定名称	メンレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
	測定4 ・ 測定5	25	5	30
	測定	47	10	120
	測定	47	10	240
	石綿含有建材の処理	石綿含有吹付け材の除去 [6.3.1~4][6.4.1~4][6.5.1~4][6.6.1~5] 除去対象範囲 ・ 図示 ・ （ ） 除去工法 ※解体共通仕様書6.3.2(1)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)		
石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 ・ 図示 ・ （ ） 除去工法 ・ 破砕して除去 ・ 原型のまま手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)				
石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外）の除去 除去対象範囲 ・ （ ） ・ 図示 作業場所周辺の養生 ・ 行う 除去した石綿含有成形板の処分 ・ 石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ・ 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)				
石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第1種）の除去 除去対象範囲 ・ 図示 ・ 養生方法 ・ 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)				
石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去 除去対象範囲 ・ 図示 ・ 除去工法 ・ 養生方法 ・ 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)				
7 特殊な建設副産物の処理		施工計画調査 [7.1.3] 分析調査 調査項目（ ） ・ 行う ・ 行わない		
回収及び処分 [7.3.1] ・ 図示 ・ （ ）				
特記仕様書（解体工事編）		令和4年版	高知県土木部建築課	
有限会社 友結建築事務所 令和6年9月 一級建築士事務所（高知）登録第811号 一級建築士登録第345943号 松本 好弘				
新川児童遊園地トイレ新築 工事			K-01	
令和5年7月改正				

**工事概要**

① 仮設トイレ移設工事

A. 建築主体工事

プレハブトイレの移設（新川児童遊園地に移設し改修する。）

基礎及び手洗・足洗場の撤去後、整地する。（別途事でアスファルト舗装し、駐車場を整備予定）

B. 電気設備工事

電柱は残す。（電気の契約は継続）

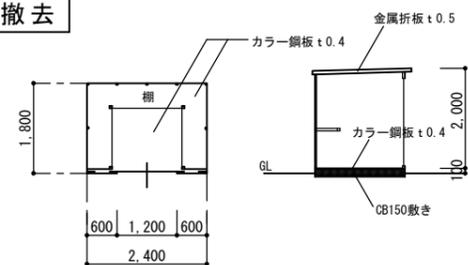
C. 機械設備工事

上下水道は休止（水道メーターのみ取り外し）。（既設給水管、下水接続管の撤去）

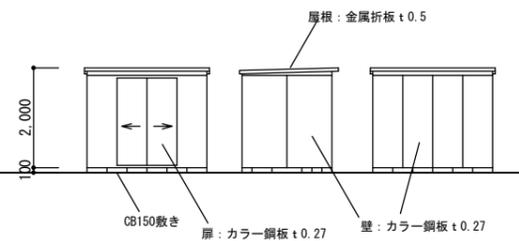
② プレハブ物置撤去

② 【プレハブ物置】

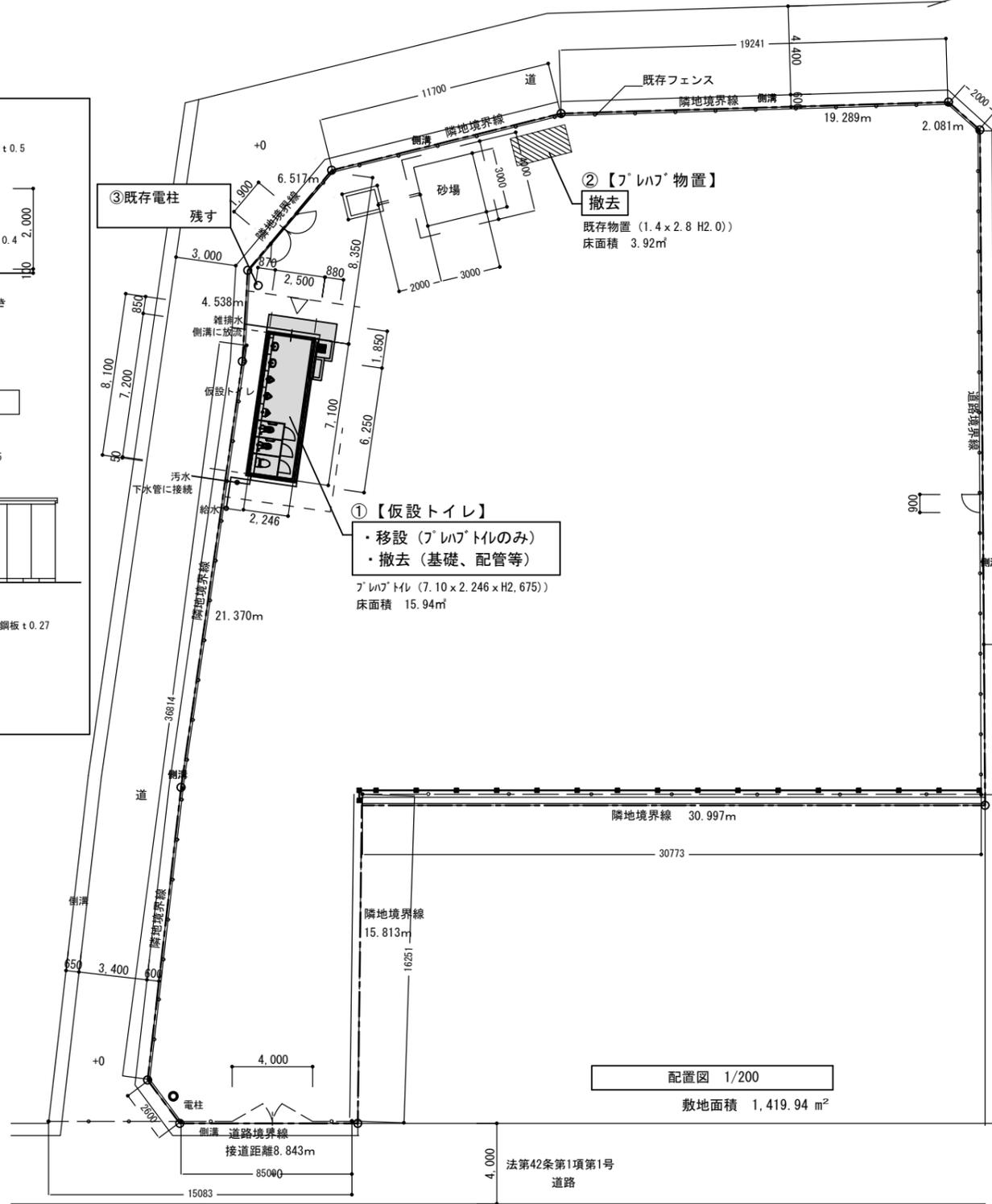
撤去



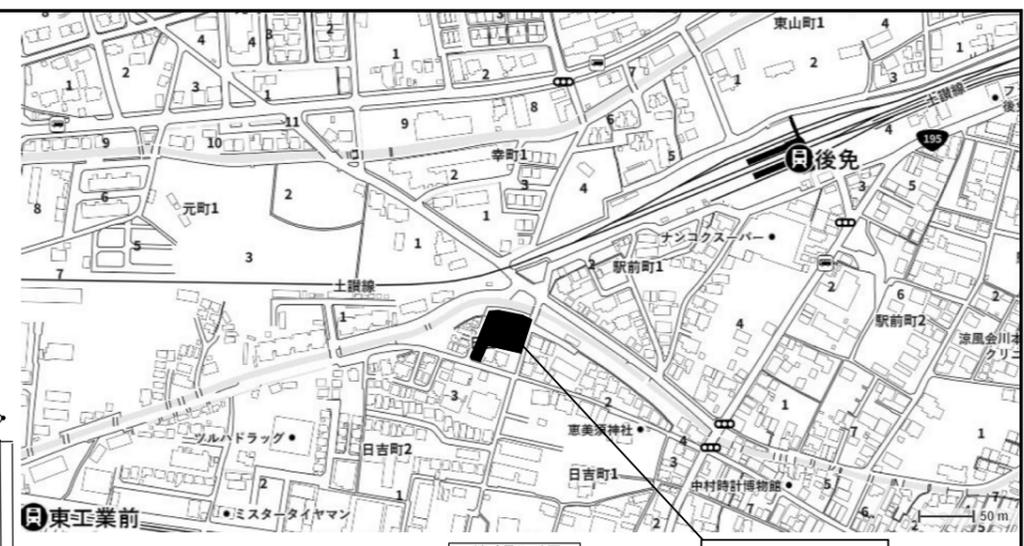
物置 平面図 1/100 物置 断面図 1/100



物置 立面図 1/100



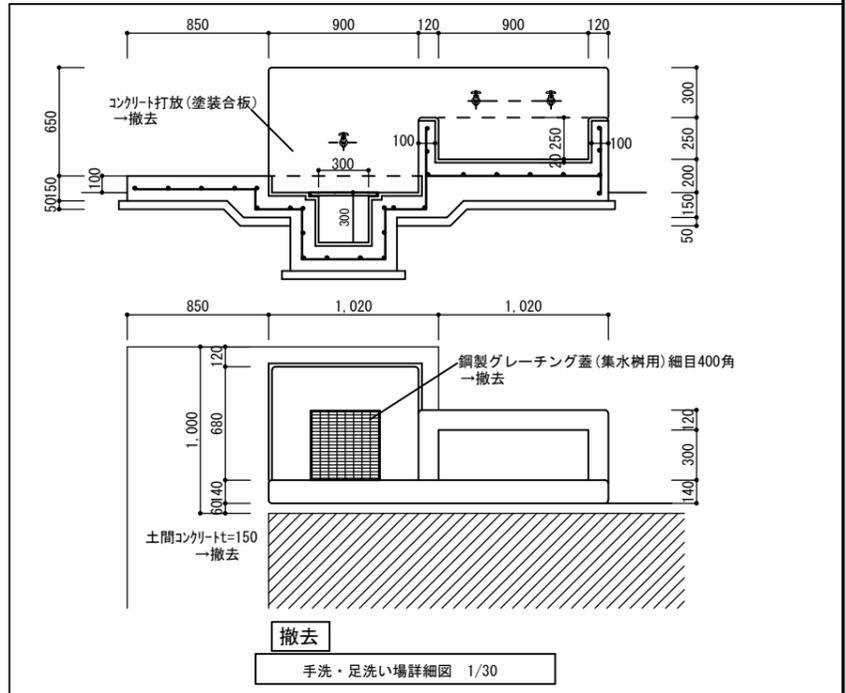
配置図 1/200  
敷地面積 1,419.94 m<sup>2</sup>



付近見取り図

工事場所

南国市日吉町3丁目1-3  
(旧わかかさ児童館跡地)

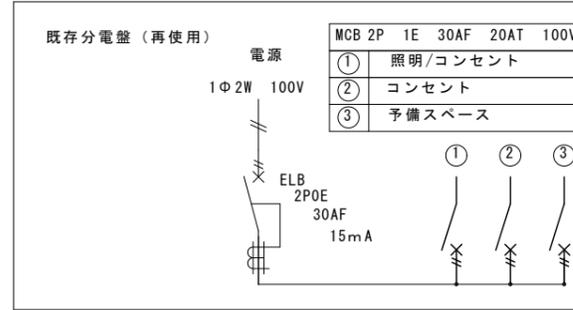


撤去  
手洗・足洗い場詳細図 1/30

有限会社 友結建築事務所  
高知市東石立町106-1 (TEL) 831-8822 (FAX) 831-8966  
一級建築士事務所(高知)登録第811号 一級建築士登録第345943号 松本 好弘

工事名 新川児童遊園地トイレ新築工事  
図名 仮設トイレ解体外構図  
意匠図 DATE DRAWING BY CHECKED BY

SCALE 1/30・200 (A3=71%)  
PLANNING 2024/09  
SEET NO. K-02

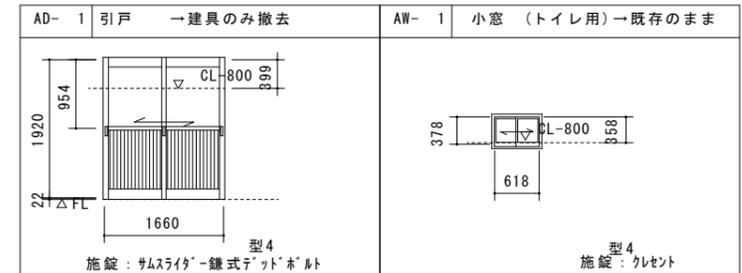


1階 便所 (2)	
幼児用腰掛便器 (3~5歳用)	ロ-タカ・暖房便座 2
幼児用小便器	FV 手すり付 2
幼児用I型手すり	2
排水金具	D-80 1
横水栓	吐水口回転式 2
2口横水栓	吐水口回転式 1
標示柱	4

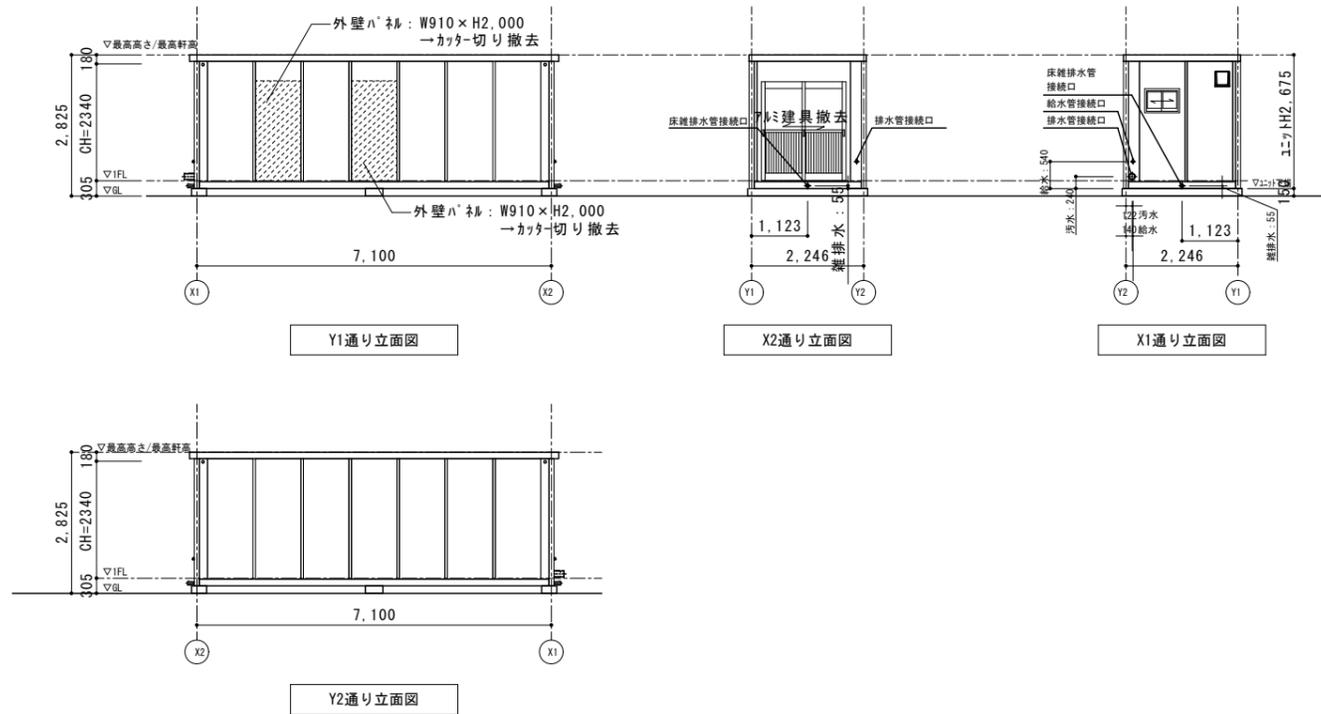
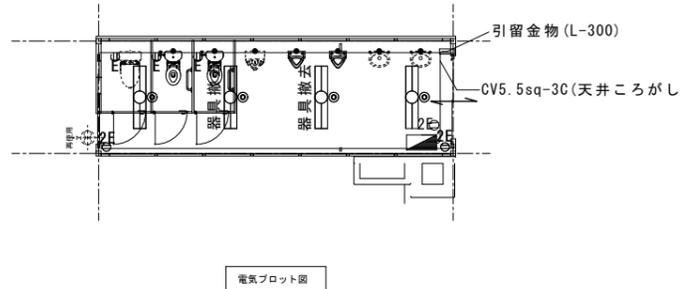
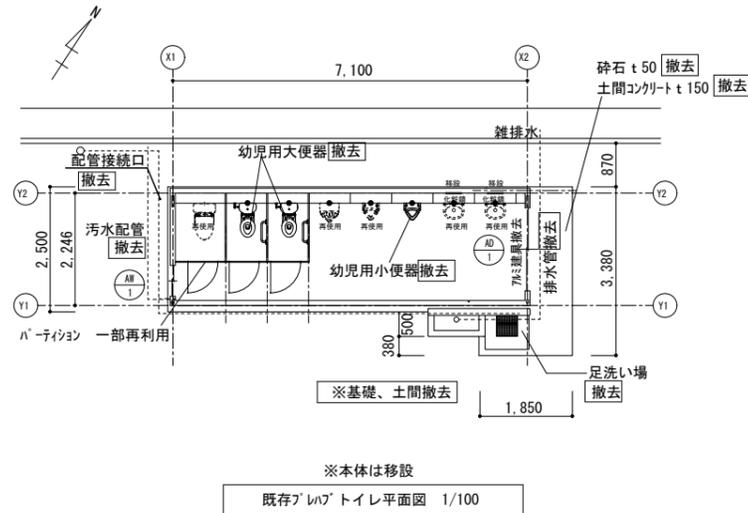
仕 様	
構造	鉄骨造
屋根	金属折板 t=0.5
	断熱材: スチレンフォーム t=25
外部建具	アルミサッシ
床	下地: 耐水合板 t=12
	仕上: 長尺シート t=2.5
	掃除用排水溝: ステンレス 1/95 勾配
外壁 (複合パネル)	外部仕上: カラー鋼板 t=0.27
	断熱材: スチレンフォーム t=25
	内部仕上: カラー鋼板 t=0.27
天井	仕上: 化粧合板 t=4
トイレブース	ライニング: スチール
	パーティション: カラー鋼板複合パネル t=25
	ドア金物: 表示付スライドラッチ、グレビティヒンジ

凡 例	
記号	名称
	LEDベースライト FHF-32W×2灯 (インナーター型)
	人感センサー
	分電盤
	天井付アース付コンセント2P
	壁付アース付コンセント
	20cm換気扇

衛生設備・配管接続口仕様	
手洗器	手洗水栓: 単水栓 化粧鏡: 310x450
大便器	水洗: ロータンク式
一次側配管接続口	給水口: H1VP20 水栓ソケット (Rp3/4)
	排水口: VU100 フレキシブルジョイント (ステンレスバンド締め)
	床雑排水口: VU50 フレキシブルジョイント (ステンレスバンド締め)



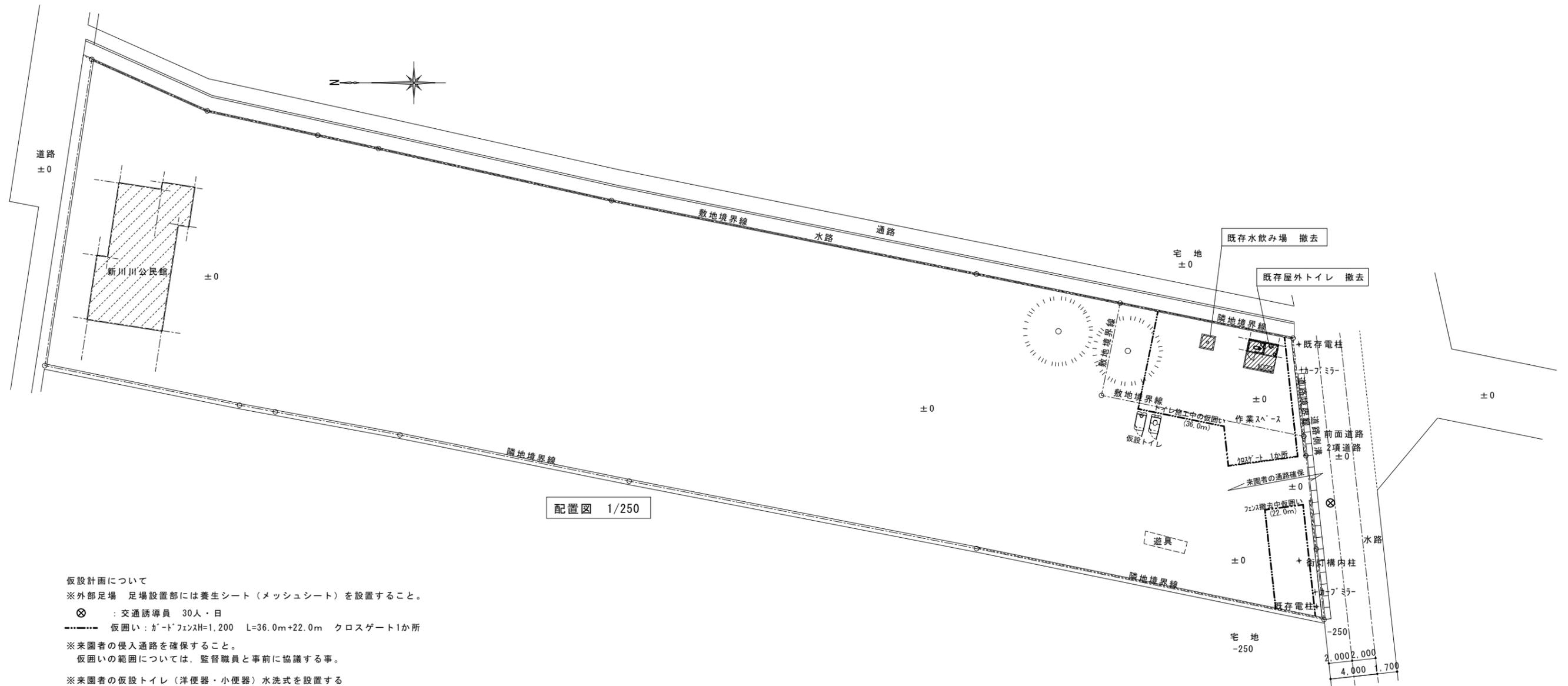
面積表	
延床面積	7.100 × 2.246 = 15.94 m <sup>2</sup>



有限会社 友結建築事務所  
 高知市東石立町106-1 (TEL) 831-8822 (FAX) 831-8966  
 一級建築士事務所 (高知) 登録第811号 一級建築士登録第345943号 松本 好弘

工事名 新川児童遊園地トイレ新築工事  
 図名 仮設トイレ 移設・解体図-2  
 意匠図 DATE DRAWING BY CHECKED BY

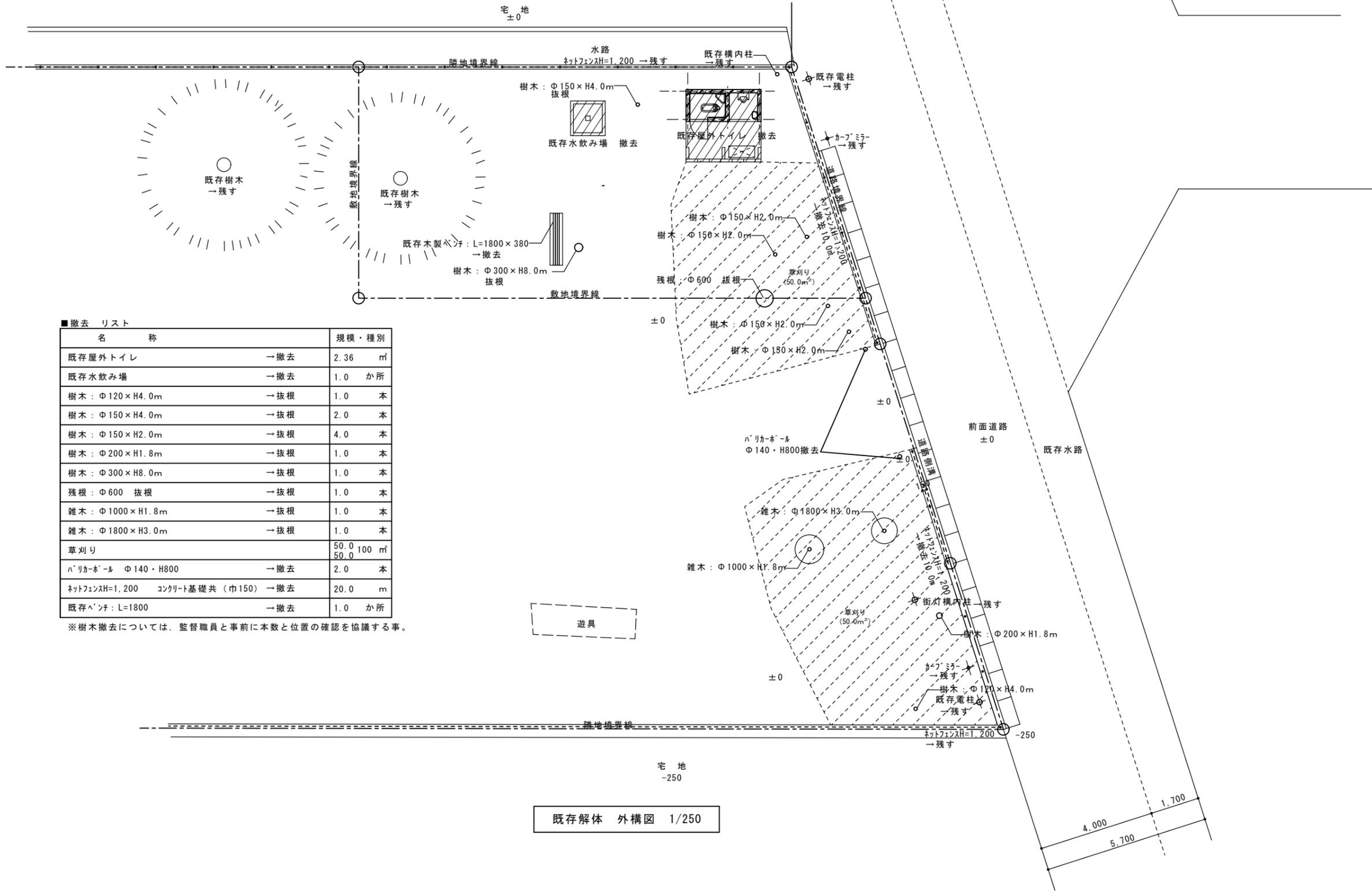
SCALE 1/250 (A3=71%) SEET NO. K-03  
 PLANNING 2024/09



配置図 1/250

仮設計画について  
 ※外部足場 足場設置部には養生シート（メッシュシート）を設置すること。  
 ⊗ : 交通誘導員 30人・日  
 - - - - - 仮囲い：ガードフェンスH=1,200 L=36.0m+22.0m クロスゲート1か所  
 ※来園者の侵入通路を確保すること。  
 仮囲いの範囲については、監督職員と事前に協議する事。  
 ※来園者の仮設トイレ（洋便器・小便器）水洗式を設置する  
 設置期間2か月

有限会社 友結建築事務所 高知市東石立町106-1 (TEL)831-8822 (FAX)831-8966 一級建築士事務所(高知)登録第811号 一級建築士登録第345943号 松本 好弘	工事名 新川児童遊園地トイレ新築工事	SCALE 1/250 (A3=71%)	SEET NO.
	図名 既存トイレ 配置図・仮設計画図	PLANNING 2024/09	K-04
	意匠図 DATE DRAWING BY CHECKED BY		

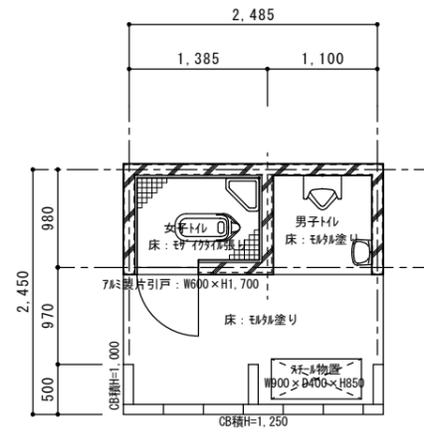


■撤去 リスト

名 称	規模・種別
既存屋外トイレ	→撤去 2.36 m <sup>2</sup>
既存水飲み場	→撤去 1.0 か所
樹木: Φ120×H4.0m	→抜根 1.0 本
樹木: Φ150×H4.0m	→抜根 2.0 本
樹木: Φ150×H2.0m	→抜根 4.0 本
樹木: Φ200×H1.8m	→抜根 1.0 本
樹木: Φ300×H8.0m	→抜根 1.0 本
残根: Φ600 抜根	→抜根 1.0 本
雑木: Φ1000×H1.8m	→抜根 1.0 本
雑木: Φ1800×H3.0m	→抜根 1.0 本
草刈り	50.0 100 m <sup>2</sup>
ハリカホール Φ140・H800	→撤去 2.0 本
ネットフェンスH=1,200 コンクリート基礎共(巾150)	→撤去 20.0 m
既存ベンチ: L=1800	→撤去 1.0 か所

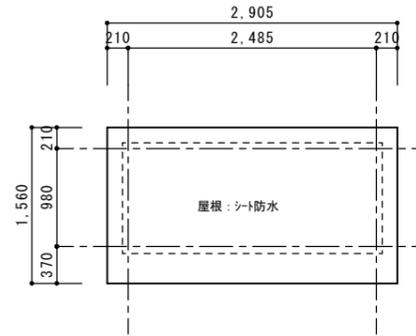
※樹木撤去については、監督職員と事前に本数と位置の確認を協議する事。

既存解体 外構図 1/250



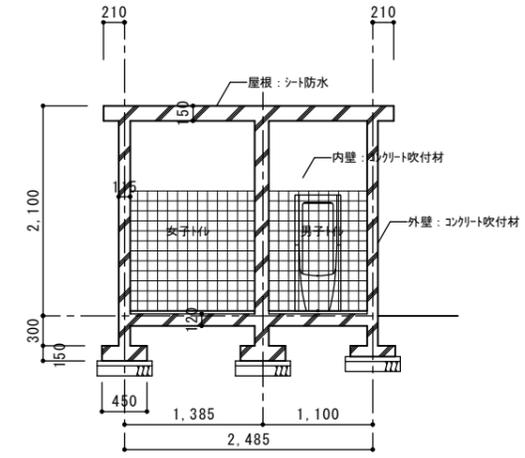
屋外便所 平面図 1/50

全て撤去



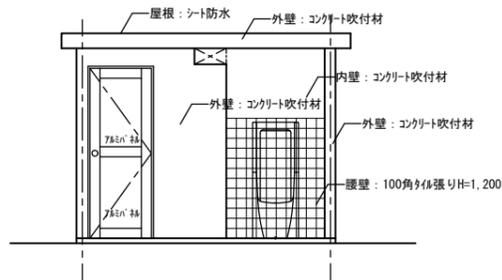
屋外便所 屋根伏図 1/50

全て撤去

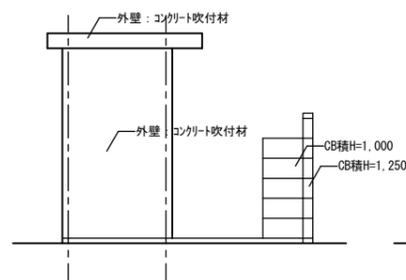


屋外便所 断面図 1/50

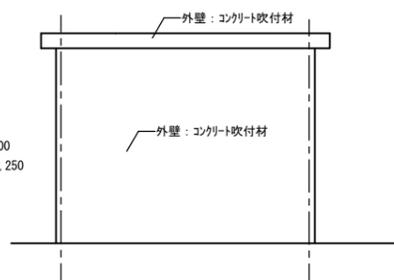
全て撤去



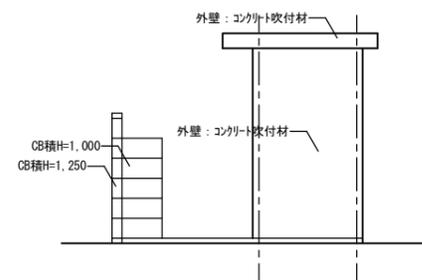
西面 立面図 1/50



北面 立面図 1/50

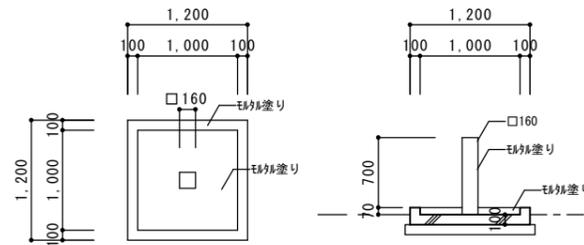


東面 立面図 1/50



南面 立面図 1/50

全て撤去



水飲み場 平面図 1/50

水飲み場 断面図 1/50

全て撤去

# 特記仕様書

## I 工事概要

1. 工事場所 高知県南国市日吉町3丁目-13(旧わかくさ児童館跡地)  
高知県南国市大浦甲1512番地1(新川児童遊園地)
2. 建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積	消防法施行令別表第一
旧わかくさ児童館跡地トイレ	ﾌﾟﾚｰﾄﾞ造	1階建	15.94㎡	(16)項
新川児童遊園地トイレ	〃	1階建	15.94㎡	
		階建	㎡	

(注) 延べ面積は建築基準法による表記

## 3. 工事種目

建物別及び屋外工事種目	旧わかくさ児童館跡地トイレ(既存トイレ)	新川児童遊園地トイレ(移設後トイレ)		屋外
電灯設備	○	○		
動力設備				
受変電設備				
自家発電設備				
避雷設備				
非常灯設備				
構内交換設備				
インターホン設備				
テレビ共聴設備				
電気時計設備				
放送設備				
誘導灯設備				
トイレ呼出表示設備		○		
火災報知設備				
外灯設備				
構内線路				

## II 工事仕様

### 1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版(ただし、改修工事の場合は公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版)及び電気設備工事標準図(令和4年版)による。

### 2. 特記仕様

- 1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
- 2) 特記事項のうち選択する事項は○印のついたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。

項目	特記事項
① 機材	設備機材等指定表による。
② 工所用電力、水、その他	本工事に必要な工所用仮設電力、水などの費用は請負者の負担とする。 官公署への諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。 自家用電気工作物保安管理業務委託先 ・ 四国電気保安協会 ・ 中央電気保安協会 ・ ( ) 構内に作ることが ・ できる ○できない 次のものは原則として再生クラッシュランを使用する。 (屋外キュービクル基礎・外灯基礎・ハンドホール等の砂利地業) アスファルトは原則として再生品を使用する。 工事に伴い発生するコンクリート塊・アスファルト塊は原則として再資源化を図る事。 ※ 構外搬出 搬出先の名称 ( ) 所在地 ( ) 運搬距離 ( ) km その他 搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ・ 構内指定場所に敷き均し ・ 構内指定場所に堆積 高知県土木部建築課 特記仕様書(共通編)「産業廃棄物の処理について」によること。 はり貫通部のスリーブ及び補強 スリーブ ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアーチェック、フロアーヒンジ ※別途工事 ・ 本工事 天井埋込型器具の取付箇所の下地の切込み及び補強 ※別途工事(墨出しは本工事) ・ 本工事 軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地の切込み及び補強 ※本工事 ・ 別途工事 埋込型分電盤、端子盤等の仮枠及び補強 仮 枠 ※本工事 ・ 別途工事 補 強 ※別途工事 ・ 本工事 照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート ※本工事 ・ 別途工事 屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット(ふたを含む) ※別途工事 ・ 本工事 屋外の変電設備基礎 ※本工事 ・ 別途工事 動力機器(電動機など)への接続 ※本工事 ・ 別途工事 電話保安器用接地 ※本工事 ・ 別途工事 図中に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表による。

- ⑧ 電 線 類
- ⑨ 呼 び 線
- ⑩ フラッシュプレートの材質
- ⑪ か'ｰﾌﾟﾚｰﾄ の用途別表示
- ⑫ 接 地 極

## 13 埋設表示

- ⑭ 再 使 用 機 器
- ⑮ 絶 縁 抵 抗 の 測 定
- ⑯ 補 修 な ど
- ⑰ 屋 上 ・ 屋 側 の 支 持 金 物
- ⑱ 結 露 防 止 は つ り ・ 非 破 壊 検 査

- ⑳ 天 井 仕 上 区 分
- ㉑ 配 線 器 具

## ㉒ L E D 照 明 器 具

- ㉓ 照 明 器 具 の 接 地
- ㉔ 照 明 器 具 用 位 置 ボ ッ ク ス

## 25 一般照明器具の照度測定

- 26 非常用照明器具の照度測定
- 27 分電盤分岐回路
- 28 テレビ共同受信設備

## 29 構内埋設線路

- ⑳ 執務並行改修の単価の適用
- ㉑ 耐 震 施 工

EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。  
耐火ケーブル(FP)及び耐火ケーブル(HP)はシースに耐熱性ポリエチレンを用いたものとする。  
長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。  
・ 樹脂製 ○ 新金属 ・ ステンレス  
シール等を貼付する。  
下記による。

接地の種類	記 号	接地抵抗値	接 地 極
共同接地	E A E D	10Ω以下	E B (14φ) x 3連-2組
A 種	E A	10Ω以下	E B (14φ) x 3連-2組
B 種	E B	150/Is Ω Is=1線地絡電流	E B (14φ) x 3連-2組
D 種	E D	100Ω以下	E B (10φ) x 1
C 種	E C	10Ω以下	E B (14φ) x 3連-2組
避雷用	E L	10Ω以下	E P x 1
高圧避雷用	E L H	10Ω以下	E B (14φ) x3 連-2組

避雷設備用及び共同接地極の表示 黄銅板製  
上記以外の接地極及び地中配線の表示 100φ x 300のコンクリート杭に方向種別を彫り込んだものとする。ただし、舗装された場所は鉄製ピンとする。

取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうち取付を行う。  
工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗を測定し、測定表を監督職員に提出する。  
工事の施工に伴い、既存部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。  
ステンレス製とする。(装柱金物は除く)

内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。  
既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは原則としてダイヤモンドカッターによる。はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行い、施工前に工事監理業務受注者もしくは果建築担当による確認後、施工すること。なお、鉄筋・配管類を切断する恐れがある場合は、事前に監督職員と協議すること。コア抜き施工後は鉄筋切断の有無を工事監理業務受注者もしくは果の担当の立会により確認すること。

(室名)はスラブ天井を示し、その他は二重天井とする。  
タンブラスイッチは大角型連用形とする。  
壁付コンセントは原則として大角型連用形とし、連用形以外はプラグ付とする。  
単相200V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。  
グリーン購入法(国等による環境物品等の調達推進等に関する法律)の判断基準適合品とする。

ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。  
ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。  
ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの(定格電流15A以上)及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。

照明器具の改修前と改修後に照度を測定する事とし、測定表を監督職員に提出する。  
測定箇所については監督職員と協議を行う事。  
設置した各部屋2箇所以上

分岐用配線用遮断機はJIS協約形2P50AFの1Pサイズとする。  
分岐器、分配器、直列ユニットはBS・CS共用形(BL品)とする。 ・ 双方向型  
電界強度の測定 ・ 要 ・ 不要  
埋設深さ 特記なきはGL-600以上とする。

地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。  
地中配線には電圧、線路長に関係なく標識シート(ダブル)を管頂と地表面の中間に設ける。  
本工事は執務並行改修として積算に用いる単価の補正を行っている。  
設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。  
なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。

- 1) 設計用水平地震力  
機器の重量 [N] に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合○設計用標準水平地震度は、次による。

【設計用標準水平地震度】	設置場所	機器種別	・ 特定の施設		・ 一般の施設	
			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上 層 階 塔屋及び屋上	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	
	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	
地下及び1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6	

ただし重要機器のアンカー計算における設計用標準水平地震度は全階2.0とする。  
【備考】(※1)水槽類には燃料小出タンクを含む。  
注：上層階の定義は次による。

- 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階
  - 13階建以上の場合は上層4階
- 重要機器 ( ・ 自立配電盤 ・ 発電装置(防災用) ・ 直流電源装置 )  
( ・ 交流無停電電源装置 ・ 交換装置 ・ 自動火災報知受信機 )  
( ・ 中央監視制御装置 ・ )

- 2) 設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の2分の1とし、水平地震力と同時に働くものとする。

## 32 コンクリート工事/骨材

## 33 ハンドホール

## ③④ 工事・完成写真

本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。  
ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。  
写真の撮り方は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年版による 工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版)」による。

区分	提出形式	備 考
工事写真	A 4版カラー印刷 画像データ(JPEG形式) ※上記両方を提出	A 4版カラー印刷には、写真内容説明を記入。
完成写真	A 4版カラー印刷 画像データ(JPEG形式) ※上記両方を提出	A 4版カラー印刷には、写真内容説明を記入。 外観1枚を含む内外6枚程度。 完成検査時に提出。

## ③⑤ 工事完成図

## 36 石綿含有建材の調査

## ③⑦ 機器取付高

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面の記載のない場合は原則として下表による。ただし、監督職員の指示により変更することがある。(住宅は別途協議)

名 称	測 点	取 付 高 (mm)	名 称	測 点	取 付 高 (mm)
ブラケット(一般)	床上～中心	2,100	避雷接地用端子箱	地上、床上～中心	800
〃 (踊場)	〃	2,500	接地極埋設機	地上～中心	600
〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150	室内端子盤(廊下、室内)	床上～下端	300
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上	接地用端子箱	床上～下端	500
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下	子時計、スピーカ	床上～中心	(天井高) x 0.9
スイッチ(一般)、アッテネータ	床上～中心	1,300	呼出ボタン(身体障害者用)	〃	900
スイッチ、インターホ子機(身体障害者用)	〃	1,100	復帰ボタン( 〃 )	〃	1,800
コンセント、電話用アクトレック、直列ユニット(一般)	〃	300	廊下表示灯( 〃 )	〃	2,000
〃 (和室)	〃	150	テレビ機器収容箱	〃	1,800
〃 (台上下)	台上下～中心	150	火報受信機(複合盤)	床上～操作部	800～1,500
コンセント(ガス漏れ検知器(LPガス))	床上～中心	200	火報総合盤	床上～中心	800～1,500
分電盤、制御盤、親時計	〃	1,500 (上端1,900以下)	コンセント(車庫)	床上～中心	800
閉閉器箱、中間端子盤(EPS、電気室)	〃	1,500	ガス漏れ検知器(LPガス)	床上～警報器上端	300
インターホン、副受信機	〃	1,500	〃 (都市ガス)	天井面～中心	(天井面)-200
			引込閉閉器箱(低圧)	床上～上端	2,000

備考 (天井高) x 0.9は天井高が、2,500～3,000mmの場合に適用する。

## 38 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策

対象建築材料等	使用制限
① 合板、木質系フローリング 構造用パネル、集成材 単板積層材、MDF パーティクルボード、ユリア樹脂板 壁紙、緩衝材、断熱材 保温材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。
② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エテルベンゲン含有していない水性系のものとする。
③ 木材保存剤(防蟻処理、防蟻処理等)	クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノカルブ含有しない、非有機リン系の薬剤とし加圧防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。
④ 内装用接着剤、木工用接着剤 配管用接着剤、接合剤	1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン含有してないものとする。 2)フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。
⑤ 家具、書架、実験台、什器 洗面化粧台、流し台	(①②③④)の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。) )
室内に関わる材料(上記①～④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロルピリホリス、ダイアジノン、フェノカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。	

## 工 事 名

新川児童遊園地トイレ新築工事 (電気設備)  
R040701  
E-01

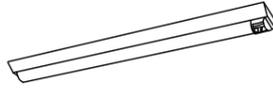
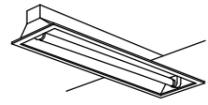
	<b>有限会社 友結建築事務所</b> 高知市東石立町106-1 (TEL) 831-8822 (FAX) 831-8966 一級建築士事務所(高知)登録第811号 一級建築士登録第345943号 松本 好弘
---	--

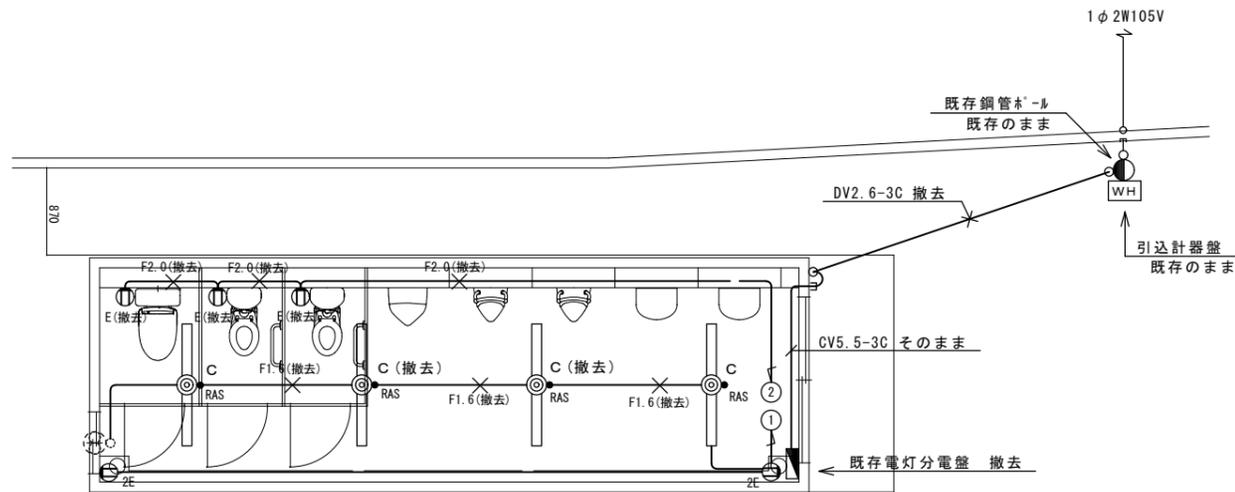
機 材 名	指 定 品	機 材 名	指 定 品	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名	機 材 名	メーカー名
電線管類・同付属品	J I S マーク表示品			LED照明器具	アイリスオーヤマ(株) 岩崎電気(株) (株)遠藤照明 コイズミ照明株式会社 東芝ライテック(株) パナソニック(株) 三菱電機照明(株) (株)YAMAGIWA 山田照明(株)	蓄電池 ﾊﾞﾝﾄ形据置鉛蓄電池 制御弁式据置鉛蓄電池 据置ニッケル・ｶﾞﾙﾌﾞﾐﾝｸﾞ蓄電池	エナジーウィズ株式会社 (株)GSユアサ 古河電池(株)		
電 線 類 等	国土交通省大臣官房官庁 営繕部監修の公共工事標準 仕様書(電気設備工事編) J I S マーク表示品			照明制御装置	東芝ライテック(株) パナソニック(株) 三菱電機照明(株)	監視カメラ装置	㈱JVCケンウッド・公共産業システム T O A (株) ﾊﾞﾅｺﾆｯｸｺﾛﾈｯﾄ(株)		
耐火・耐熱ケーブル	耐火・耐熱電線認定機関 の認定または評価された 旨の表示をしたもの			可変速電動機用インバーター装置	(株)日立産機システム 富士電機(株) 三 菱 電 機 (株) (株)安川電機	盤類(公共建築工事標準仕様) 分電盤・制御盤 ｷｬｰﾍﾞﾙ式配電盤	(株)イトウテック 共栄電機工業(株) 光 電 設 (株)		
配線器具類	J I S マーク表示品			高圧交流遮断機(真空)	東芝インフラシステム(株) 日 新 電 機 (株) (株)日立産機システム 富士電機(株) 富士電機機器制御(株) 三 菱 電 機 (株) (株)明 電 舎	太陽光発電装置	山洋電気(株) (株)GSユアサ 東芝インフラシステム(株) パナソニック(株)		
配線用遮断機 JIS C 8201-2-1 に適合するもの 漏電遮断機 JIS C 8201-2-2 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧限流ヒューズ	(株)宇都宮電機製作所 エナジーサポート(株) 東芝インフラシステム(株) (株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三菱電機(株)	交流無停電電源装置(UPS)	エナジーウィズ株式会社 山洋電気(株) (株)GSユアサ 東芝インフラシステム(株) 富士電機(株) 古河電池(株) 三菱電機(株) (株)明電舎		
電磁接触器 JIS C 8201-1, JIS C 8201-4-1 に 適合するもの	J I S マーク表示品			高圧負荷開閉器	エナジーサポート(株) 大垣電機(株) (株)新愛知電機製作所 (株)戸上電機製作所 日本高圧電気(株) (株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三 菱 電 機 (株)				
低圧進相コンデンサ JIS C 4901 に適合するもの	J I S マーク表示品			高圧進相コンデンサ	(株)指月電機製作所 東芝インフラシステム(株) ニ チ コ ン (株) 日 新 電 機 (株) 三 菱 電 機 (株) 利 昌 工 業 (株) ※1				
指示電気計器 JISC1102(指示電気計器)	J I S マーク表示品			※1 モールドコンデンサに限る					
非常用照明器具	(社)日本照明器具工業会 の J I L 適合マークが貼付 されたもの			高圧用変圧器	愛知電機(株) 四 変 テ ッ ク (株) (株)ダイヘン タカオカ化成工業(株)※2 (株)東 光 高 岳 東芝インフラシステム(株) 日 新 電 機 (株) (株)日立産機システム 富士電機(株) 三 菱 電 機 (株) (株)明 電 舎 利 昌 工 業 (株) ※2				
誘導灯器具	誘導灯認定委員会の認定 証票が貼付されたもの			※2 モールド変圧器に限る					
自家発電装置 付属する配電盤をふくむ	日本内燃力発電設備協会 の認定証票が貼付された もの								
防災電源用直流電源装置	蓄電池設備認定委員会の 認定証票が貼付されたもの								
自動閉鎖装置	連動機構・装置等自主評定 委員会の自主評定マークが 貼付されたもの								
非常放送装置の蓄電池	J E A 蓄電池設備認定委員 会の認定証票が貼付された もの								
非常警報装置(非常ベル)	日本消防検定協会の認定 証票が貼付されたもの								
自動火災報知装置	日本消防検定協会の検定 合格証票が貼付されたもの								
構内交換装置	(財)電気通信端末機器 審査協会の認定品								
								<b>電気設備機材指定表</b>	
								R060701	
								エ 事 名	E-02
								新川児童遊園地トイレ新築工事	(電気設備)
								有限会社 友結建築事務所	
								高知市東石立町106-1	(TEL) 831-8822 (FAX) 831-8966
								一級建築士事務所(高知)登録第811号	
								一級建築士登録第345943号	松本 好弘



工事概要 (電気設備工事)
屋外トイレ・移転改築工事
1. 旧わかさ児童館跡地の既存トイレを新川児童遊園地に移設する為の、電気設備工事を行う。
2. 旧わかさ児童館跡地で、引込計器盤開閉器二次側以降のトイレに至る引込線を撤去する。
3. 新川児童遊園地の、既存引込鋼管ホールは再使用する。
4. 移設した既存トイレの既存分電盤は撤去し、図示盤を新設する。
5. 改修後の二次側配線は、図示工事を監督官の指示にて施工する。

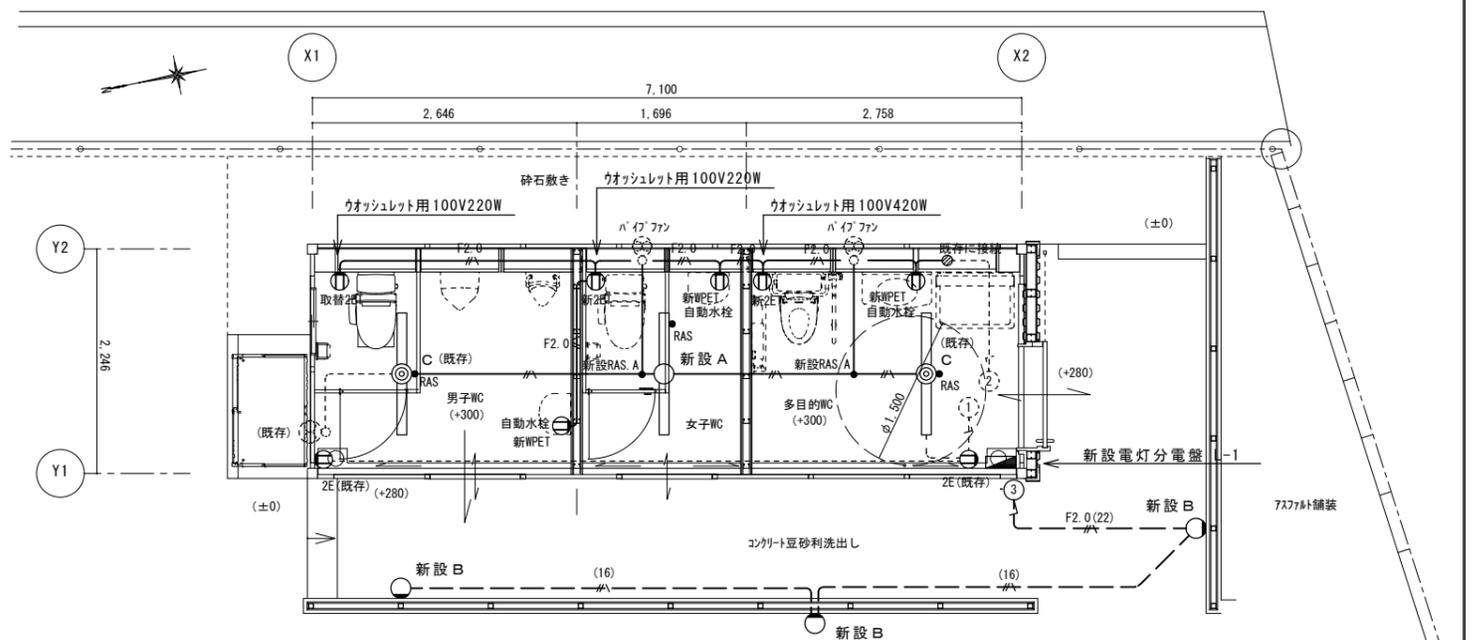
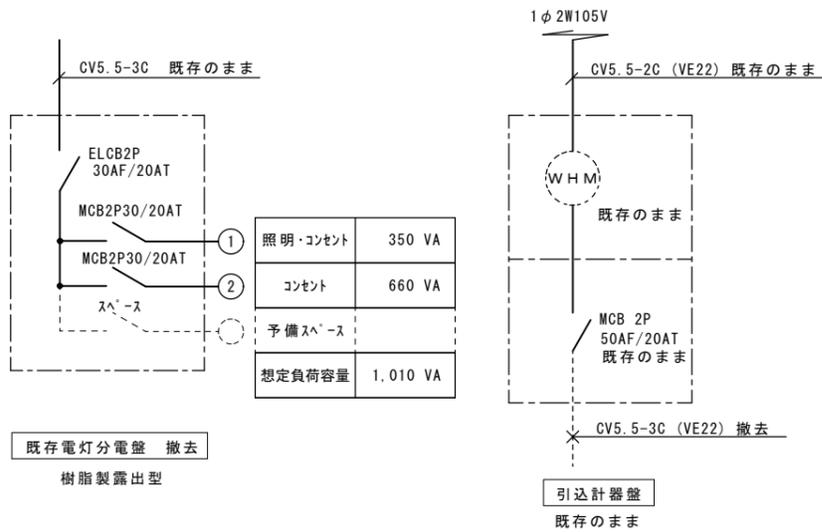
照明器具姿図

A	新設 LED 直付型 40形	B	新設 LED ポーチライト	C	撤去 LED 40型埋込下面解放型
消費電力：2.5W相当		消費電力：4.3W相当		2台 = 既存撤去再取付 (清掃) 2台 = 既存撤去廃棄	人感センサー付 
ひとセンサー付、4000lmタイプ 本体：鋼板 (白色粉体塗装) ライトバー (カバー)：ポリカーボネート (乳白) 光源寿命40000時間		器具光束270lm相当 防雨型、ネジ込み方式、天井直付型・壁直付型 アルミダイカスト (オフブラック) カバー：ガラス (乳白つや消し) 光源寿命40000時間			



移設前 既存仮設トイレ平面詳細図 S=1/50

旧わかさ児童館跡地トイレ



移設後 改修平面詳細図 S=1/50

新川児童遊園地トイレ

電灯・コンセント設備 - 凡例 (注 - 位置ボックスは全て樹脂製とする)

● RAS	人感センサー	照明器具付属器具
● RAS.A	"	天井埋込形親機 換気扇連動形 AC100V WTK2604
⊖ 2ET	埋込コンセント	2P15Ax2 接地端子付 大角連用形 新金属プレート
⊖ WPET	"	2P15Ax1 接地端子付 防水型

特記事項

図中記入なき配線は下記とする。		
EM-EEF 1.6-2C	天井コブシ配線	
F2.0	1.6-3C	
F2.0	2.0-3C	
(16)	EM-EEF 1.6-2C (PF16)	床心ハズレ配管
F2.0(22)	2.0-3C (PF22)	
(注) コンクリート、ブロック中はP.F管にて保護すること。		

# 特 記 仕 様 書 ( 1 )

工事名称 新川児童遊園地トイレ新築工事  
設計年度(設計図) 令和6年度

## I 共通事項

種目	項目	特記仕様 ( ※ 及び ● 印をつけたものを適用する )
一般	適用仕様	※ 特記なき事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」(改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 令和4年版)」による。 ※ 国土交通大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編」 ※ 国土交通省仕様 (例: 外壁の地中部等 水密を要する部分はツバ付銅管スリーブ等。地中部で水密を要しない部分はWスリーブ。柱、梁以外の箇所、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。)
	スリール	※ 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様 ※ 区画貫通処理の必要な箇所については、箇所別に設置場所・設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。 ※ 「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版)による。 建物の種別: ○ 特定の施設 ● 一般の施設 地域係数: 1.0 1) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 ※ 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。 2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。
共通	機器の固定	※ 基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注) ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 ※ 機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウエッジ式とする。(県標準図16) ※ ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※ 防振架台を設置する場合、耐震スツパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。 ※ 一般土間コンクリート下部配管は耐蝕性のある吊りボルト(亜鉛ドブ漬又はステンレス製)にてスラブ筋に支持する。 ※ 屋外及びピット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ漬又はSUS製とする。屋内外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※ 仕様のとおりにより配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は掘れ止めを適宜設ける。
	配管の支持	ねじ接合材
仕様	ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表
	(テープシール材)	※ (イ) テープシール材は、JIS K 6885 (シール用四ふっ化エチレン樹脂未焼成テープ(生テープ))によるものとする。 注) 水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。 ※ (ロ) 一般用ベアースシール材は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※ (ハ) 給水用、給湯用及び冷温水用の防食用ベアースシール材は、JWWA K 161 (水道用ライニング鋼管用液状シール剤)に規定する水道用シール剤とする。 注) 水道用シール剤において JWWA K 161 に適合している主なベアースシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤 (ロ) (例: 日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール 403・株式会社ヘルメテックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメテック No. A0-9など) ライニング鋼管に使用する防食用ベアースシール剤 (ハ) (例: 日本ヘルメテックス株式会社のヘルメシール55-88-403・株式会社ヘルメテックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメテックNo. A0-9など)
仕様	弁サヤ管工法埋設管の保護	※ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は呼び径50以下は青銅製、呼び径65以上はステンレス製とする。 ※ サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。(同時施工を行わない。) ● 一般敷地450mm以上 ○ 車両通路600mm以上 ○ 公道800mm以上 ○ 公道1,200mm以上 ● 埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。 ※ 石綿含有分析調査 ○ 本工事 ○ 別途 ● 無し アスベスト含有品(ガasket、パッキン、たわみ継手、保温材、天井材等)は関係法令に従い適切に処理を行う。
	石綿含有品	※ 構外搬出 処理場所( 宿毛建設資源利用協同組合 )所在地( 高知県宿毛市橋上町2300-1 )距離( 8 )km その他 建設発生土の搬出先は上記を予定している。搬出先が変更となる場合は、設計変更の対象とする。 ● 構内指定場所に敷き均し ○ 構内指定場所に堆積
仕様	建設副産物	※ アスファルト、アスファルト路盤は原則として再生品を使用する。 ※ 浄化槽・樹類の砂利地業は原則として再生クラッシュランを使用する。(アスファルト再生品混じりは不可) ※ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。 ※ はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 なお、『コア抜き・はつり工事チェックリスト』を作成し段階確認を行って施工する。 ※ 下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。(測定場所等は監督職員の指示による。) ○ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 室内外空気の温度の測定 ○ 騒音の測定 ○ 室内気流及びじんあいの測定
	コンクリート工事/骨材はつり・非破壊検査	○ 配管施工(配管工事) ○ 熱絶縁施工(保温工事) ○ 建築板金施工(ダクト製作及び取付) ○ 冷凍空調調機和機器施工 ○ その他 完 成 図 ※ CADデータはGD-Rに保存して提出。 ※ 画像データ(PDF形式) ※ A4版黒表紙金文字製本 1部 ※ 2つ折りA3版製本 1部 施 工 図 ● CADデータはGD-Rに保存して提出。 ● 画像データ(PDF形式) ○ 2つ折り製本(サイズは原因による) 工事管理資料(写し) ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工 事 写 真 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工 事 日 誌 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工 具 類 ○ マンホールフック ○ 制水弁ハンドル ○ 掃除口ハンドル ○
仕様	総合調整	● 対象建築材料等
	技能士の適用	使用制限
仕様	完成後の提出物	① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上げ塗材 F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。 ② 塗料 ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。 ③ 木材保存剤(防蟻処理、防蟻処理等) クロロピリホリス、ダイアジノン、フェノカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。 ④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤 1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする。 2) フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用しているものとする。 ⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台 ①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。 室内に関わる材料(上記②~④及び建具、シール材、その他でその接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロロピリホリス、ダイアジノン、フェノカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。

配管	① 配管用炭素鋼管【SGP黒管】(JIS G 3452) ② 配管用炭素鋼管【SGP白管】(JIS G 3452) ③ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管【SGP-VA】(JWWA K 116-WSP 011) ④ 水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管【SGP-VD】(JWWA K 116) ⑤ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管【SGP-PA】(JWWA K 132-WSP 039) ⑥ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管【SGP-VS】(WSP 041) ⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管【SGP-HVA】(JWWA K 140) ⑧ 一般配管用ステンレス鋼管【SUS 304 TPD】(JIS G 3448) ⑨ 配管用ステンレス鋼管【SUS 304】(JIS G 3459)・・・60A以下は拡張式 ⑩ 水道用ダクタイル鋳鉄管【3種管】(JWWA G 113) ⑪ 鋼管【M】(JIS H 3300) ⑫ 外面被覆鋼管【M】(JIS H 3330) 給湯 ⑬ 耐熱性硬質塩化ビニル管【HTVP】(JIS K 6776) ⑭ 水道用硬質塩化ビニル管【VWP】(JIS K 6742) ⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管【HIVP】(JIS K 6742) ⑯ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管【RR-VP】(JWWA K 127) ⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管【RR-HIVP】(JWWA K 129) ⑱ 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762) ⑲ 水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144) ⑳ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769)	⑳ ポリブデン管 (JIS K 6778) ㉑ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管【D-VA】(WSP 042) ㉒ 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 (WSP 032) ㉓ 排水用鋳鉄管【メカニカル形2種管】(JIS G 5525) ㉔ 鉛管(HASS 203) ㉕ 硬質ポリ塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741) ㉖ 硬質ポリ塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741) ㉗ 排水・通気用耐火二層管【内管VP】 ㉘ 卵形管【ゴムリング】(JAWAS K-3) ㉙ プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉚ 硬質塩化ビニル被覆鋼管【ガス】(JIS G 3452原管) 白 ㉛ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ㉜ ガス用ステンレス製フレキシブル管【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】 ㉝ 断熱材被覆鋼管【ポリエチレン保温材】(JCDA 0009) 冷媒 ㉞ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管(日本消防設備安全センターの性能認定取得品) ㉟ 空調用保温材付ドレン管【ポリエチレン保温材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品) ㊱ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769) 外装保温厚5mm ㊲ - ㊳ - ㊴ -
	材	工種 場所 屋内一般 屋内ピット 屋内コンクリ 屋内土中 屋外埋設 屋外架空 給水(直圧) ⑮⑳ ⑳ ⑳ ⑳ ㉟ 給水(一般) ⑳ ⑳ ⑳ ⑳ ㉟ 汚水 ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ 雑排水 ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ 通気 ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ ガス ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ 消火 ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ 給湯 ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ 器具接続 ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ 冷温水 ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ 冷却水 ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ 中水 ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ 冷媒 ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ 空調ドレン ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟ 浄化槽ブロワ管 ㉑ ㉑ ㉑ ㉑ ㉟
塗装・防食	※ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライマ)を施す。 ※ 鋼管類のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 ※ 土中埋設する鋳鉄管、鋳鉄異形管(メカ型継手共)及び特殊継手類はポリスリーブ巻きとする。 ○ 居室等に露出して使用する配管支持金具類(電気メッキ品)は塗装(さび止めペイント・中塗り・上塗り)を施す。 ※ 下記の露出配管、ダクト(ダクト構成部材含む)、電線管、フード類の塗装を行う。 屋外: ○ドレン管(指定色塗装) ○金属電線管(指定色塗装) 屋内: ○ダクト(指定色塗装) ○金属電線管(指定色塗装) ○フード類(指定色塗装)	① ロックウール保温材 (ロ) グラスウール保温材 (ハ) ポリスチレンホーム保温材 (ニ) 簡易保温筒10mm (ホ) 簡易保温筒20mm (ヘ) 簡易耐熱保温筒10mm (ト) 簡易耐熱保温筒20mm (チ) 冷媒用被覆鋼管 (リ) SUSラッキング (ヌ) ガルバリウム鋼板 (ル) カラーガルバリウム鋼板 (ヲ) - ○ フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。 ※ 器具類(洗面化粧台・給湯器・温水器等)と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。
	保温・防露	工種 場所 屋内露出 機械室・倉庫 天井・PS内 床下暗渠内 屋外露出 屋外埋設 備考 給水 a <sub>2</sub> ( )VII b( )VII c <sub>2</sub> ( )VII d( )VII e <sub>2</sub> ( )VII ( ) 排水・空調ドレン a( )VII b( )VII c <sub>2</sub> ( )VII 給湯 a( )I b( )I c <sub>2</sub> ( )I d( )I e <sub>2</sub> ( )I 冷水・冷温水管 A( )III B( )III C <sub>1</sub> ( )III D( )III E <sub>2</sub> ( )III 冷媒管 (チ)+スリムダクト (チ) (チ) (チ) (チ)+スリムダクト 矩形ダクト J <sub>1</sub> ( )XI I( )XI I( )XI K <sub>2</sub> ( )XI スパイラルダクト O <sub>1</sub> ( )XI N( )XI N( )XI P <sub>2</sub> ( )XI 備考 図面特記参照 図面特記参照 (イ)ロックウール保温材 (ロ)グラスウール保温材 (ハ)ポリスチレンホーム保温材 (ニ)簡易保温筒10mm (ホ)簡易保温筒20mm (ヘ)簡易耐熱保温筒10mm (ト)簡易耐熱保温筒20mm (チ)冷媒用被覆鋼管 (リ)SUSラッキング (ヌ)ガルバリウム鋼板 (ル)カラーガルバリウム鋼板 (ヲ)- ○ フレキシブルジョイントは配管に準じた保温・ラッキングを施す。 ※ 器具類(洗面化粧台・給湯器・温水器等)と接続するステンレスフレキは簡易保温筒にテープ巻きを施すこと。
表示	※ 配管表記 ① 機械室・ピット・PS内・天井点検口付近には必ず表記する。 ② 表記内容は、流体・サイズ・系統名とする。 ③ 場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。 ※ 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート・ベンキ等にて表記(管理番号・室名・設置年月等)を行う。なお、該当する主要機器を事前確認する。 ※ パッケージエアコン等の空調機は、室内外機に表記を行う。(県標準図13) ※ 水中に設置するような各種主要機器類(水中ポンプ等)は銘板を壁付近にも設ける。(製造者名、製造年月、形番、性能等を順記する。) ※ 屋外に設置するバルブは固定するか、表示方法を協議する。 ※ バルブBOX内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いたアクリル札を入れる。 ※ 埋設バルブボックスの蓋の向きは流体の行き先側に蓋の付根を向ける。 ※ 排水以外の屋外埋設管には曲・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように標示紙(標示柱は県標準図8)を設ける。 ※ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用アルミテープ(W)を埋設する。(排水・通気管を除く)	● 引渡しを要するもの ( ) ● 現場において再利用を図るもの ( ) ※ 再生資源化を図るもの ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ※ 廃石膏ボード等は、原則分別再利用処理とする。 ※ 発生材搬出時の写真記録の方法は特記仕様書(共通編)による。

# 特 記 仕 様 書 ( 2 )

## II 工事種目

● 衛生器具設備	取付位置	<p>※ 衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 (特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意)</p> <p>※ 和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布(3mm以上)とする。(県標準図1)</p> <p>※ 和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。</p> <p>※ 化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による張付にて取付などの処置を施す。</p> <p>※ 小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。 大便器 8~10秒 小便器 8~10秒 自閉式水栓 7秒</p> <p>※ 洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。</p> <p>○ 器具類と壁・床のシール(コーキング)打ちは右記の表による。</p>																																												
	大 便 器 化粧鏡 流量調整 洗濯機パンシール(コーキング)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">設置場所の床が湿式(防水)</th> <th colspan="2">設置場所の床が乾式(非防水)</th> </tr> <tr> <th>機器種別</th> <th>壁</th> <th>床</th> <th>壁</th> <th>床</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>洋風便器</td> <td>—</td> <td>不</td> <td>—</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>洗面器類</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>要</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>掃除流し</td> <td>不</td> <td>—</td> <td>要</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>洗濯流し</td> <td>不</td> <td>—</td> <td>要</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>洗濯パン</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>要</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>ステンレス流し台</td> <td>要</td> <td>不</td> <td>要</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>化粧棚</td> <td>不</td> <td>—</td> <td>要</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。</p>		設置場所の床が湿式(防水)		設置場所の床が乾式(非防水)		機器種別	壁	床	壁	床	洋風便器	—	不	—	不	洗面器類	—	—	要	—	掃除流し	不	—	要	不	洗濯流し	不	—	要	不	洗濯パン	—	—	要	不	ステンレス流し台	要	不	要	不	化粧棚	不	—	要
	設置場所の床が湿式(防水)		設置場所の床が乾式(非防水)																																											
機器種別	壁	床	壁	床																																										
洋風便器	—	不	—	不																																										
洗面器類	—	—	要	—																																										
掃除流し	不	—	要	不																																										
洗濯流し	不	—	要	不																																										
洗濯パン	—	—	要	不																																										
ステンレス流し台	要	不	要	不																																										
化粧棚	不	—	要	—																																										
● 給水設備	負担金類	<p>○ 不要 ● 要 (φ13→φ20変更への差額は、別途納付。) ※ 検査時に検査手数料は必要(条例)</p> <p>※ 直圧給水弁は水道事業者の指定品(指定のない場合は、二次側給水に準じた弁)</p> <p>※ 二次側給水弁(土中): 40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁(内面ライニング)</p> <p>※ 二次側給水弁(一般): 40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鋳鉄製 F 付き内面ライニング弁5K</p>																																												
	継手類 バルブボックス隠蔽部の保温 既設給水銅管への接続 水槽類の施工手順 水槽類の衛生管理 引渡前の水質の管理	<p>※ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。</p> <p>※ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。</p> <p>※ ビニル管とライニング鋼管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。</p> <p>※ T Sバルブソケットは金属製(砲金)おすネジを打込しているものを使用する。</p> <p>※ 水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図5・6による。</p> <p>※ 給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。 空間の有る壁中配管 → 要 流し下の空間配管 → 要</p> <p>※ 改修工事等で銅管類(ライニング鋼管)を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、銅管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品(エポキシ系DEVCON SF等パイプライニング用)にて処置する。ただし、コア一体型管端防食タイプソケットRC-LA型糊リケンを使用する場合は処理不要とする。)</p> <p>※ 水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図4を参考とし水位高さを協議する。</p> <p>※ 受水槽・高架水槽を新設(改修等含む)施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。</p> <p>○ 残留塩素濃度の測定を行う。(端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。)</p> <p>○ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査(11項目)について行うこと。採水場所は指定の箇所で(ヶ所)とする。</p>																																												
● 排水設備	保護砂砂利	<p>● 第1崩以降の屋外ビニル管部分には、保護砂(180度台)を要す。</p> <p>○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。</p> <p>※ 防護蓋を設置する場合は県標準図7による。</p>																																												
	樹脂製排水樹衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等その他	<p>● 洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCバックンを使用する。</p> <p>※ 既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結(VCバックンでも可)とする。県標準図5による。</p> <p>○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。(但し平屋建は不要とする。)</p> <p>○ 空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで一必要 流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管一不要</p> <p>○ 満水試験 ● 通水試験 ● 鏡確認</p> <p>※ 洗濯機排水金物の床貫通部等は共用区画に適合する処理を施す。</p>																																												
○ 消火設備	消火栓箱	<p>○ 消火栓箱は(○ 県標準図12 ○ 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様)</p> <p>● 共用区画の消防検査受検必要</p>																																												
○ 給湯設備	弁類 絶縁対策 給湯管の保温 大気汚染対策	<p>● 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K</p> <p>※ 銅管及びステンレス配管は支持金物との絶縁処理を行う。</p> <p>※ 銅板製ボイラー及び銅管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。</p> <p>※ 給湯配管に簡易保温筒(クイックチューブ)を使用する場合は耐熱性のものを使用する。</p> <p>※ 被覆銅管の継手カバーは保温付きのものを使用する。</p> <p>※ 給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温(簡易保温筒)施工を行う。</p> <p>○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。</p>																																												
○ ガス設備	ガス集合装置 給湯器用止水弁 その他	<p>※ ガス集合装置は県標準図9・10・11を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。</p> <p>※ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。</p> <p>※ ガス用フレキ管とガスコック等(ヒューズコック)との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。</p> <p>※ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。</p> <p>※ ポンプ支持クサリ用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。</p> <p>※ 埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー(ケミカルアンカー)なお、チェーン、フックも同様の強度を持つものとする。</p> <p>※ 日記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で5年間保存する。</p>																																												
● 浄化槽設備	種汚泥 試運転調整 その他	<p>※ 使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。</p> <p>※ 浄化槽の使用開始後おむね3ヶ月間の試運転調整を行うので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。 1 維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査(BOD、SS、PH、大腸菌、塩素イオン)を行い、そのコピーを維持管理業者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。</p> <p>※ 見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。</p> <p>※ コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。</p> <p>○ 補助金申請設備</p>																																												

● 空調調和・換気設備	空調機器の仕様	<p>※ グリーン購入法(国等による環境物品等の調達に関する法律(平成十二年法律第百号))の判断基準適合品とする。</p> <p>なお、パッケージ及びマルチエアコン等については、各メーカーの最高効率機種とする。</p> <p>○ 屋外機はJRA耐重塩害仕様とする。 ○ 屋外機は耐塩害仕様とする。</p> <p>※ パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図13を参考にして注意する。</p> <p>● 天カセ形室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。(建築工事標準詳細図参照)</p> <p>1) 補強野縁は野縁と、補強野縁受及び取付け用補強材は野縁受と同材とする。</p> <p>2) 野縁受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊り設ける。</p> <p>※ 室外機には設置場所を問わず、溶融亜鉛メッキ製またはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。</p> <p>○ 不要 ○ 要(ヶ所) 自動空気抜き弁にはGV及びストレーナーを取付ける。</p> <p>※ 配管ラッキング(溶融アルミニウム-亜鉛鉄板・配管化粧カバー)は室外機の直近まで施す。</p> <p>※ 配管樹脂化粧カバー(スリムダクト)も室外機の直近まで施す。なお、屋外スリムダクト最終部は閉塞処理を行う。(コーキング処理、またはエンドキャップ処理)(フリーコーナー(ジャバラ)は使用しない。)</p> <p>○ アルミフレキ(不燃材料認定品) ○ ステンレスフレキ(不燃材料認定品) ○</p> <p>※ 内貼りチャンパの寸法表示は、外法寸法とすること。サブライチャンパにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。</p> <p>※ 消音材はグラスウール(吹出口チャンパー・吸込口チャンパー・レターンチャンパーは25mm厚、サブライチャンパーは50mm厚)とし、ガラスクロス押えとする。</p> <p>※ 排気フードは、SUS430製とする。(1.0mm厚)</p> <p>※ フィルターは分解掃除が出来るものにする。</p> <p>※ 黄銅製コックは20mmのものとする。(キャップ止でもよい)</p> <p>※ 火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わる場合はフードの面風速もチェックする。 (参考: フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。)</p> <p>※ 送風機の機器表にファンの番手(＃)を明記している場合、小さい番手にしない。</p> <p>※ エアコン設置に必要な一次側電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース(CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度)を要す。</p> <p>※ 配線はEM-AE0.9mm/2C~3C、又はVCTF0.75sq/2C~3Cとする。(但し延長が10m以下の配線は機器付属品でもよい。)</p> <p>※ 室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートに施工する場合は同保温外装内に納める。(電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。)</p> <p>※ 表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ(1,300~1500h)照明SWの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。</p> <p>※ 防振ハンガーの設置判断基準は県標準図14による。</p> <p>※ 震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図15による。</p> <p>※ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の盤の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。</p> <p>○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。</p>
	自動空気抜き弁装置 冷媒配管のラッキング	<p>ダクト 消音内貼り</p> <p>厨房等の排気フード</p> <p>送風機(大型) エアコン類の電気工事</p> <p>防振ハンガ 耐震対策措置 機器付属の制御盤 大気汚染対策</p>
○ 別工事	<p>別 途 工 事</p> <p>○ スリーブ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ○ 点検口 ○</p> <p>○ 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ ブロパボンペ庫 ○</p>	

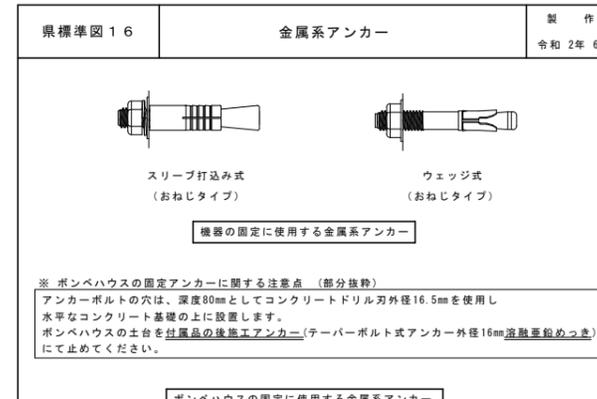
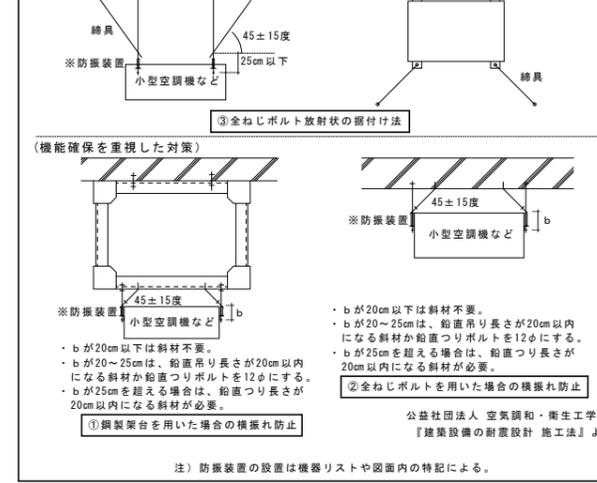
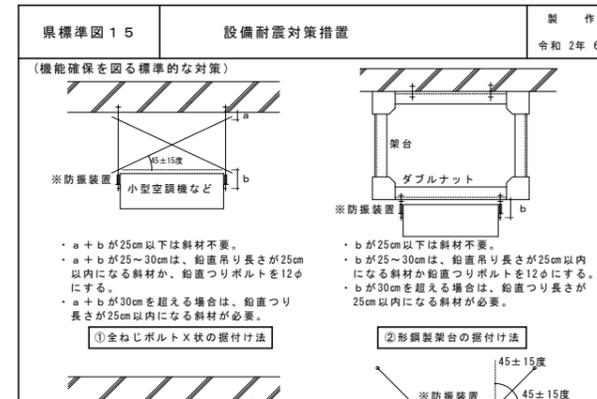
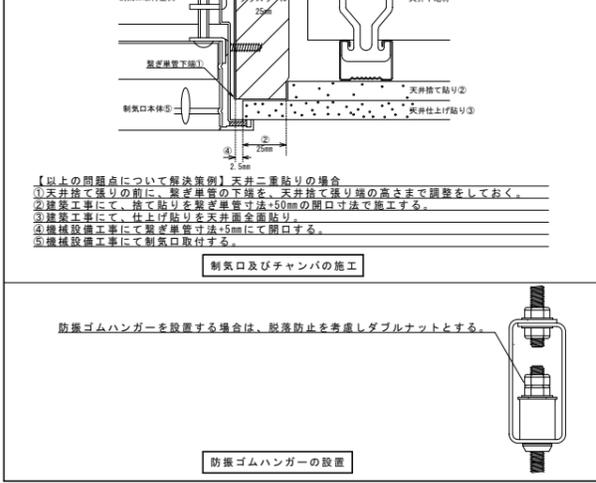
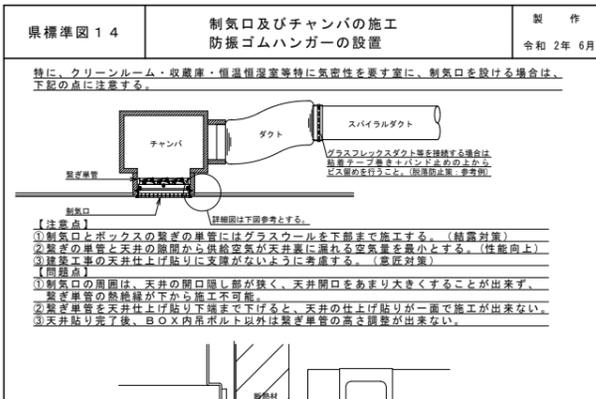
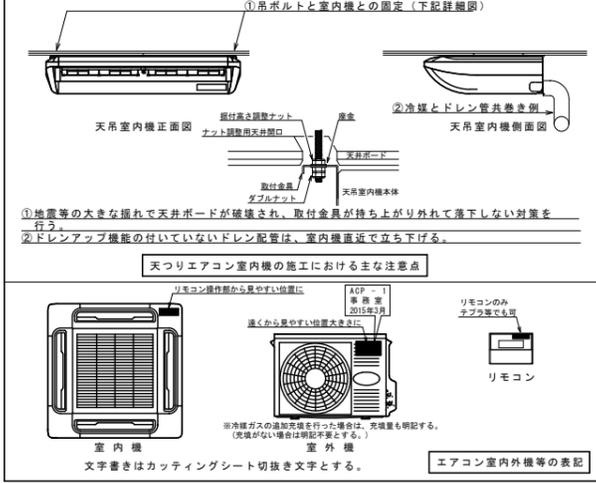
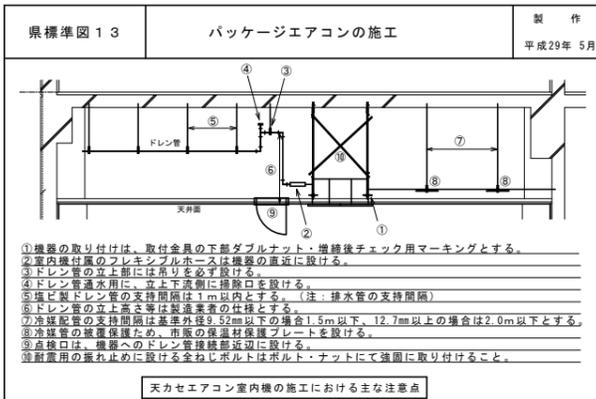
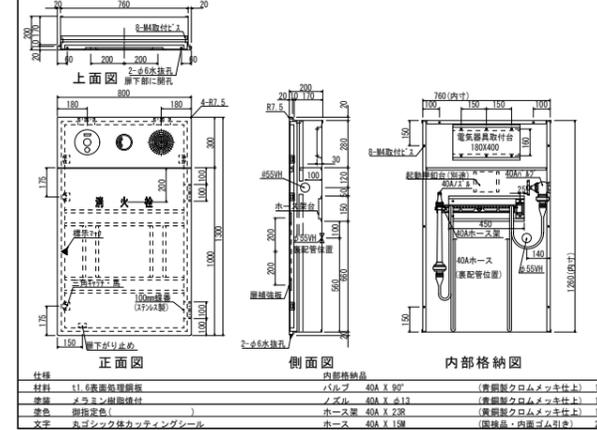
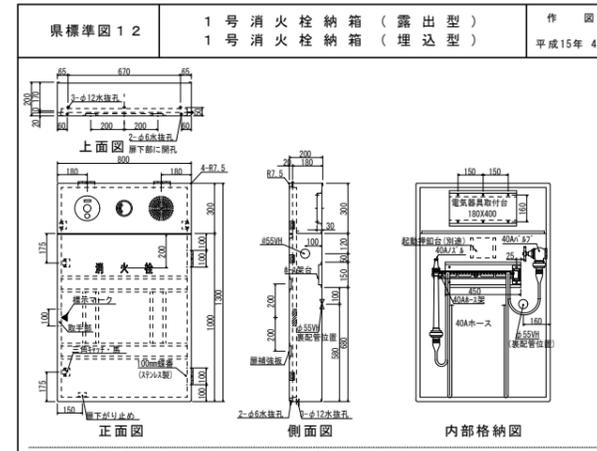
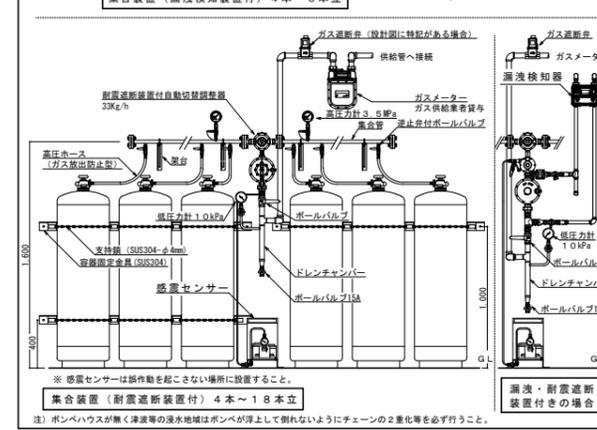
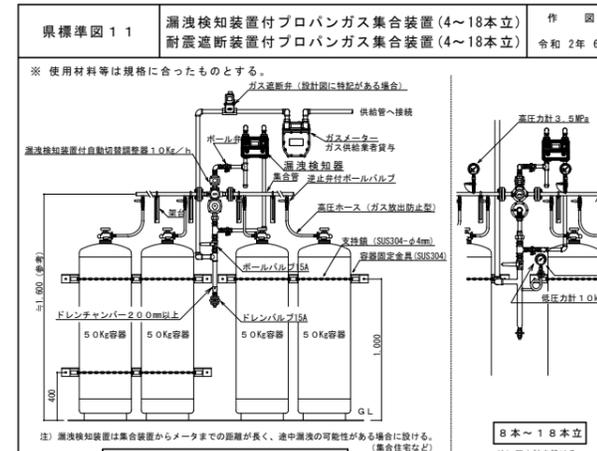
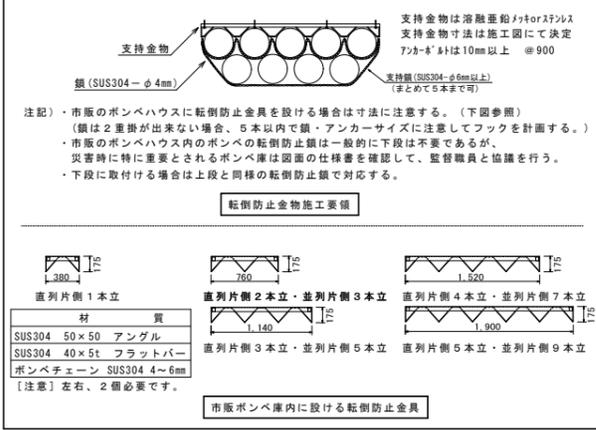
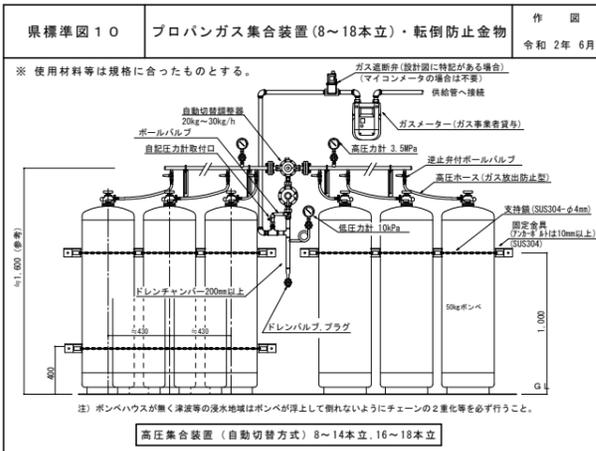
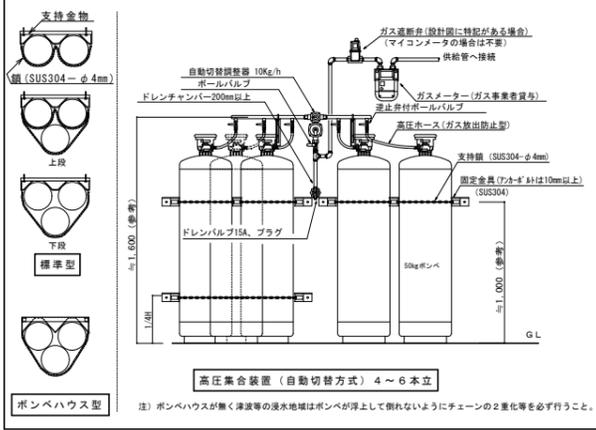
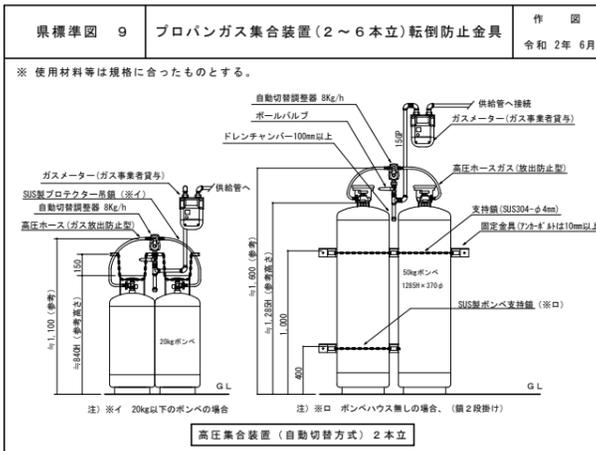
## III 材料メーカー表

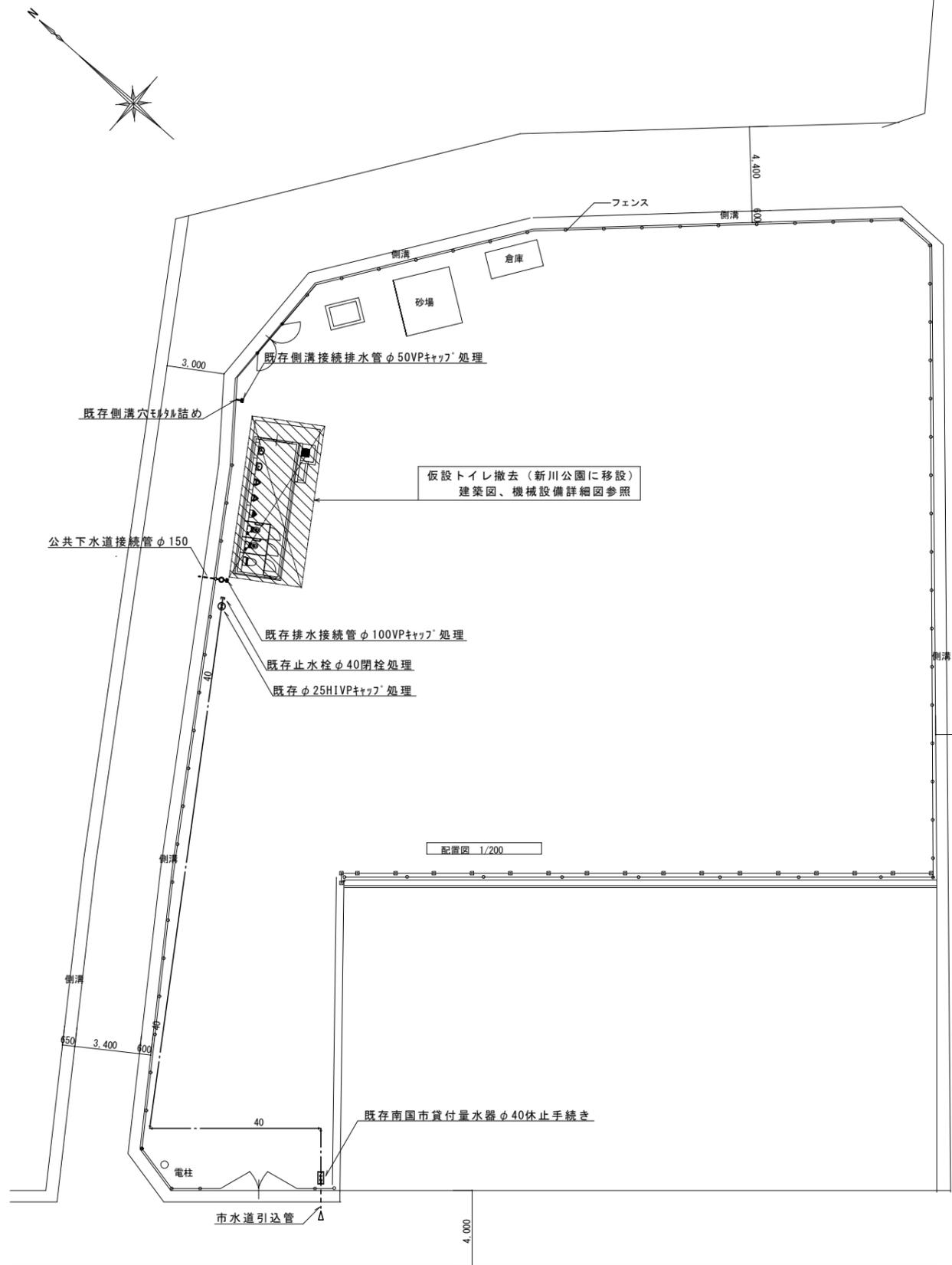
材 料	材 料 メ ー カ ー
衛 生 陶 器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
水 栓 金 具 類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
F R P 水 槽	三菱、日立、積水
う ず 巻 ポ ン プ	荏原、日立、アヲ、川本
水 中 モ ー タ ー ポ ン プ	荏原、日立、アヲ、川本、鶴見
汚 水 ・ 汚 物 ポ ン プ	荏原、日立、アヲ、川本、鶴見、新明和
電 気 温 水 器	三菱、日立、アヲ、川本、鶴見、新明和
厨 房 機 器	三菱、日立、アヲ、川本、鶴見、新明和
小 型 鋼 板 ボ イ ラ ー	巴、昭和、愛知、ネボン、ヒラカワ
F R P 膨 張 タ ン ク	日立化成、三菱樹脂、ホーコス
ル ー ム エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷 温 水 発 生 機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エ ア ハ ン ド リ ン グ ユ ニ ッ ト	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送 風 機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミツヤ、旭電業
冷 却 塔	矢崎、日立、荏原シンワ、空研、日本スピンドル
自 動 制 御 機 器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロ ー ル フ ィ ル タ ー	日本スピンドル、東洋空調和、日本エアフィルタ
全 熱 交 換 形 換 気 扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
そ の 他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な 取扱資格者	ボイラ	○ 資格不要 ○ 特別教育修了者(小型ボイラ) ○ 講習修了者 ○ ( ) 級ボイラ技士
	危険物	○ 資格不要 ○ 危険物取扱主任者
	冷凍機	○ 資格不要 ○ 第( ) 種冷凍機械作業主任者

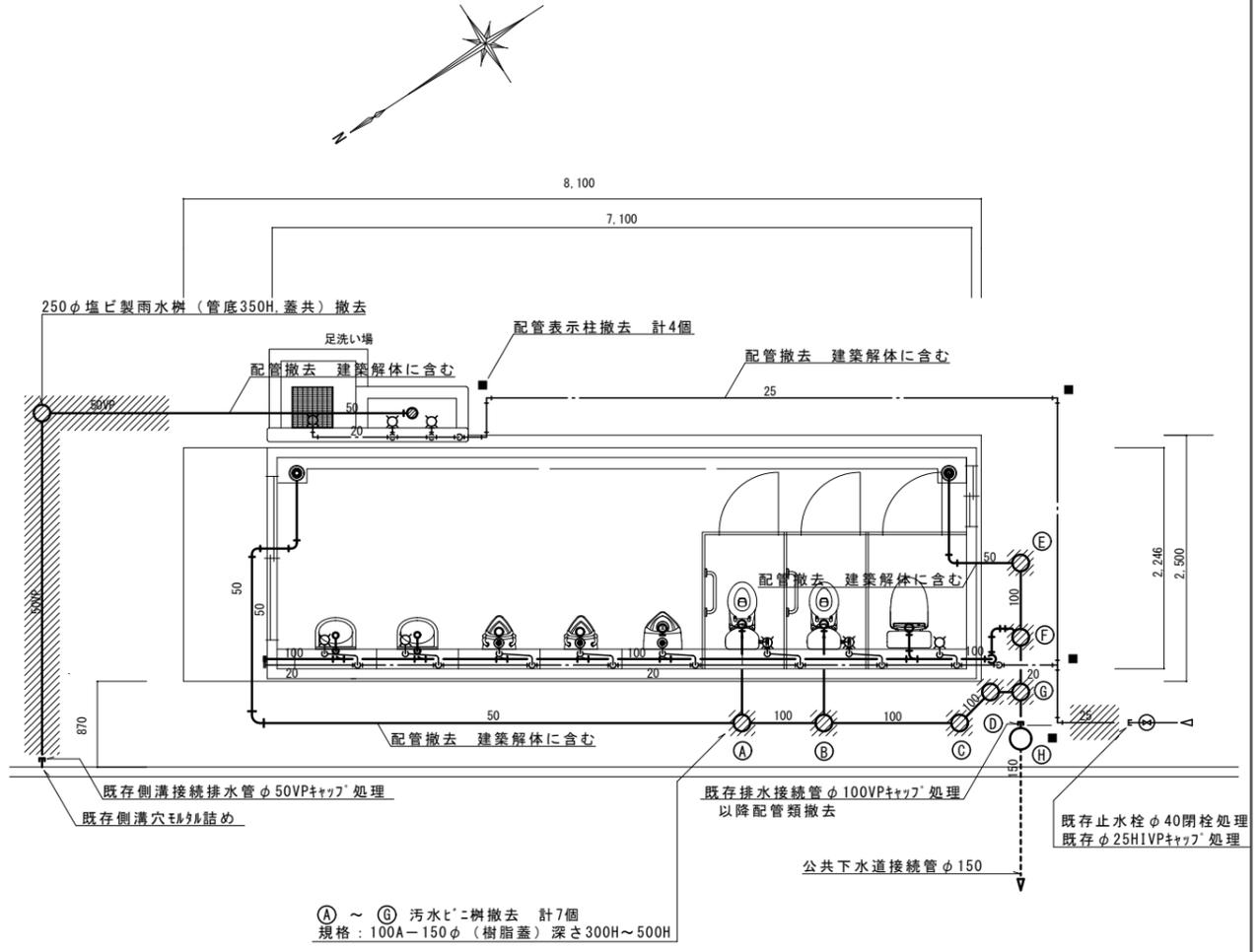
	官公庁等	打 合 せ 事 項	確 認 日
給 水	南国市上下水道局	直圧給水引き込み施工要領について	令和 年 月 日
排 水	南国市上下水道局	公共下水道接続要領について	令和 年 月 日
消 防			令和 年 月 日
浄 化 槽			令和 年 月 日
ガ ス			令和 年 月 日
そ の 他			令和 年 月 日







(撤去処理内容)  
仮設トイレ解体衛生設備屋外配置図 S=1/200



(撤去図)  
仮設トイレ解体衛生設備平面図 S=1/50

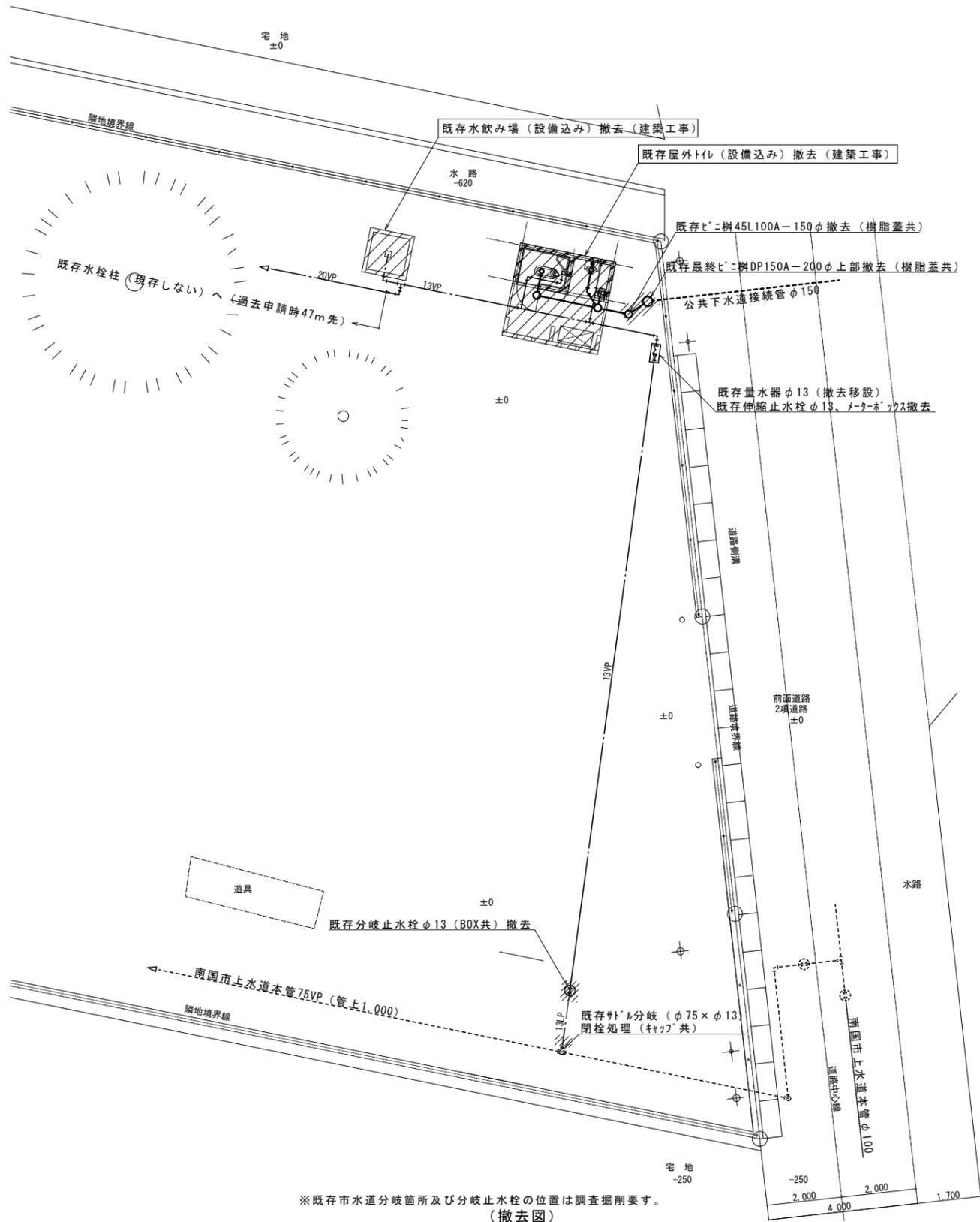
有限会社 友結建築事務所  
高知市東石立町106-1 (TEL)831-8822 (FAX)831-8966  
一級建築士事務所(高知)登録第811号 一級建築士登録第345943号 松本 好弘

工事名 新川児童遊園地トイレ新築工事  
図名 仮設トイレ解体衛生設備図  
DATE DRAWING BY CHECKED BY

SCALE 1/200, 1/50 (A3=71%)  
PLANNING 2024/09  
SEET NO. M-05



- 凡例
- VP : 水道用硬質塩化ビニル管 (JIS K 6742)
  - LP : 水道用鉛管
  - //// : 撤去



※既存市水道分岐箇所及び分岐止水栓の位置は調査掘削要す。  
(撤去図)

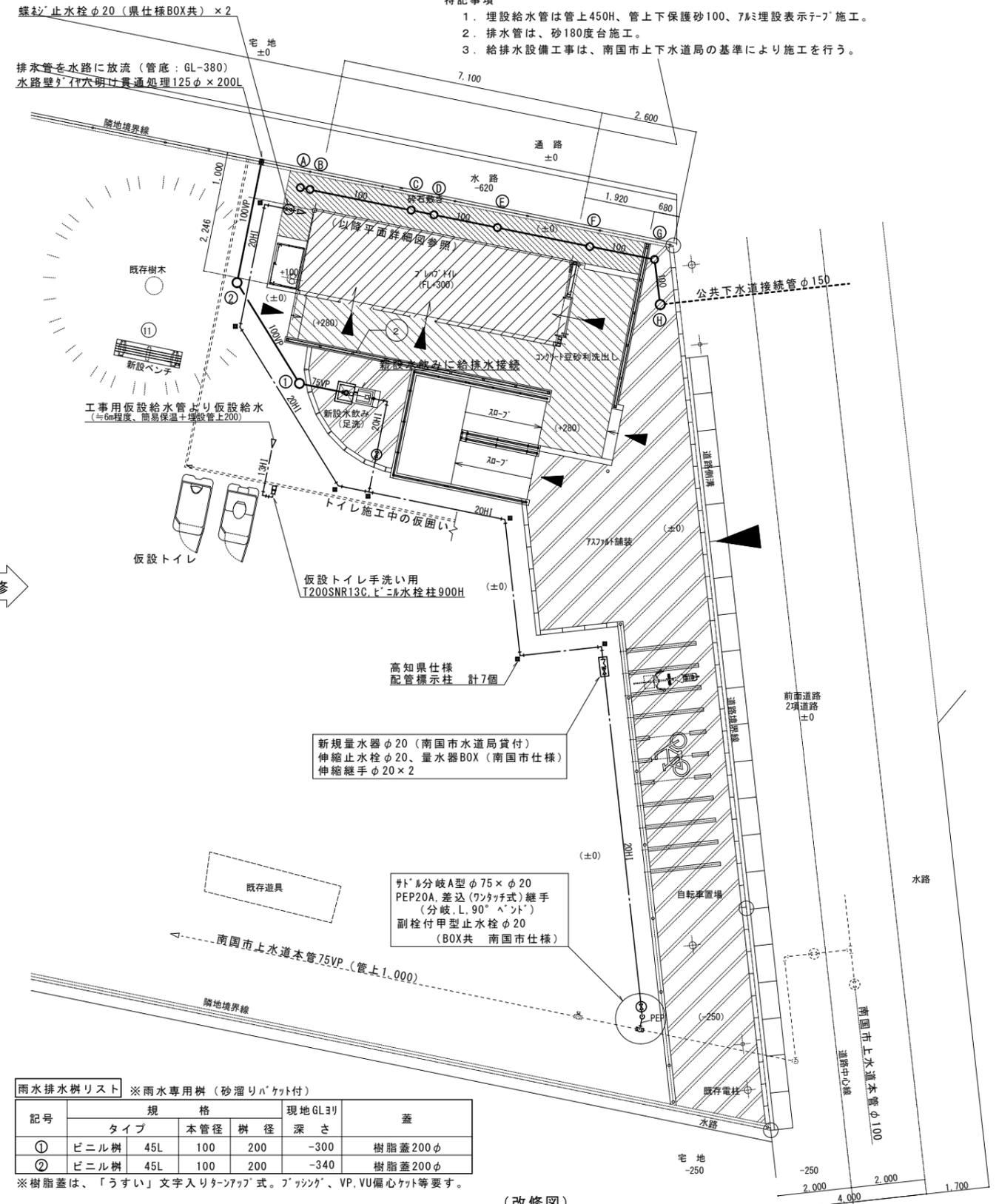
既存屋外衛生設備配置図 S=1/100



- 凡例
- PEP : 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762) P77継手使用
  - HI : 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (JIS K 6742) 配管記号特記無きはHI
  - : (既存) 管接続
  - VP : 硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) 配管記号特記無きはVP

特記事項

- 埋設給水管は管上450H、管上下保護砂100、7φ埋設表示テープ施工。
- 排水管は、砂180度台施工。
- 給排水設備工事は、南国市上下水道局の基準により施工を行う。



雨水排水樹リスト ※雨水専用樹 (砂溜りバケツ付)

記号	規格			現地GL	蓋	
	タイプ	本管径	樹径			
①	ビニル樹	45L	100	200	-300	樹脂蓋200φ
②	ビニル樹	45L	100	200	-340	樹脂蓋200φ

※樹脂蓋は、「うすい」文字入りターンアップ式。フッック、VP、VU偏心ケツ等要す。

(改修図)

改修屋外衛生設備配置図 S=1/100

衛生器具リスト

名称	品番(参考)	個数	備考
洋風大便器	C180P (ロータンク式)、シャワー付 (既存LIXIL品)	1	既存据付状態
紙巻器	樹脂製 (既存LIXIL品)		
壁掛幼児用大便器	手すり	2	撤去
同上 紙巻器	樹脂製 (既存LIXIL品)	2	撤去再使用
壁掛小便器	U431 (既存LIXIL品)	1	撤去再使用
子供用小便器	U401 (既存LIXIL品)	1	撤去再使用
子供用小便器	U401 (既存LIXIL品)	1	撤去
洗面器	L-176UAG (既存LIXIL品) 単水栓 (止水栓共) は撤去	2	撤去再使用
防錆化粧鏡	300×450H (既存LIXIL本)	2	撤去再使用
他	※器具取外し後の、既存壁穴はSUS製(1.0t)プレートにて接着閉塞処理。 ※上記表中、撤去は解体一部解体時に同時撤去		

汚水排水樹リスト

記号	規格			現地GL	蓋	備考
	タイプ	本管径	樹径			
Ⓐ	ビニル樹	90L	100	150	-280	樹脂蓋150φ
Ⓑ	ビニル樹	90Y	100	150	-290	樹脂蓋150φ
Ⓒ	ビニル樹	90Y	100	150	-320	樹脂蓋150φ
Ⓓ	ビニル樹	90Y	100	150	-330	樹脂蓋150φ
Ⓔ	ビニル樹	90Y	100	150	-350	樹脂蓋150φ
Ⓕ	ビニル樹	90Y	100	150	-380	樹脂蓋150φ
Ⓖ	ビニル樹	45L	100	150	-395	樹脂蓋150φ
Ⓖ	ビニル樹	DP	150	200	-410	防護ハット(T8)200φ 既存下水取り付け管に接続

※樹脂蓋は、「おすい」文字入りタンアップ式。フッソ、VP、VU偏心カット等要す。

屋内衛生設備特記事項

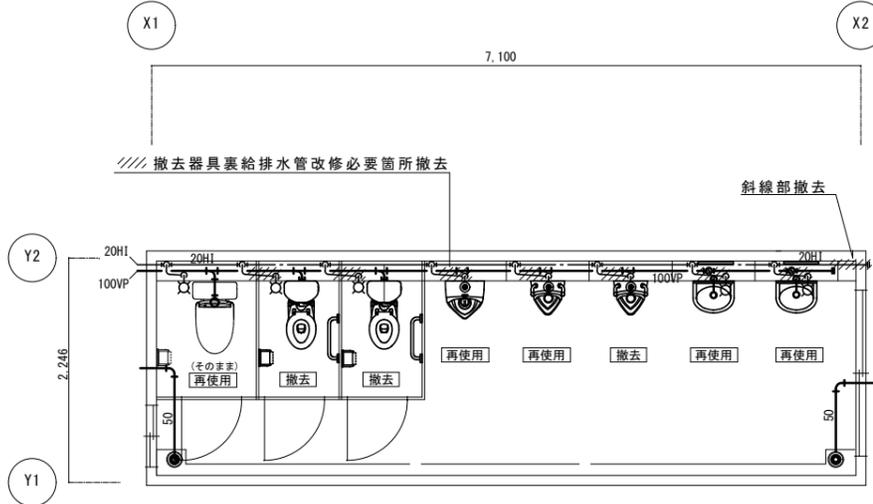
- 施工に関しては、南州市上下水道局施工要領による。事前に確認を行うこと。
- トイレ内既存配管は、ユニット施工されており、管材は下記仕様。
  - 配管スリーブ横引主管：H1VP20A
  - 各器具への分岐配管：保温付(5mm厚)架橋ポリエチレン管
  - 排水管：VP
- 配管スリーブより器具接続する場合は、給排水共穴明け必要。
- 配管スリーブ内での、各器具への給水管取り出しは、保温付(5mm厚)架橋ポリエチレン管を使用。継手は各メーカー保温付専用継手、保温無き継手はクックチューブ等にて保温を行う。

衛生器具リスト

下記新規品番は参考のため各メーカー同等品。自動水栓は他メーカー採用可(整合性確認要す)

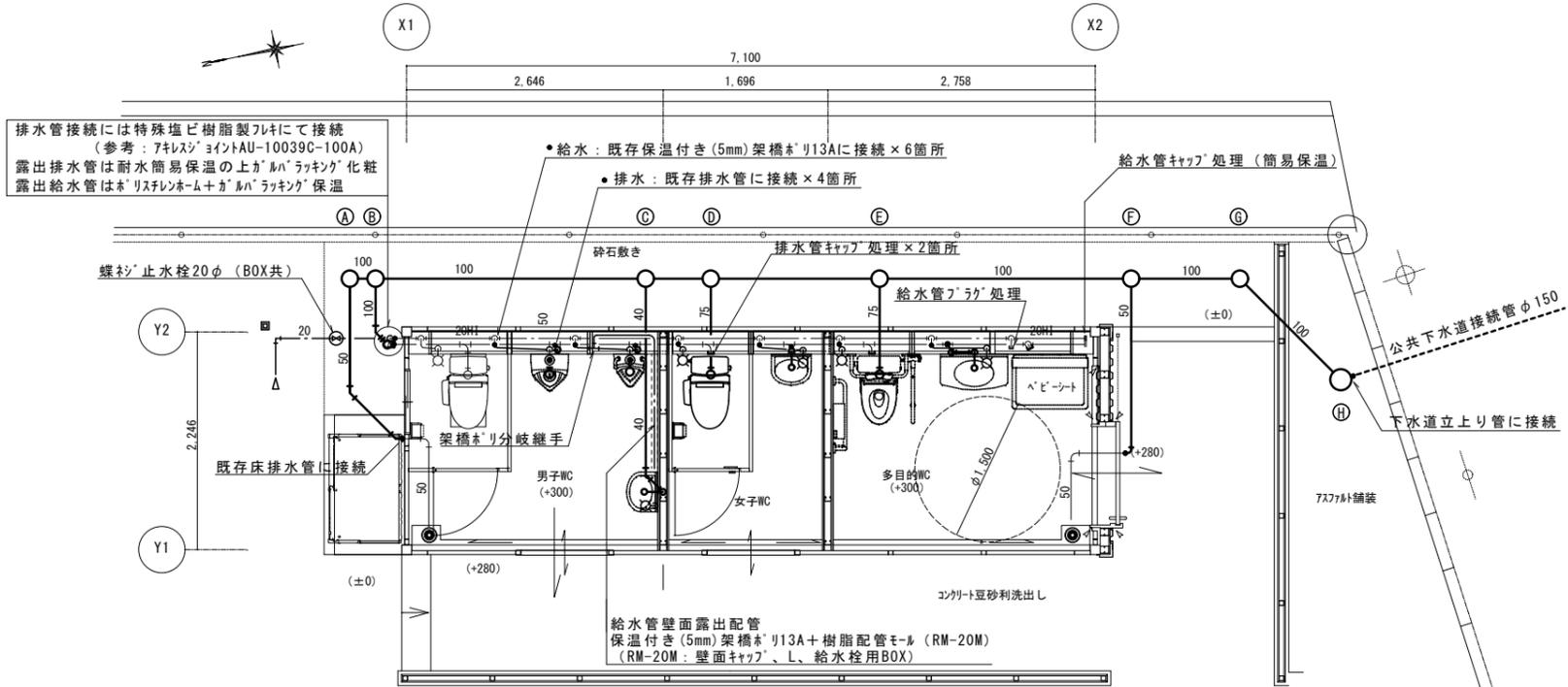
室名	名称	品番(参考)	個数	備考
女子トイレ	洋風大便器	CS597BS, SH596BAYR, TCF588	1	新規
	紙巻器	樹脂製 (既存LIXIL品)	1	既存撤去再取付
	L型固定手すり	樹脂被覆, T112CL10, T110D22R×3	1	新規
	防錆化粧鏡	300×450H (既存LIXIL本)	1	既存撤去再取付
	洗面器	L-176UAG (既存LIXIL品), 新規100Vタイプ自動水栓 (自動水栓に改修) 既存単水栓 (止水栓共) 撤去後自動水栓に取替	1	既存撤去再取付 自動水栓新規
男子トイレ	洋風大便器	C180P (ロータンク式)、シャワー付 (既存LIXIL品)	1	既存取付品
	紙巻器	樹脂製 (既存LIXIL品)	1	既存取付品
	L型固定手すり	樹脂被覆, T112CL10, T110D22R×3	1	新規
	壁掛小便器	U431 (既存LIXIL品)	1	既存撤去再取付
	壁掛子供用小便器	U401 (既存LIXIL品)	1	既存撤去再取付
多目的トイレ	洗面器	L-176UAG (既存LIXIL品), 新規100Vタイプ自動水栓 (自動水栓に改修) 既存単水栓 (止水栓共) 撤去後自動水栓に取替	1	既存撤去再取付 自動水栓新規
	防錆化粧鏡	300×450H (既存LIXIL本)	1	既存撤去再取付
	腰高洋風大便器	CS20AB, SH30BA, TCF5554PR, HE10JKR	1	新規
	棚付2連紙巻器	YH701	1	新規
	背もたれ	フレーム塗装仕上げEWC285CS, (T110D37-T110D44)×2	1	新規
他	可動式手すり	樹脂被覆T112HK8R, T110D36, T110D53	1	新規
	固定式手すり	樹脂被覆T112CL10, (T110D37-T110D44)×3	1	新規
	洗面器 (自動水栓)	L270C, TLE33SB3A, TLDS2201J, TL220D	1	新規
	盗難防止型耐食鏡	YM3545FE (350×450H)	1	新規
	ペーパーシート	YKA25N, YPH62018W2R, T110D28	1	新規
他	※器具固定のため配管スペース壁内、鋼材にて下地補強処理要す。			

改修



(既存仮設トイレユニット搬入後撤去図)

既存衛生設備平面図 S=1/50

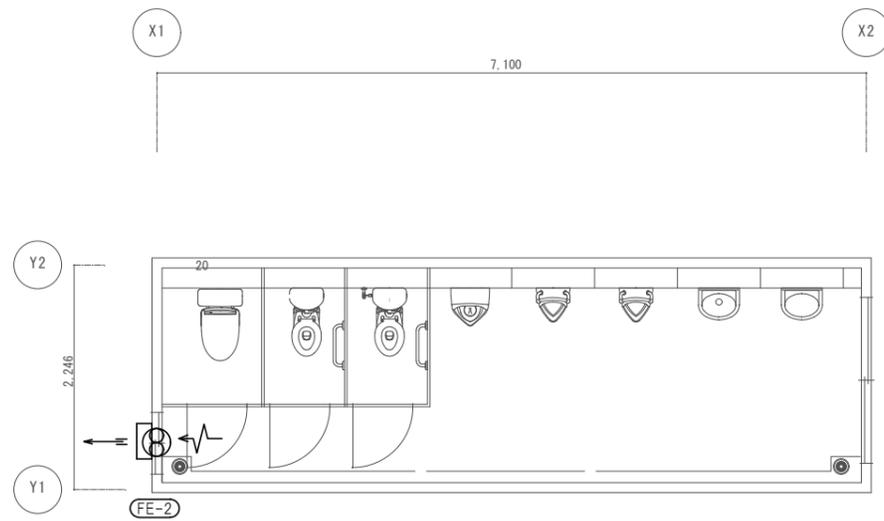


※衛生器具への接続は、架橋ポリエチレン水栓エルボ 計7箇所

(改修図)

改修衛生設備平面図 S=1/50

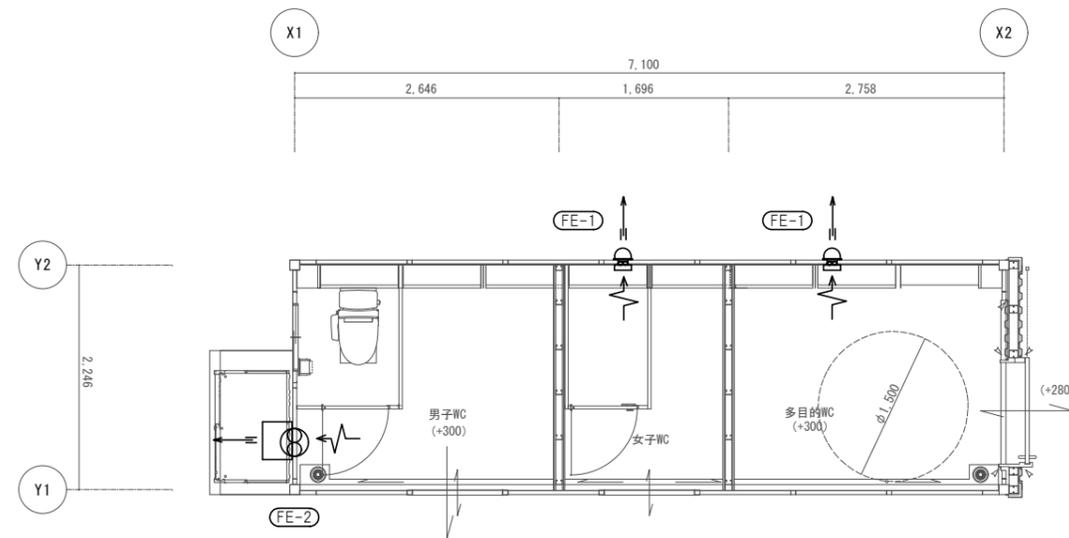
換気設備機器表					
記号	名称	仕様	電源	台数	室名
FE-2	壁掛換気扇 撤去⇒	200φ 既存型番FY-T20PS (h'ナソニック) 換気扇本体は既存残置 屋外樹脂フード'カハ'-撤去	単100	1	WC



(既存仮設トイレユニット搬入後撤去図)  
既存換気設備平面図 S=1/50

改修

換気設備機器表					
記号	名称	仕様	電源	台数	室名
FE-1	パイプ用ファン (新規)	電気式シャッター付 連結端子接続 (参: V-08P208) 100φ × 85m3/h × 4.6W SUS製深型フード'100φ (防鳥網付'ワイド'水切) (参: AT-100FNSS)	単100	2	女子WC 多目的WC
FE-2	壁掛換気扇 (既存) 改修⇒	200φ 既存型番FY-T20PS (h'ナソニック) 換気扇本体は既存残置 新規: SUS製屋外フード', 防蝶網付 (参: FY-HDX20+FY-NSX20)	単100	1	男子WC



(改修図)  
改修換気設備平面図 S=1/50